

## 2. 七郷小学校の子どもたちについて

### (1) 地震・災害ニュースに関する会話の有無

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

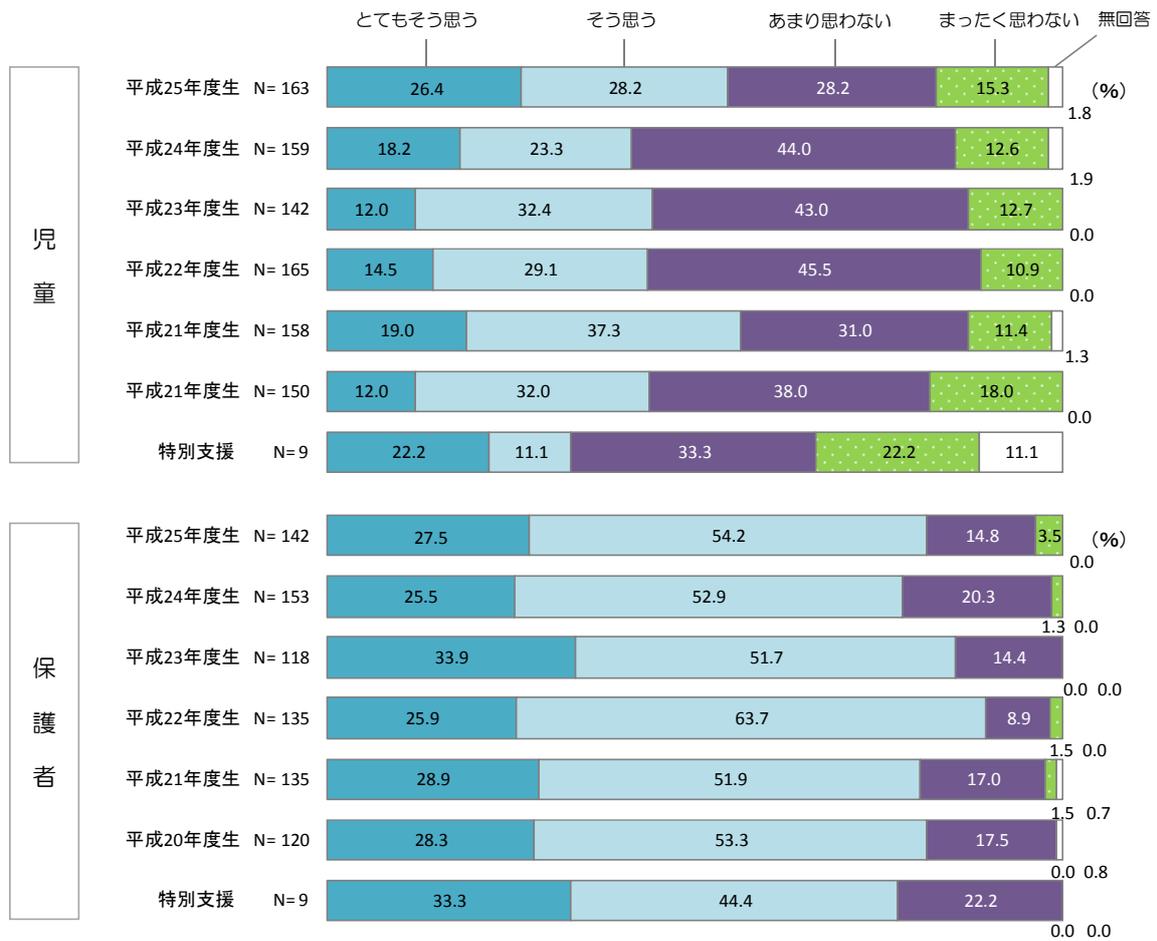
じしんなどの さいがいのニュースを見て、そのことについて おうちの人と はなしを  
している。

#### 児童（平成23～20年度生）

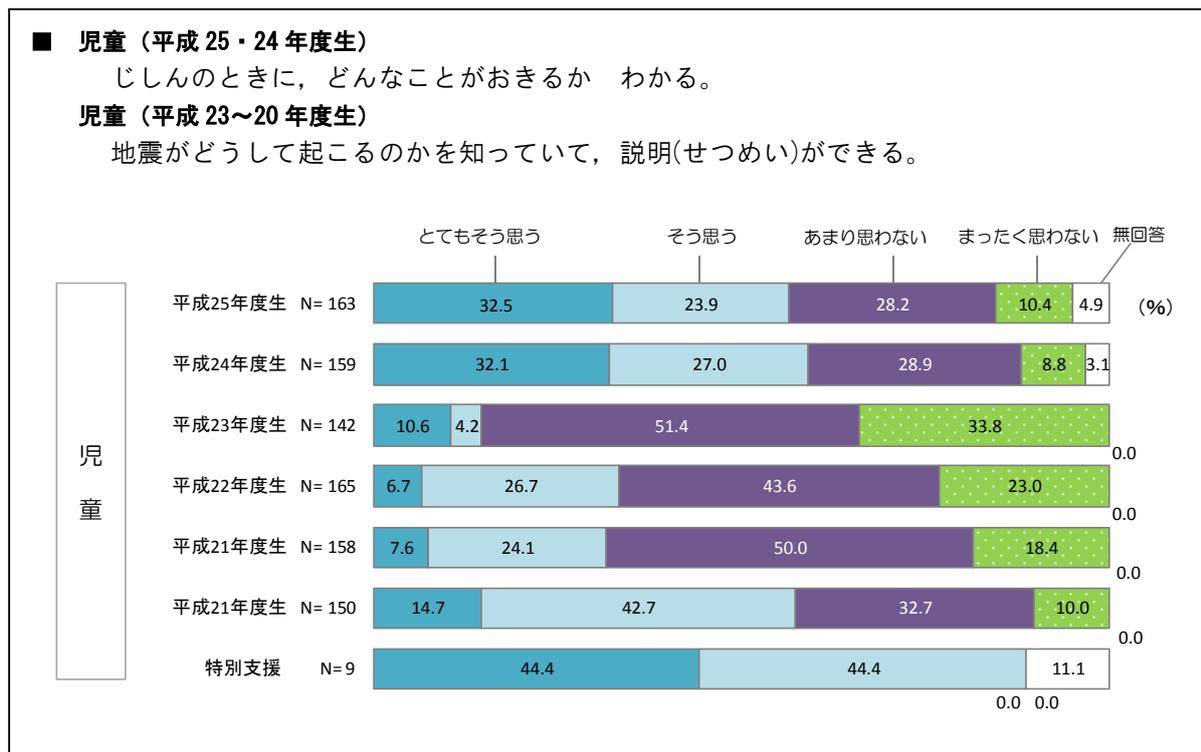
地震(じしん)などの災害のニュースを見て、そのことについておうちの人と話をしている。

#### 保護者

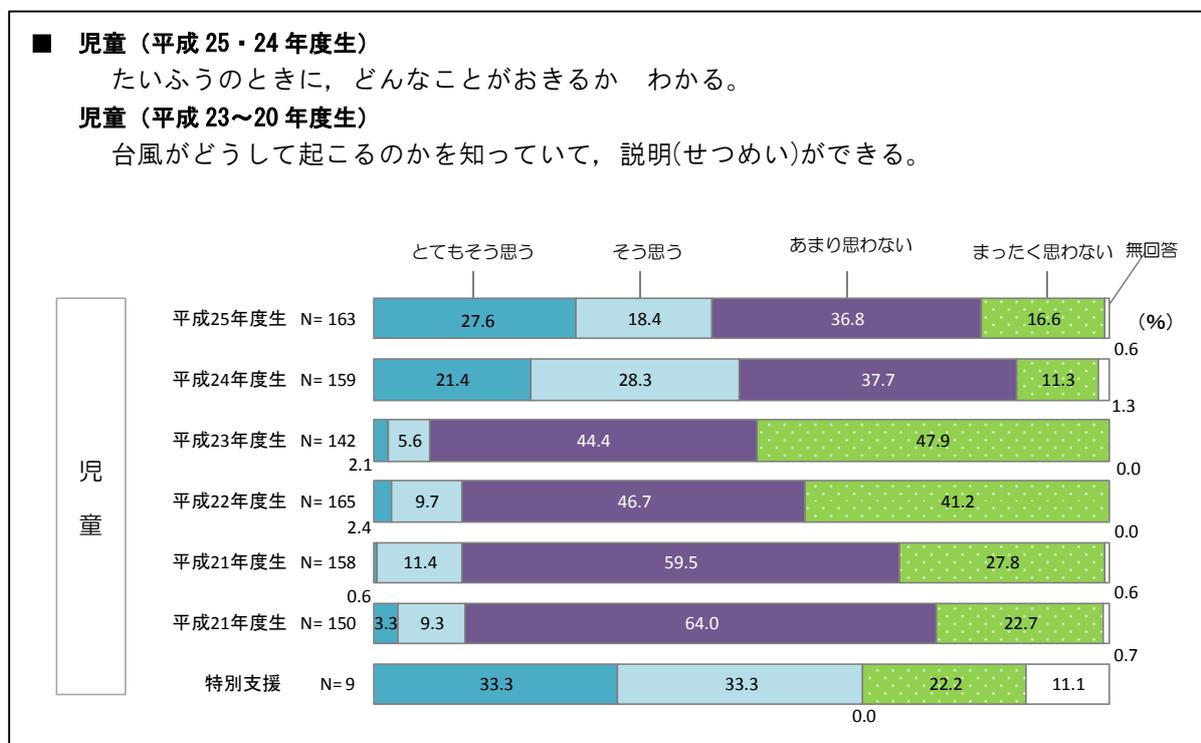
地震などの災害のニュースを見て、そのことについて話をしている。



## (2) 地震の発生メカニズムを知っているか



## (3) 台風の発生メカニズムを知っているか



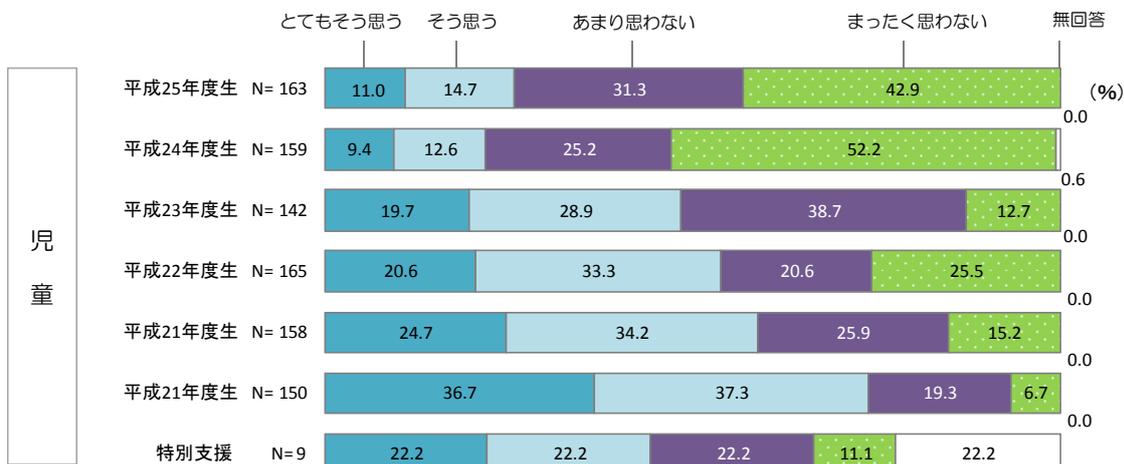
#### (4) 日本で起こりやすい自然災害を知っているか

##### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

日本でおこりやすい しぜんさいがいには どんなことがあるか 知っている。

##### 児童（平成 23～20 年度生）

日本でおこりやすい自然(しぜん)災害(さいがい)を知っている。



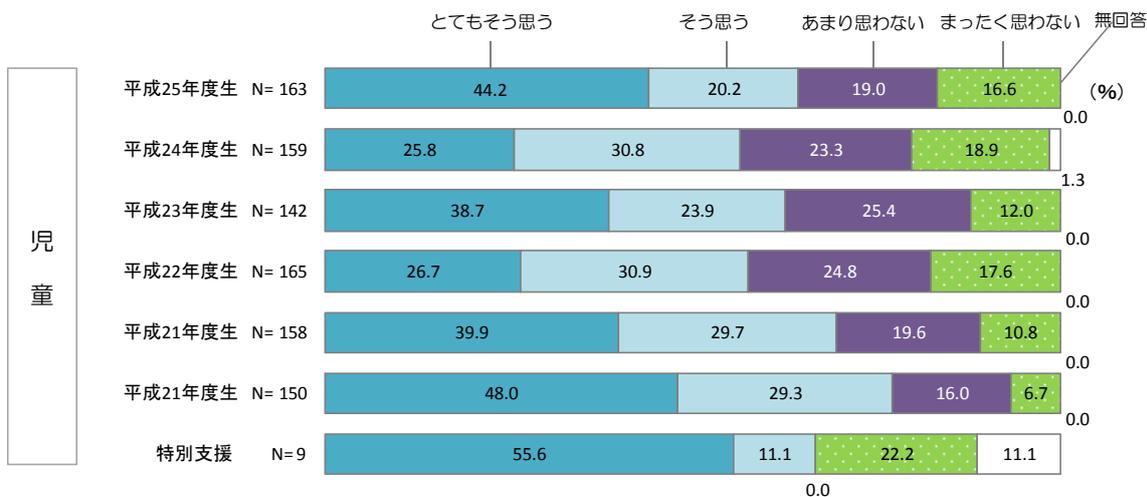
#### (5) 自然の力は恐ろしいと感じるか

##### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

しぜんの力は おそろしいとおもう。

##### 児童（平成 23～20 年度生）

自然の力は おそろしいと感じる。



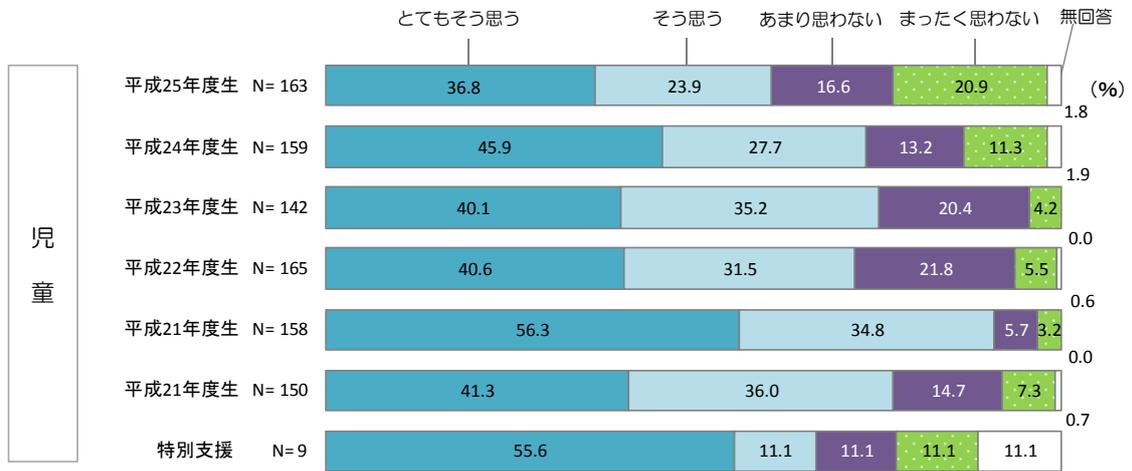
## (6) 自然の力は素晴らしいと感じるか

### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

しぜんの力は 素晴らしいとおもう。

### 児童（平成 23～20 年度生）

自然の力は 素晴らしいと感じる。



## (7) 震災の日のことを家の人と話すことがあるか

### ■ 児童（平成25・24年度生）

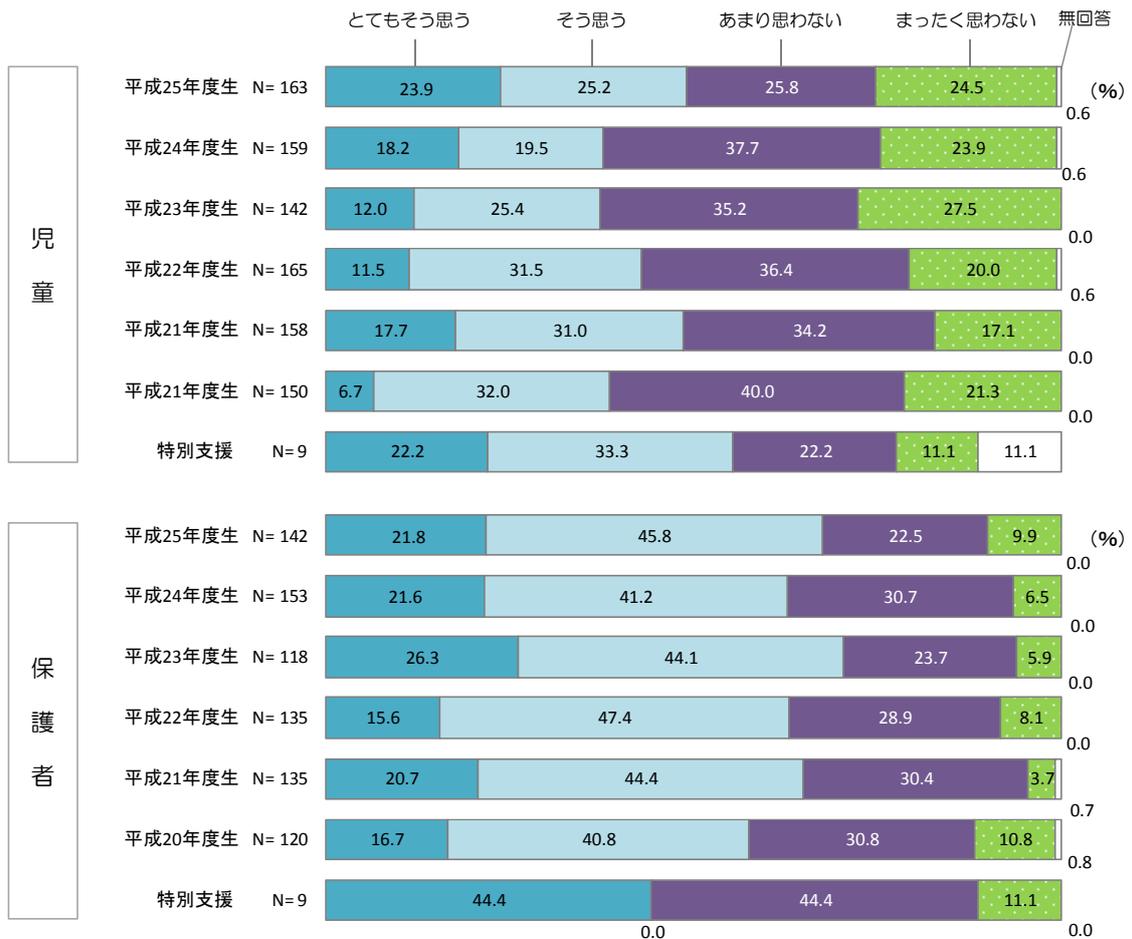
しんさいの日のことを、おうちの人と はなすことがある。

### 児童（平成23～20年度生）

震災の日のことを おうちの人と話すことがある。

### 保護者

震災の日の様子を、話すことがある。



## (8) 災害時の危険性についての話し合いの有無

### ■ 児童（平成25・24年度生）

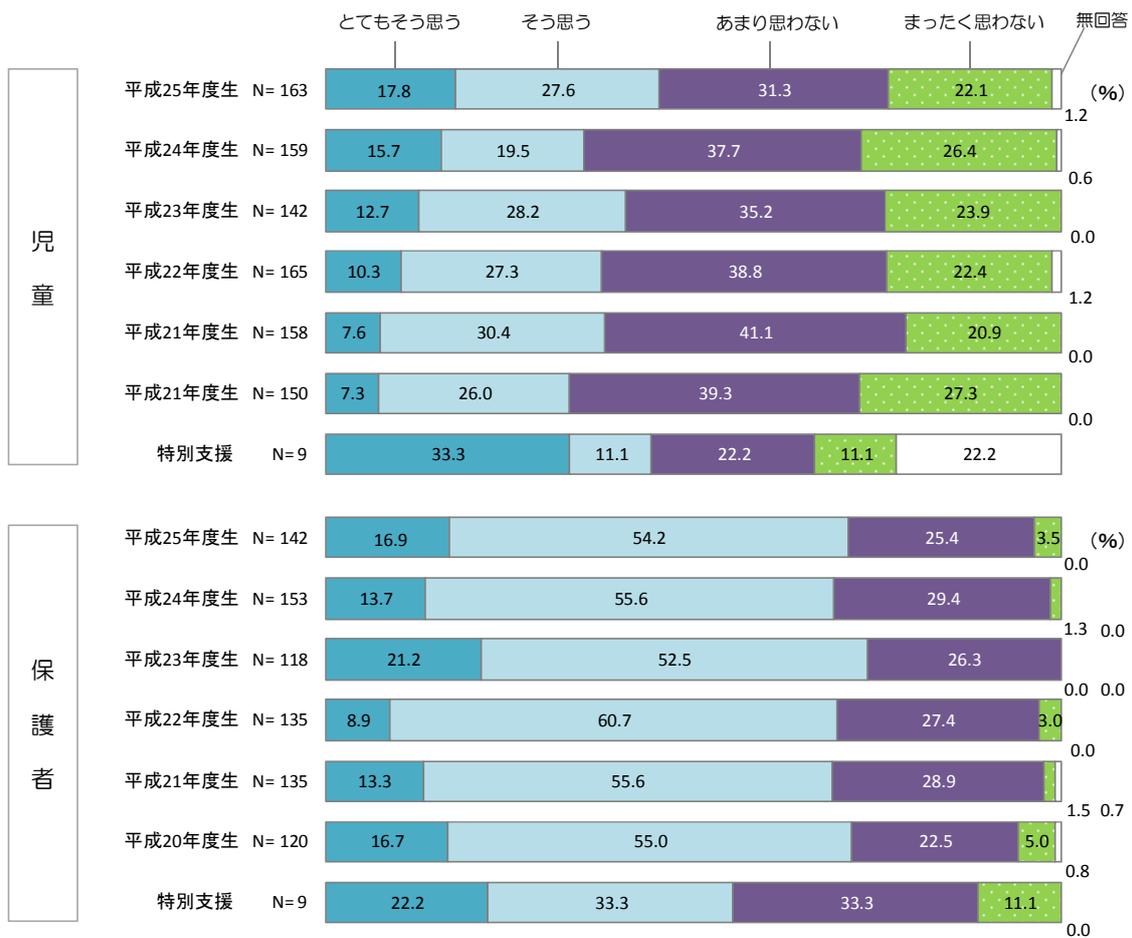
「じしんやたいふうなどのときに どんなあぶないことがあるか」を ふだんからおうちの人とはなしあっている。

### 児童（平成23～20年度生）

「災害の時に、どんなあぶないことがあるか」をふだんからおうちの人と話し合っている。

### 保護者

「災害時にどんな危ないことがあるか」を普段から話し合っている。



## (9) 地震時の危険箇所の認知

### ■ 児童（平成25・24年度生）

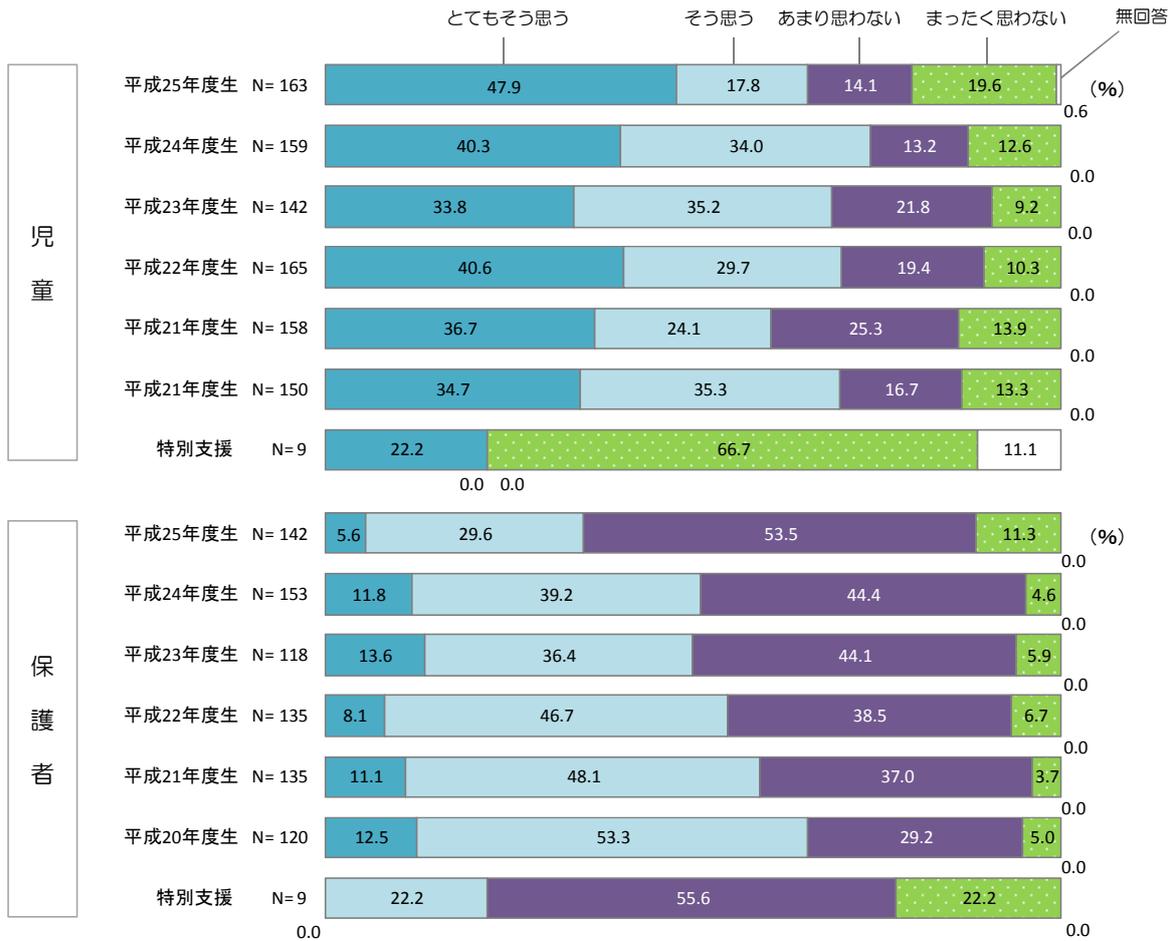
いえのまわりや学校のいきかえりのみちで、じしんがあったときに、きけんなばしょをしている。

### 児童（平成23～20年度生）

家の周り(まわり)や登下校の道で、地震にあったときに、きけんな場所を知っている。

### 保護者

家のまわりや登下校の道で地震にあった時に危険な場所を知っている。



## (10) 災害時の避難場所の家族での取り決め

### ■ 児童（平成25・24年度生）

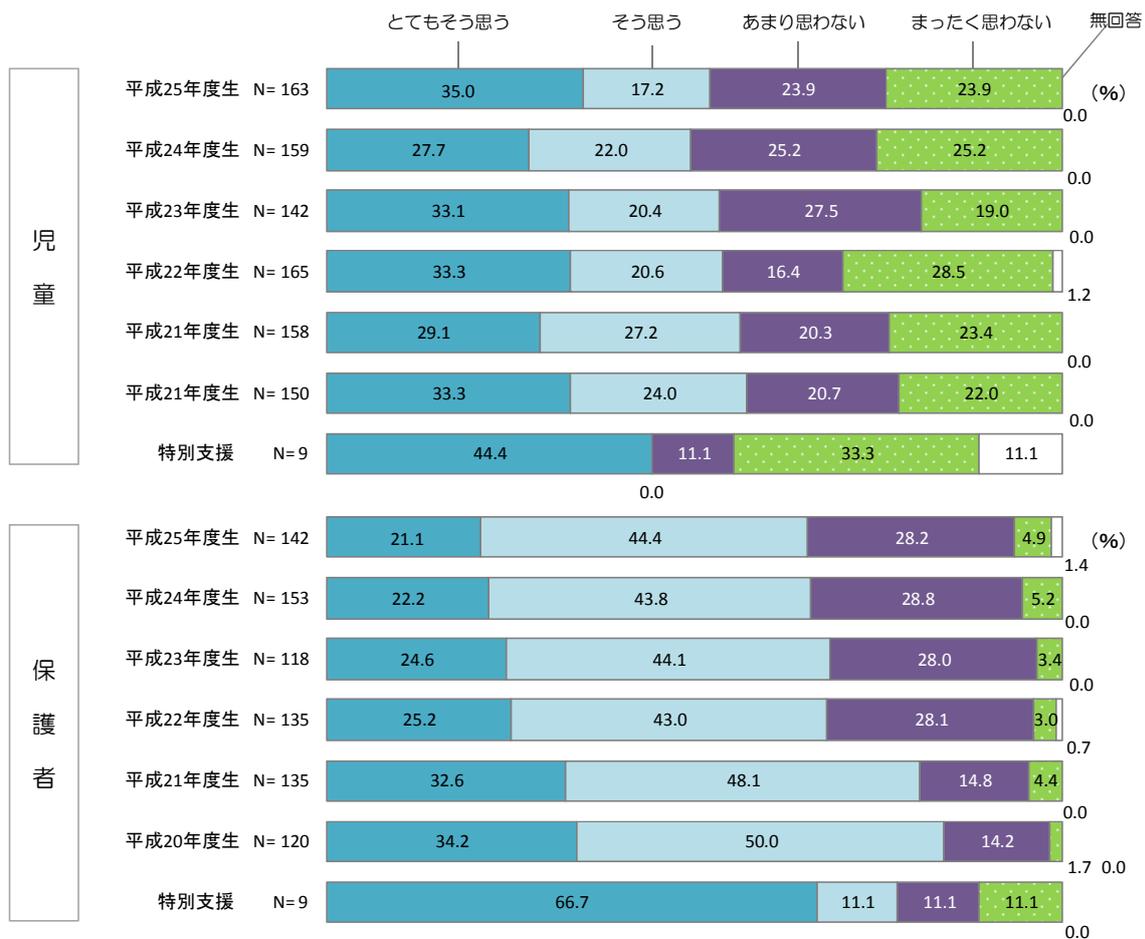
大きなじしんなどがあつたときの ひなんばしょを、おうちのひとと はなしあつてきめて  
ている。

### 児童（平成23～20年度生）

災害があつた時の避難(ひなん)場所(ばしょ)を おうちの人と話し合つて決めて  
いる。

### 保護者

災害があつた時の避難場所を話し合つて決めて  
いる。



## (11) 災害にむけた水・食料の備蓄

### ■ 児童（平成25・24年度生）

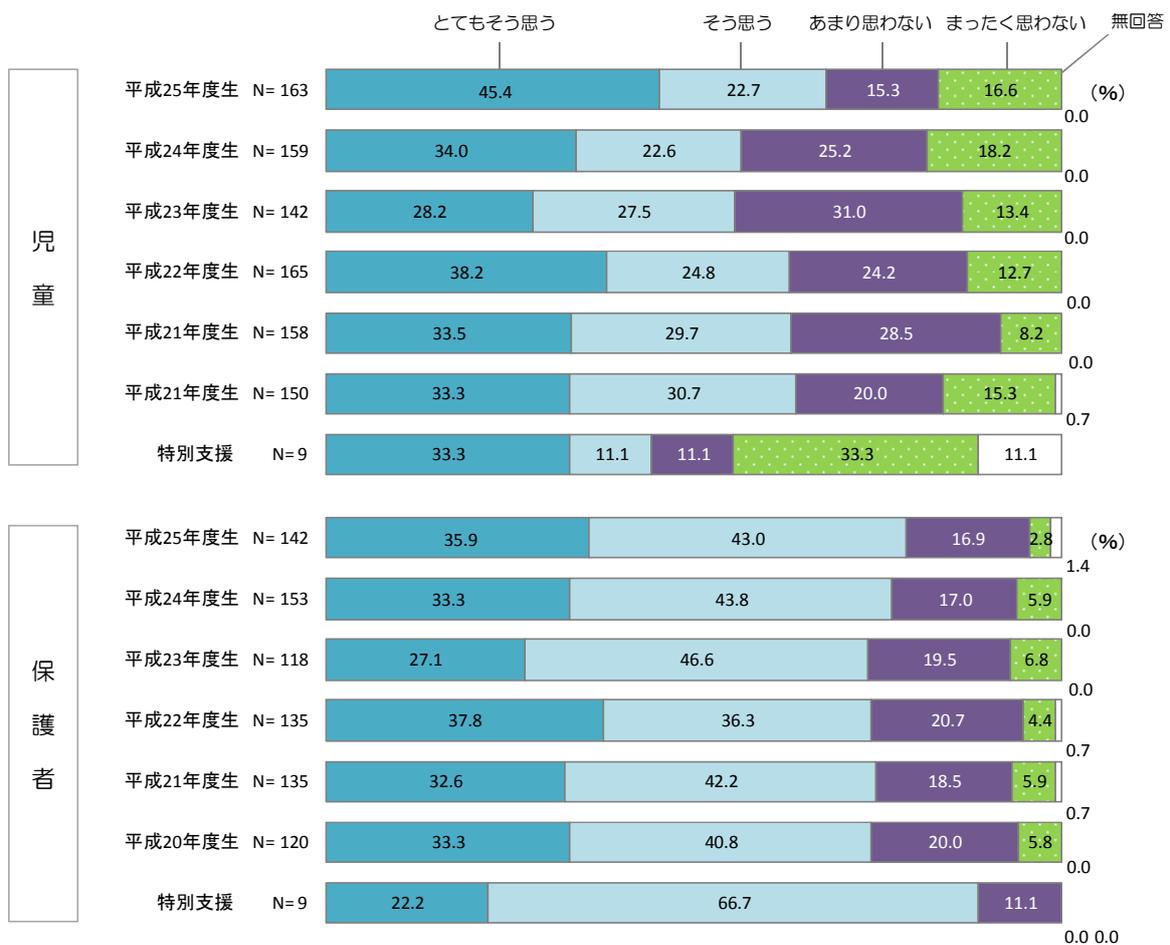
あなたのおうちでは、いざというときのために、ペットボトルの水やたべものなどを、おうちにおおめにおいている。

### 児童（平成23～20年度生）

あなたのおうちでは、災害にそなえて、ペットボトルの水や食べ物などを多めにしている。

### 保護者

災害に備えてペットボトルの水や、食べ物などを多めに置いてある。



## (12) 停電に備えた蠟燭や懐中電灯、電池やラジオの備蓄

### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

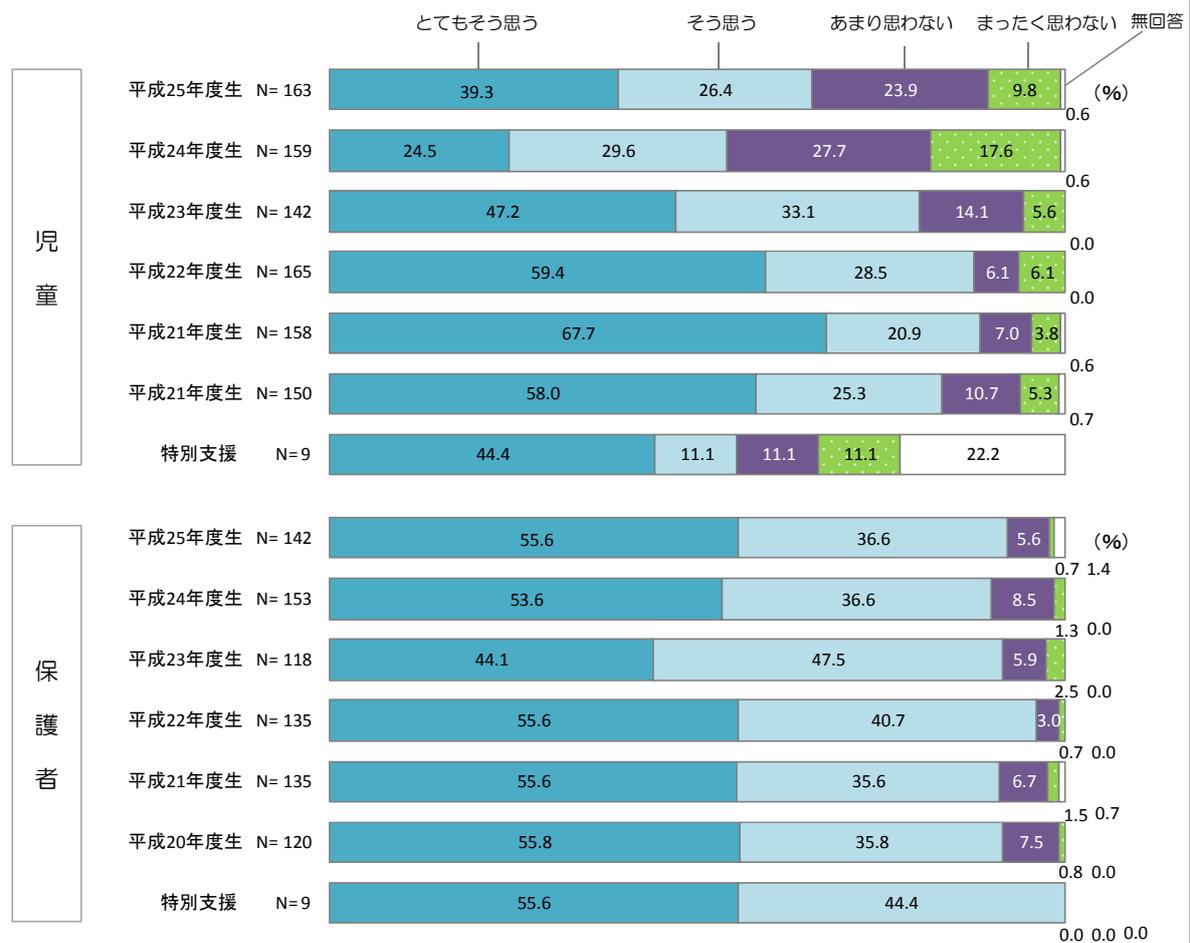
あなたのおうちでは、ていでんしたときのために、ろうそくやかいちゅうでんとう、でんちやラジオをおおめにおいている。

### 児童（平成 23～20 年度生）

あなたのおうちでは、停電(ていでん)にそなえて、ろうそくや懐中(かいちゅう)電灯(でんとう)、電池やラジオなどをおいている。

### 保護者

停電に備えて、ろうそくや懐中電灯、電池やラジオなどを置いてある。



### (13) 食器や家具転倒防止策の実施

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

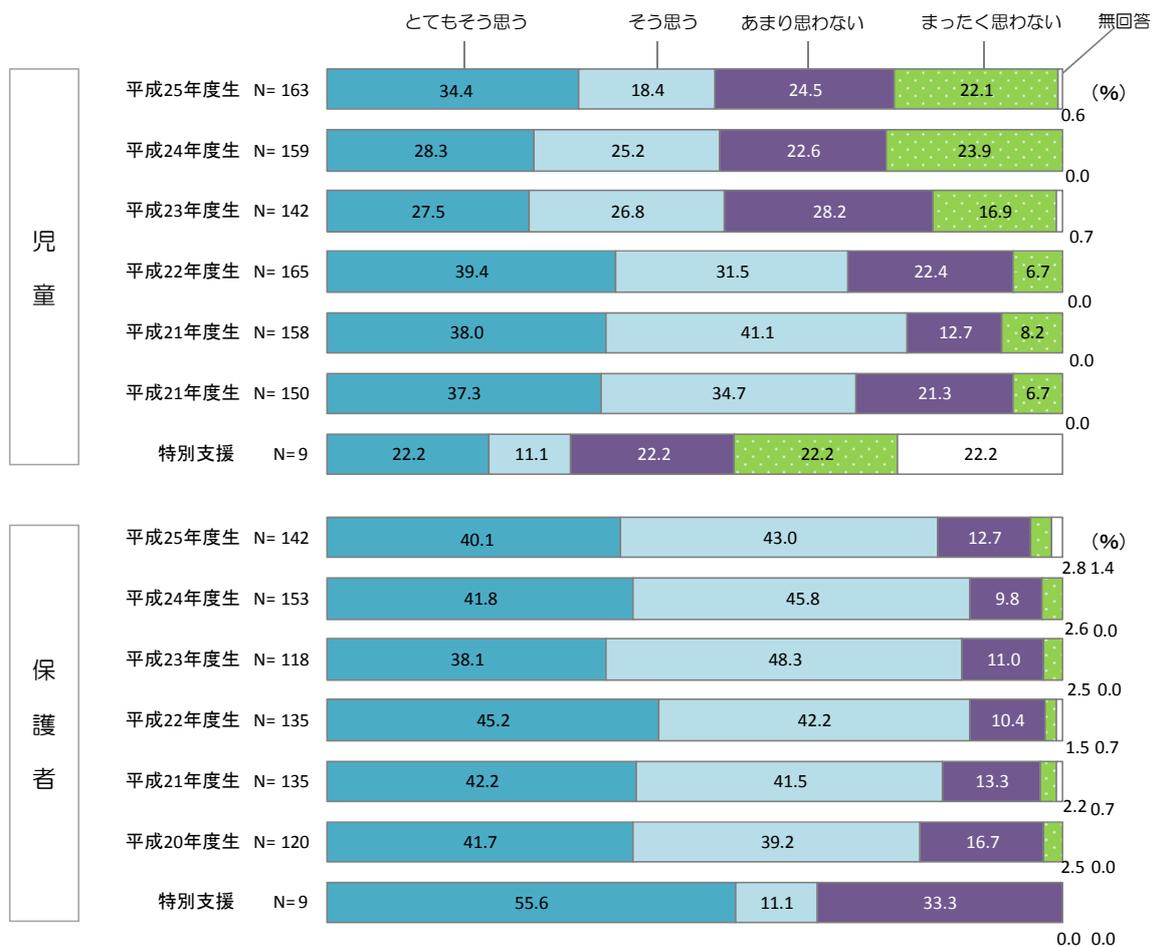
あなたのおうちでは、じしんで、しょっきがおちたり、いえのなかのものがたおれたりしないように、くふうしている。

#### 児童（平成23～20年度生）

あなたのおうちでは、地震によって、食器(しょっき)がおちたり家具(かぐ)がたおれたりしないように工夫している。

#### 保護者

地震によって、食器が落ちたり家具が倒れたりしないように工夫している。



## (14) 家族との連絡方法の取り決め【児童／保護者】

### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

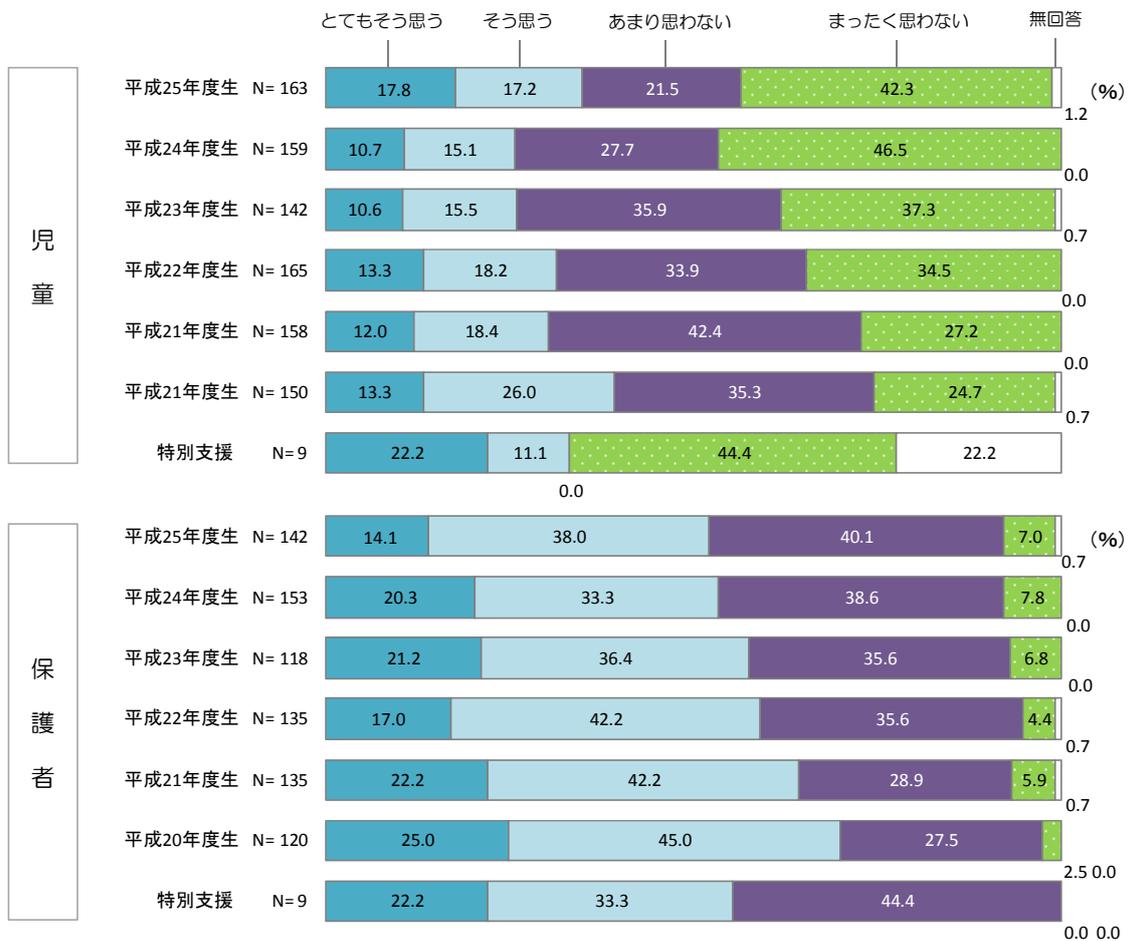
さいがいでかぞくとはなればなれになってしまったとき、れんらくをとりあうほうほうをかぞくではなしあつてきめている。

### 児童（平成 23～20 年度生）

災害で家族(かぞく)と離(はな)ればなれになってしまった時、連絡(れんらく)を取り合う方法を家族で話し合つて決めている。

### 保護者

災害で家族と離ればなれになってしまったとき、連絡を取り合う方法を家族で話し合つて決めている。



## (15) 地震発生時に落ち着いて行動しているか【児童／保護者】

### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

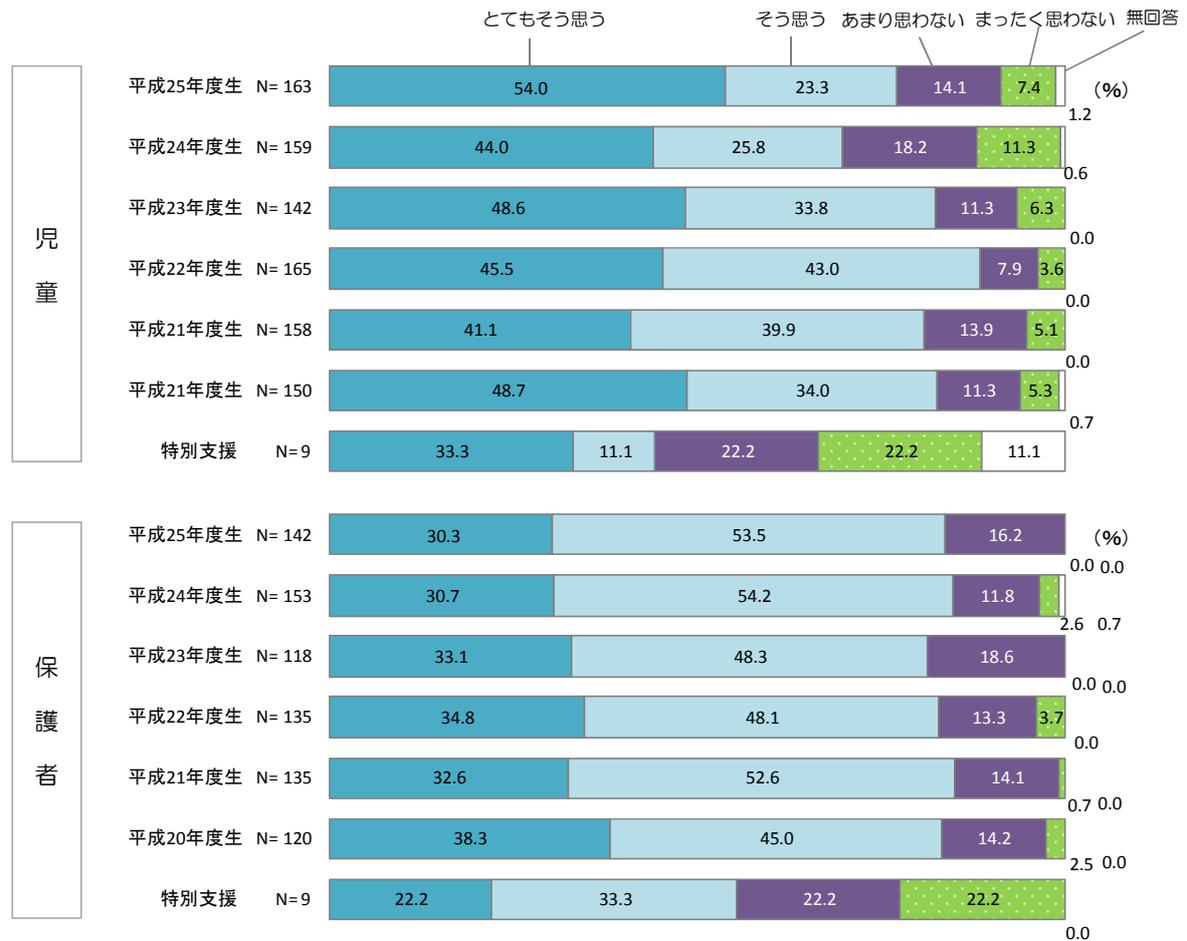
いえのなかで じしんがおきたとき、あわてずに おちついていることができる。

### 児童（平成 23～20 年度生）

家の中で地震が起きたとき、あわてずに落ち着いて行動している。

### 保護者

家の中で地震が起きたとき、あわてずに落ち着いて行動している。



## (16) 地震発生時に身の安全に気をつけているか

### ■ 児童（平成25・24年度生）

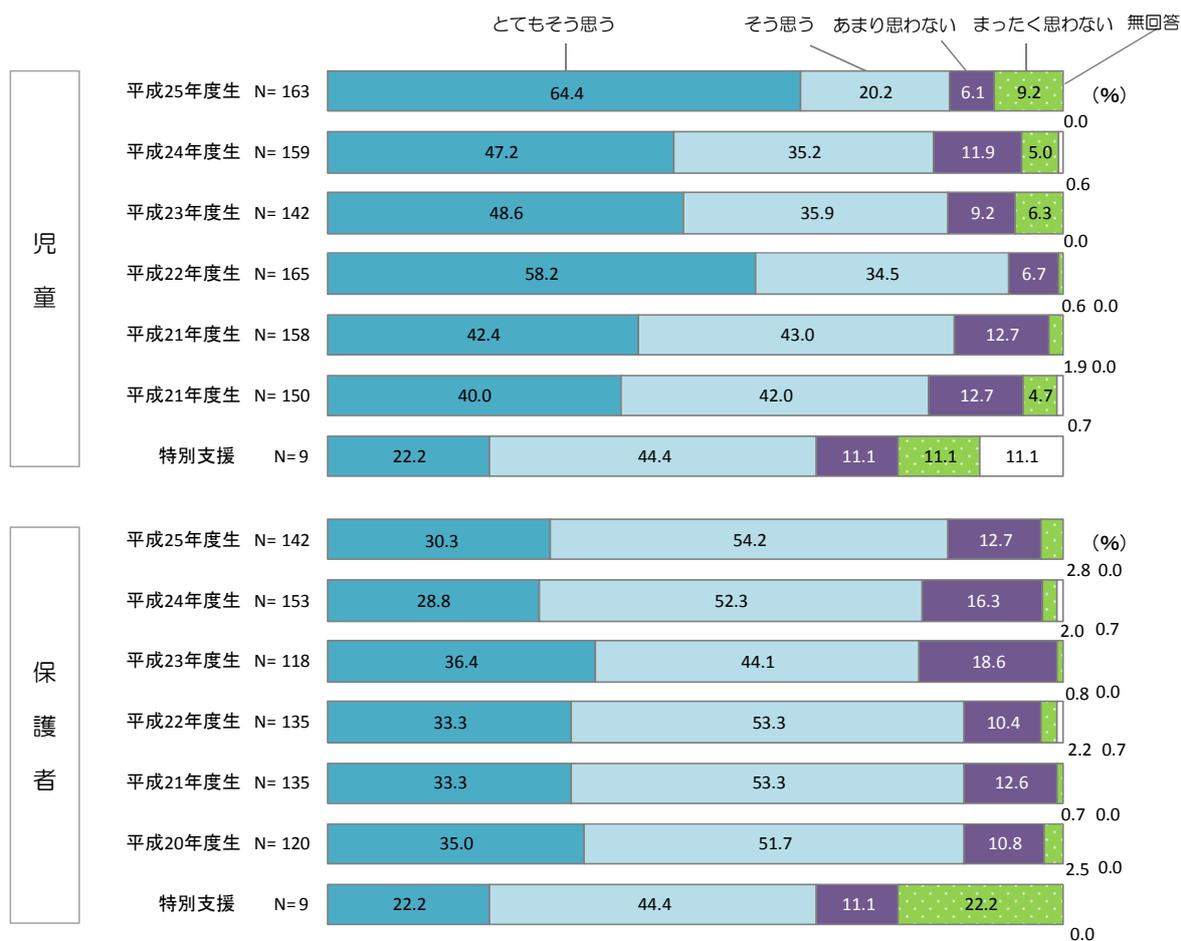
あなたは、いえのなかでじしんがおきたとき、こわがらずにじぶんのみをまもろうとしている。

### 児童（平成23～20年度生）

家の中で地震が起きたとき、こわがらずに自分の身の安全に気をつけている。

### 保護者

家の中で地震が起きたとき、こわがらずに身の安全を確保している。



## (17) いざという時に助けを求めることができるか

### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

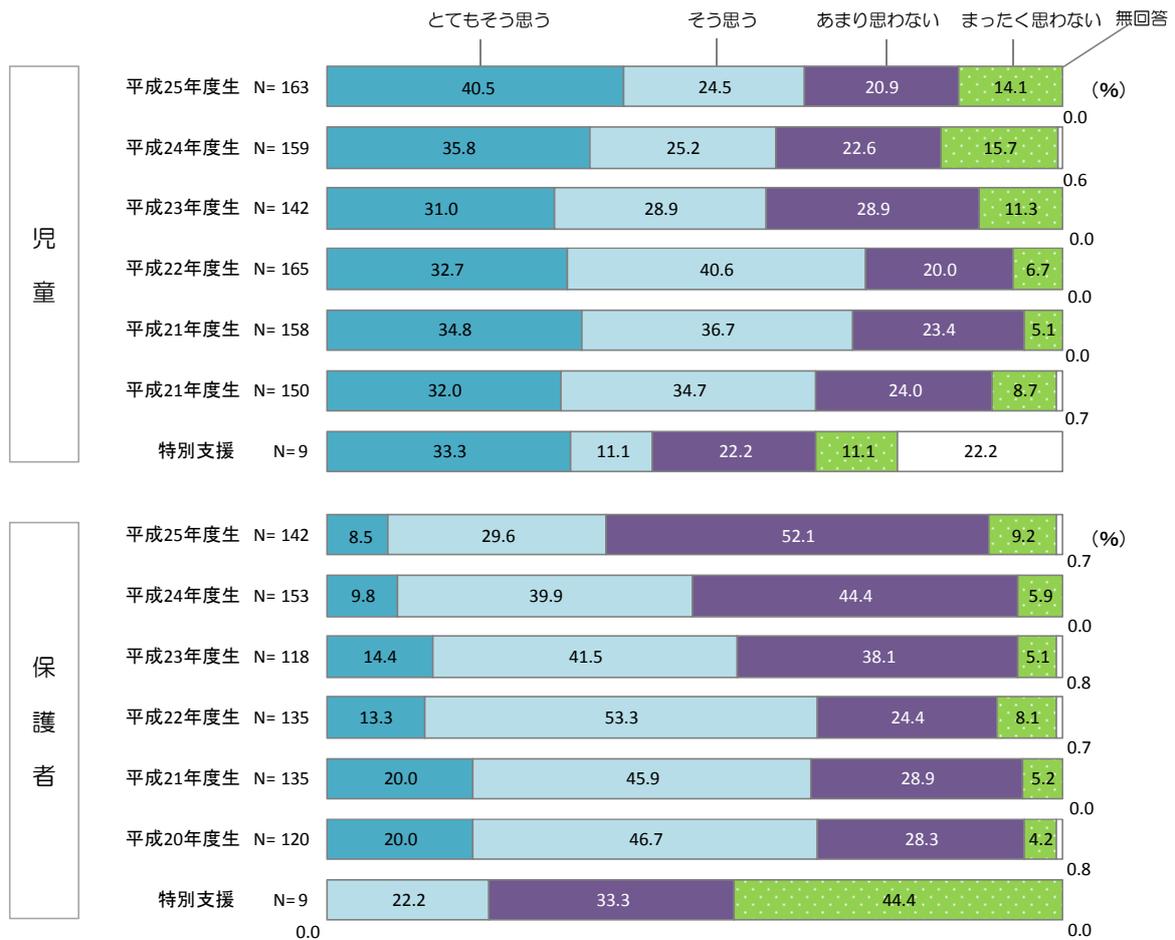
いざというときに、こども 110 ばんのおみせや ちかくのおとなの人にたすけてもらえるようおねがいすることができる。

### 児童（平成 23～20 年度生）

いざというときに、こども 110 番のお店や 近くの大人に助けをもとめることができる。

### 保護者

いざというときに、子供 110 番の家や近くの大人の人に助けを呼ぶことができる。



## (18) 119番に電話した時に落ち着いて話することができるか

### ■ 児童（平成25・24年度生）

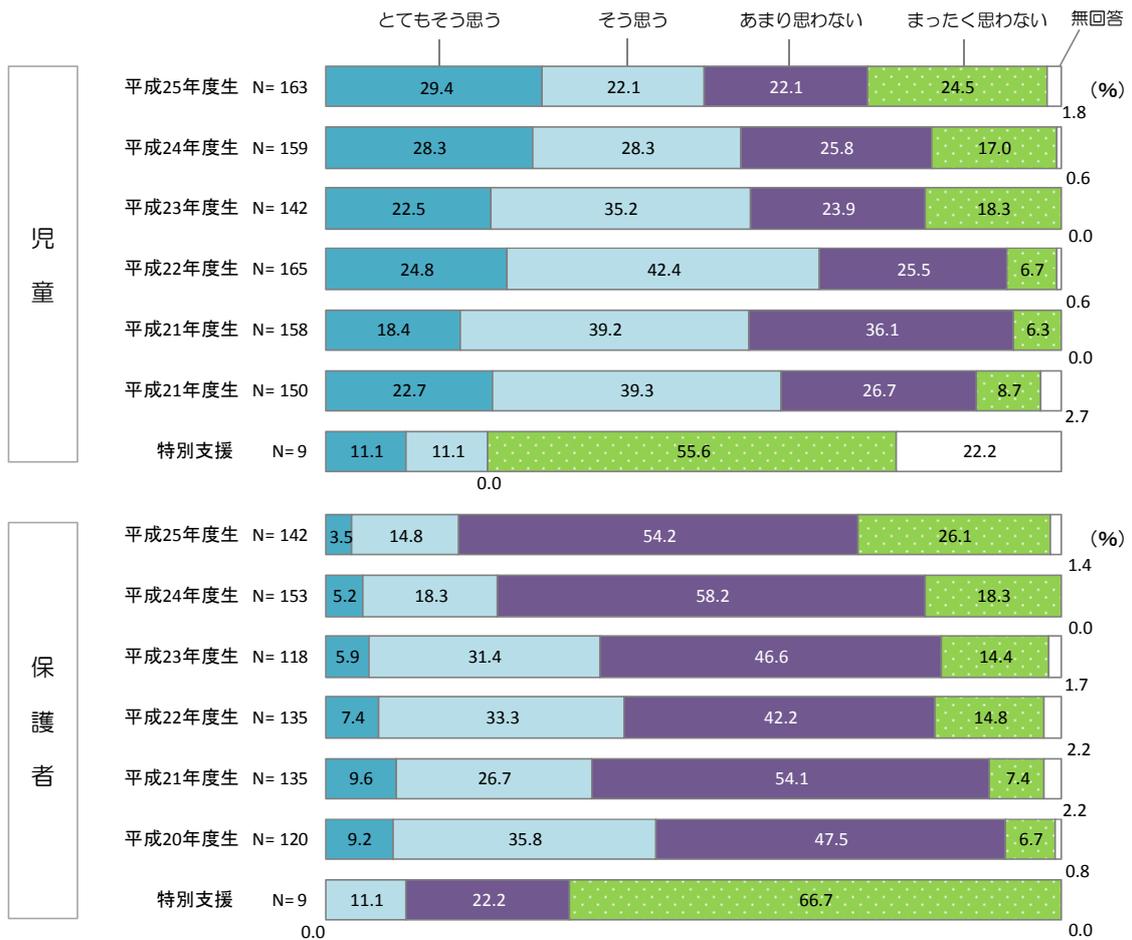
きゅうきゅうしゃやしょうぼうしゃをよぶために 119 ばんにでんわをしたとき、  
きちんとはなすことができる。

### 児童（平成23～20年度生）

119 番に電話をしたときに、落ち着いて話することができる。

### 保護者

119 番に電話したときに、落ち着いて話することができる。



## (19) 学校や地域の避難訓練への参加状況

### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

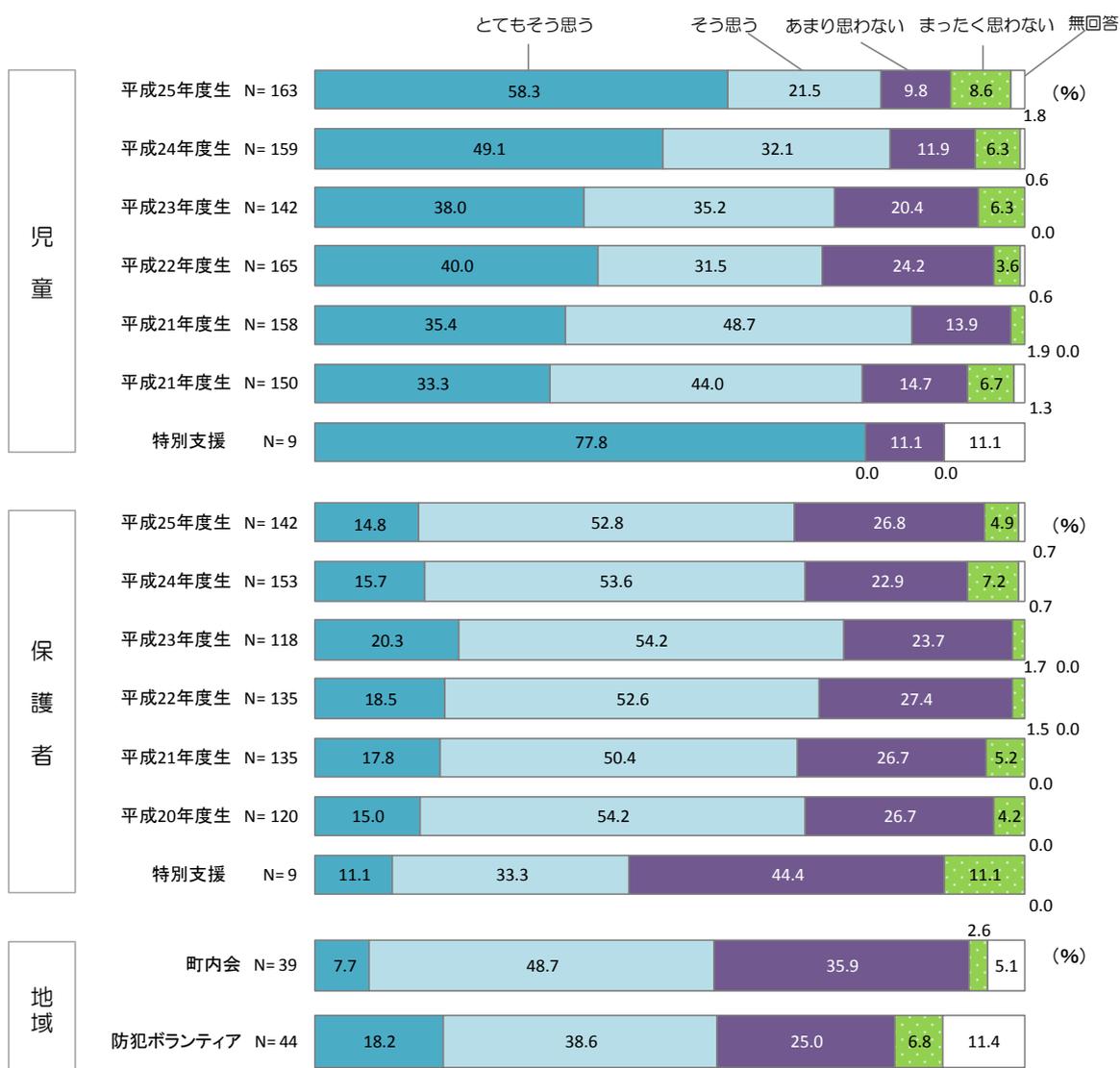
学校やちいきのひなんくんれんに、ほんとうにおこったときのことをかんがえて、まじめにさんかしている。

### 児童（平成 23～20 年度生）

学校や地域(ちいき)の避難(ひなん)訓練(くんれん)に 真剣(しんけん)に参加(さんか)している。

### 保護者／地域住民

学校や地域の避難訓練に真剣に参加している。



## (20) 地震発生時、室内の落下物に気をつけているか

### ■ 児童（平成25・24年度生）

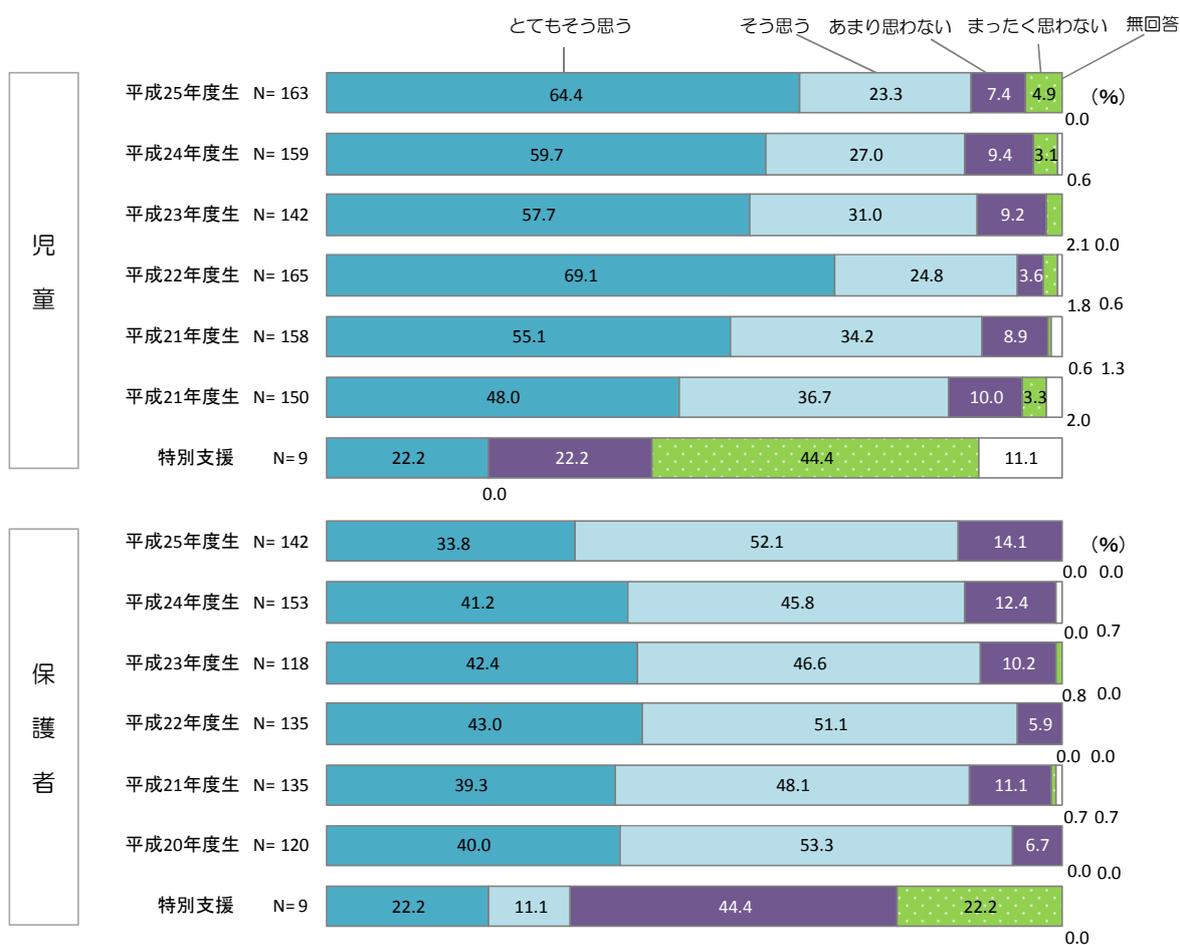
いえのなかでじしんがおきたとき、じぶんのみをまもるために、ものがおちてこないばしょにいて、じぶんのあんぜんにきをつけることができる。

### 児童（平成23～20年度生）

家の中で地震が起きたとき、身を守るために物が落ちてこない場所に行って、身の安全に気をつけられる。

### 保護者

家の中で地震が起きたとき、身を守るために物が落ちてこない場所に移動して、身の安全を確保することができる。



## (21) 登校中に地震や雷があった時、身を守る安全な行動ができるか

### ■ 児童（平成25・24年度生）

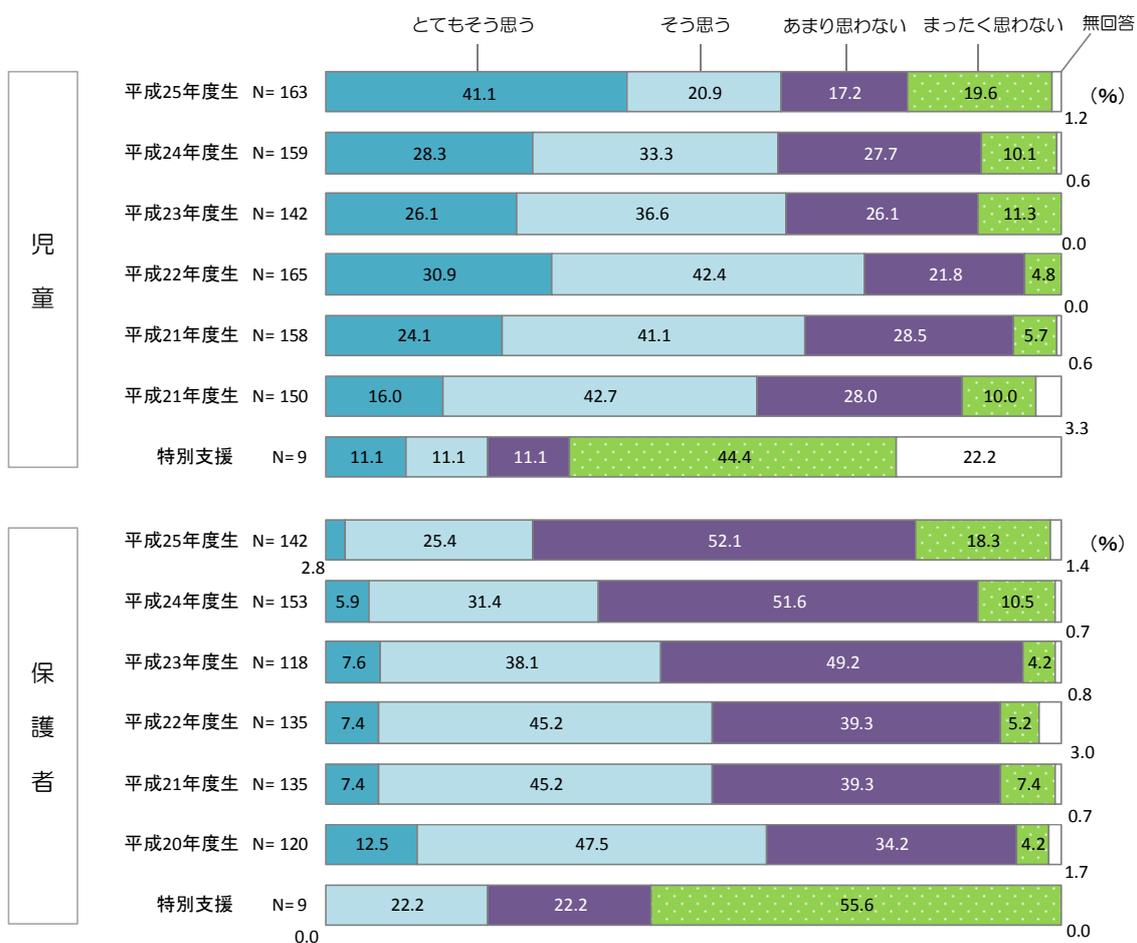
学校のいきかえりのときにじしんやかみなりなどがおきたとき、みをまもるためにこども110ばんのおみせに入るなど、あんぜんにこうどうすることができる。

### 児童（平成23～20年度生）

登下校中に地震や雷があったとき、身を守るためにこども110番のお店に入るなど、安全に行動できる。

### 保護者

登下校中に地震や雷などが起きたとき、身を守るために子供110番の家に移動するなど、安全な行動をとることができる。



## (22) 大きな地震などが起こった時に、避難するための場所を知っている

### ■ 児童（平成25・24年度生）

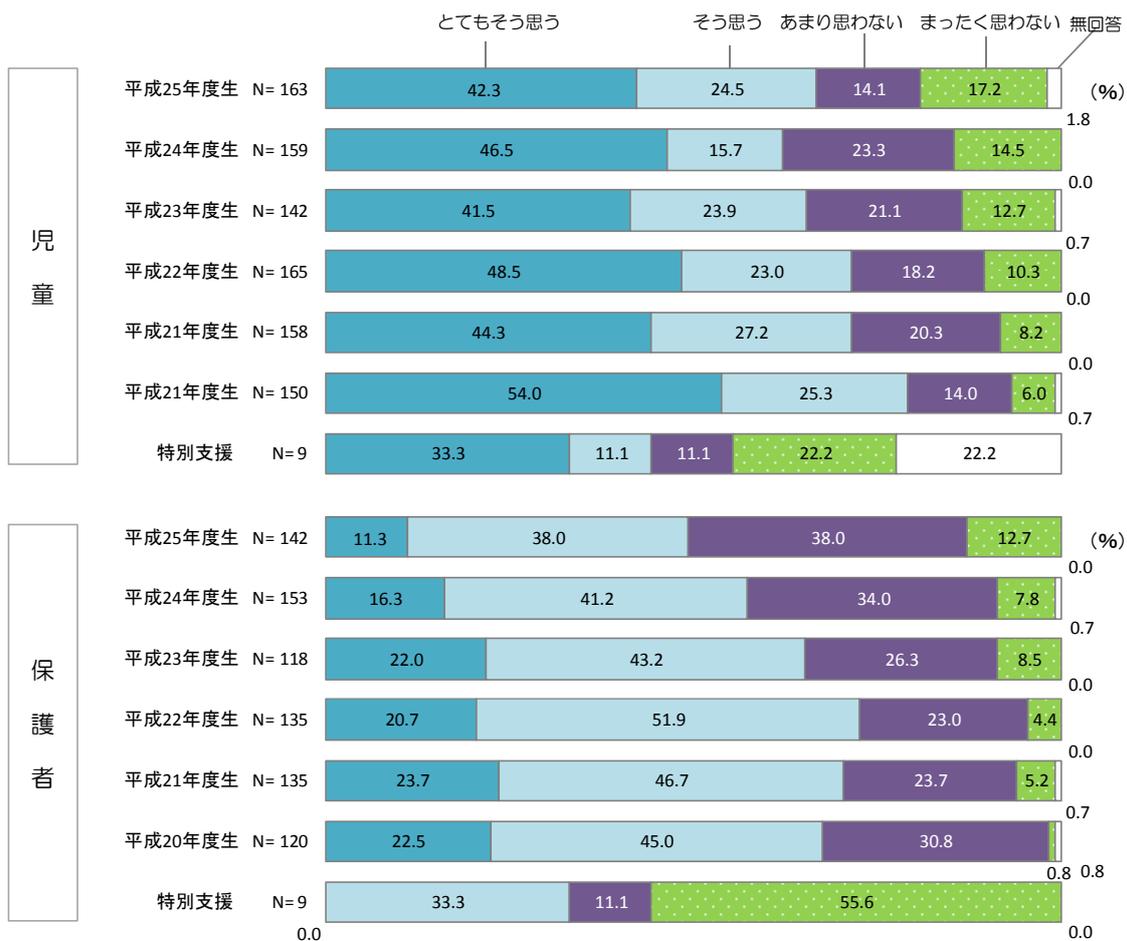
大きなじしんなどがおこったときに、ひなんするためのばしょをしっている。

### 児童（平成23～20年度生）

大きな地震などが起こったときに、避難(ひなん)するための場所を知っている。

### 保護者

地震などの災害が起こったときに、近くの緊急避難場所を知っている。



## (23) 軽いけがの手当なら一人でできるか

### ■ 児童（平成25・24年度生）

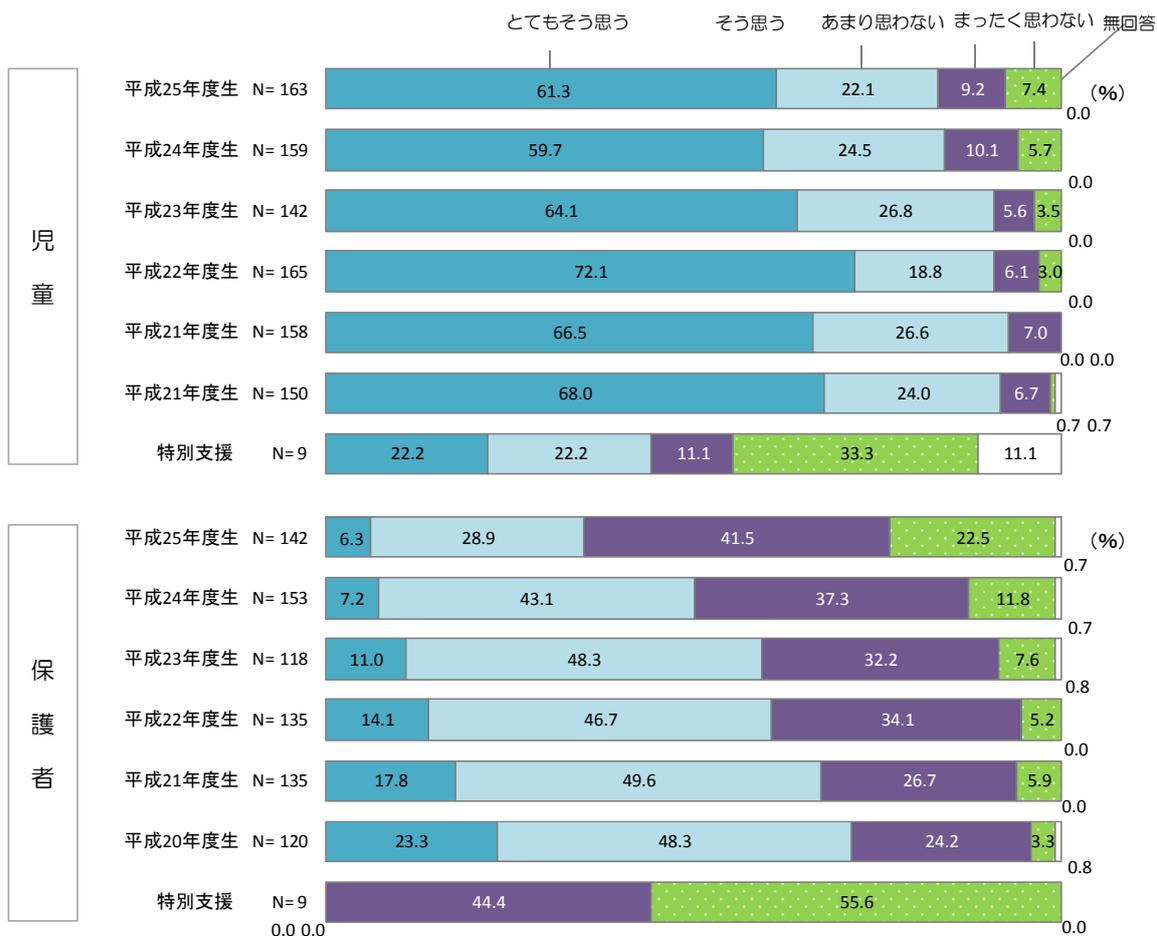
かるいけがなら、ひとりでもてあてをすることができる。

### 児童（平成23～20年度生）

軽いけがなら、一人で手当をすることができる。

### 保護者

軽いけがなら、一人でも手当を行うことができる。



## (24) 体を温める方法を知っているか(電気ストーブなどが使えない時)

### ■ 児童(平成25・24年度生)

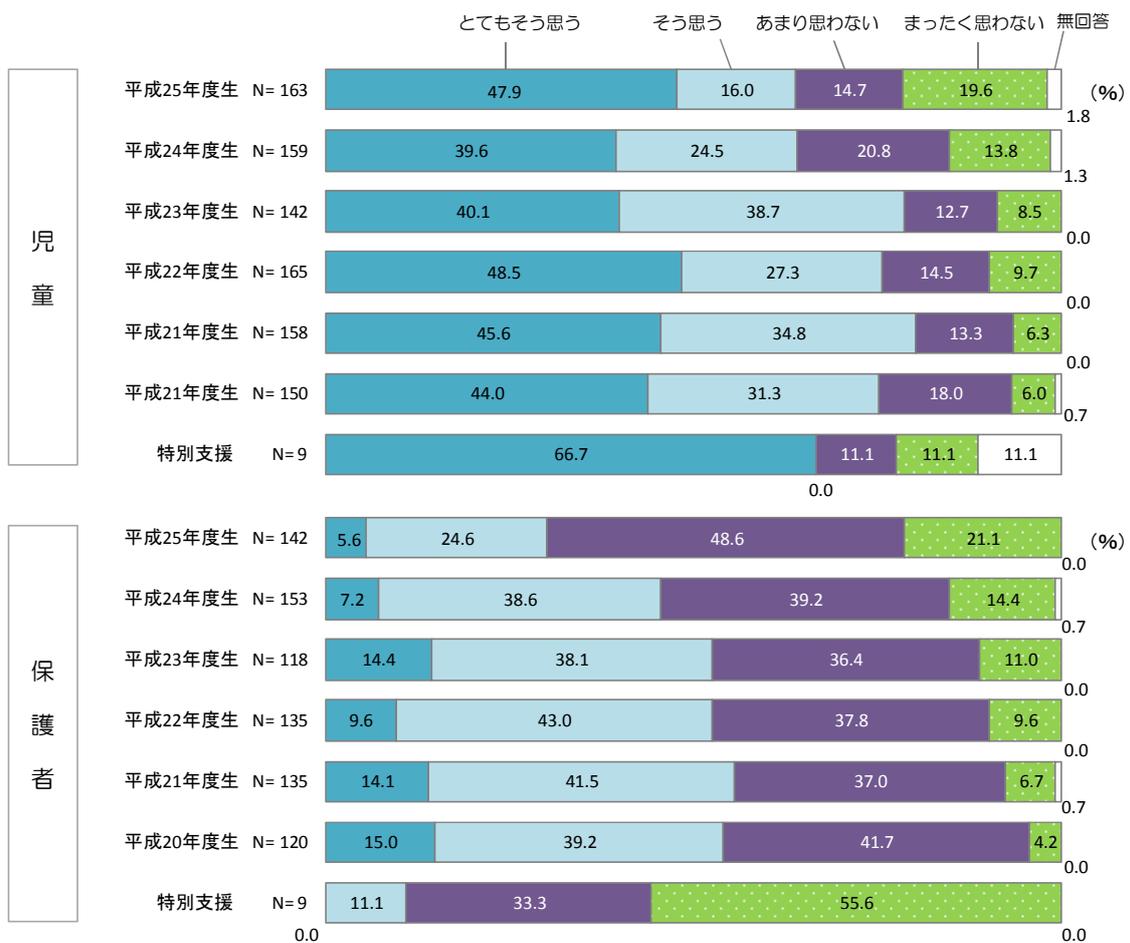
でんきストーブやガスのファンヒーターがつかえないときに、どうしたら体があたたまるか知っている。

### 児童(平成23~20年度生)

電気ストーブやガスのファンヒーターなどが使えないときに、体をあたためる方法を知っている。

### 保護者

電気ストーブやガスファンヒーターが使えない時に、体をあたためる方法を知っている。



## (25) 電気やガスを使わない料理の経験

### ■ 児童（平成25・24年度生）

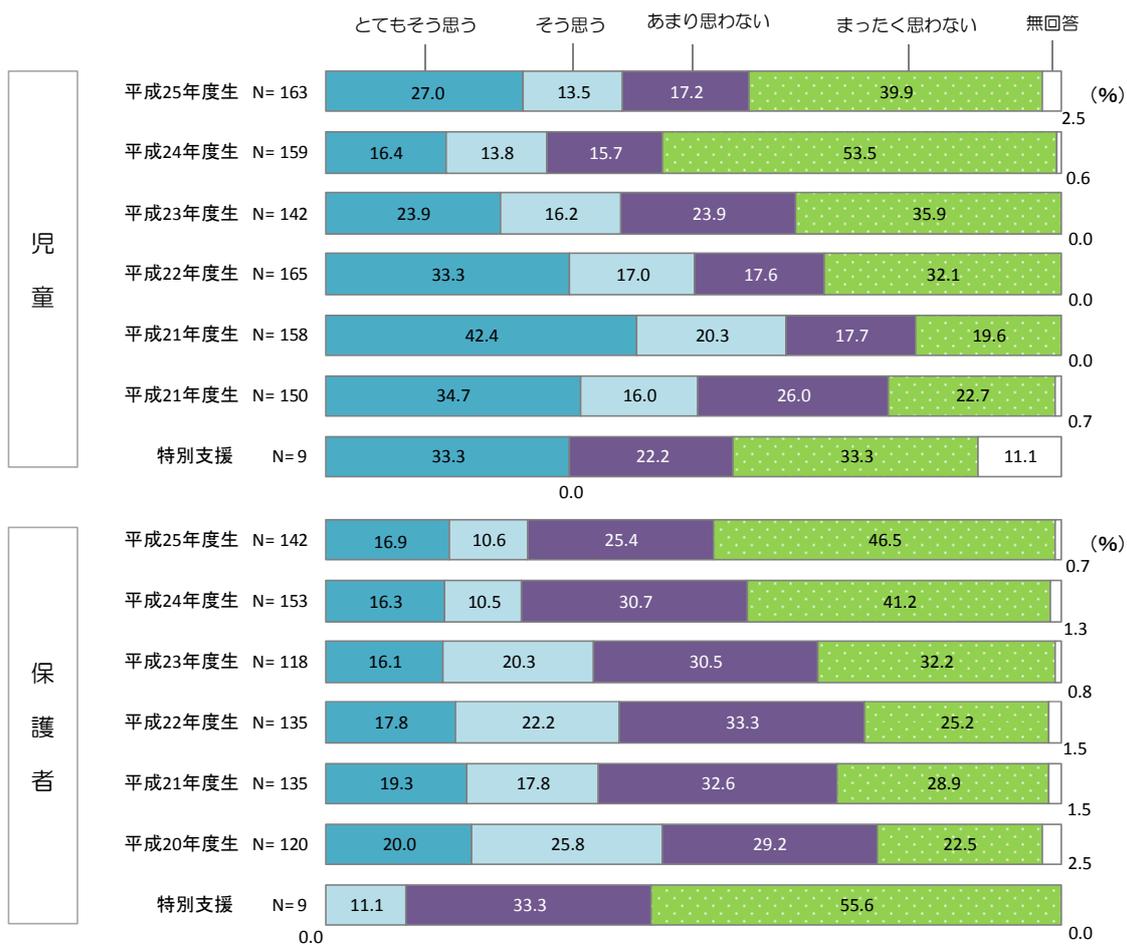
でんきやガスをつかわないで、りょうりをつくったことがある。

### 児童（平成23～20年度生）

電気やガスを使わないで、料理をしたことがある。

### 保護者

電気やガスを使わないで、料理を行った経験がある。



## (26) 刃物を使って野菜や肉を切れるか

### ■ 児童（平成25・24年度生）

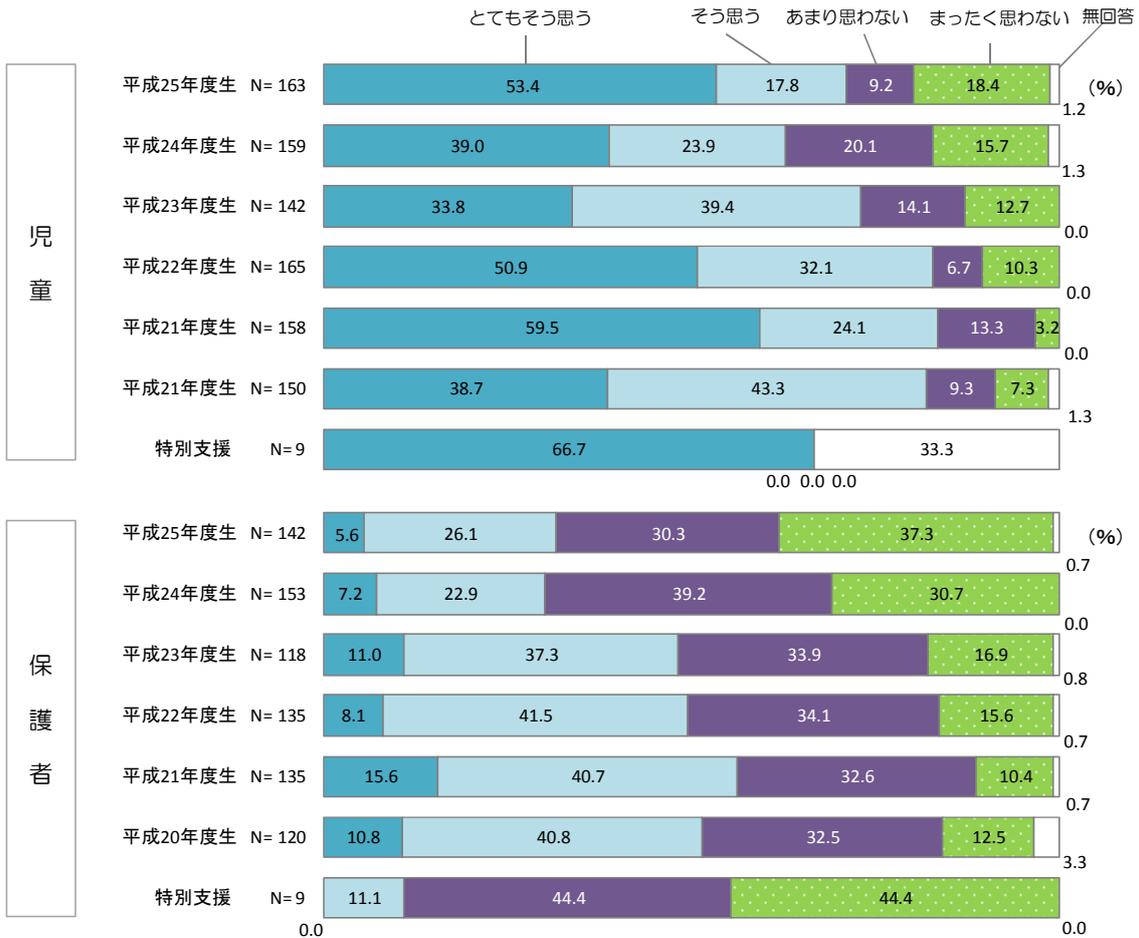
ほうちょうやナイフをつかって、やさいやにくをきったり、さかなを さばいたりすることができる。

### 児童（平成23～20年度生）

包丁(ほうちょう)やナイフを使って、野菜(やさい)や肉(にく)を切ったり、魚をさばいたりすることができる。

### 保護者

包丁やナイフを用いて、野菜や肉を切ったり、魚をさばいたりすることができる。



## (27) 着衣水泳の経験

### ■ 児童（平成25・24年度生）

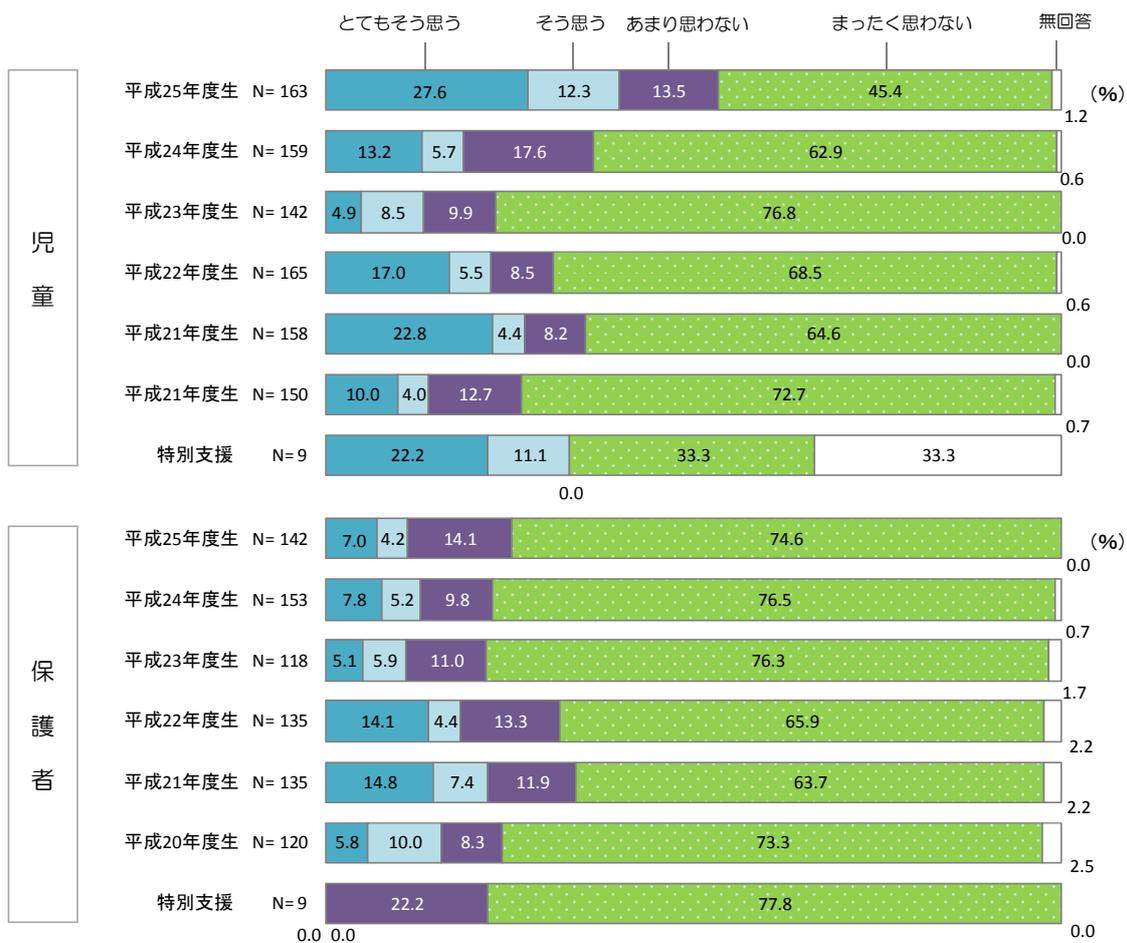
ふくをきたまま プールなどに入り、およいだりあるいたりするれんしゅうをしたことがある。

### 児童（平成23～20年度生）

着衣(ちゃくい)水泳(すいえい)（服(ふく)を着たまま水泳）をしたことがある。

### 保護者

着衣水泳を行った経験がある。



## (28) 地震後や台風等の情報収集の実施

### ■ 児童（平成25・24年度生）

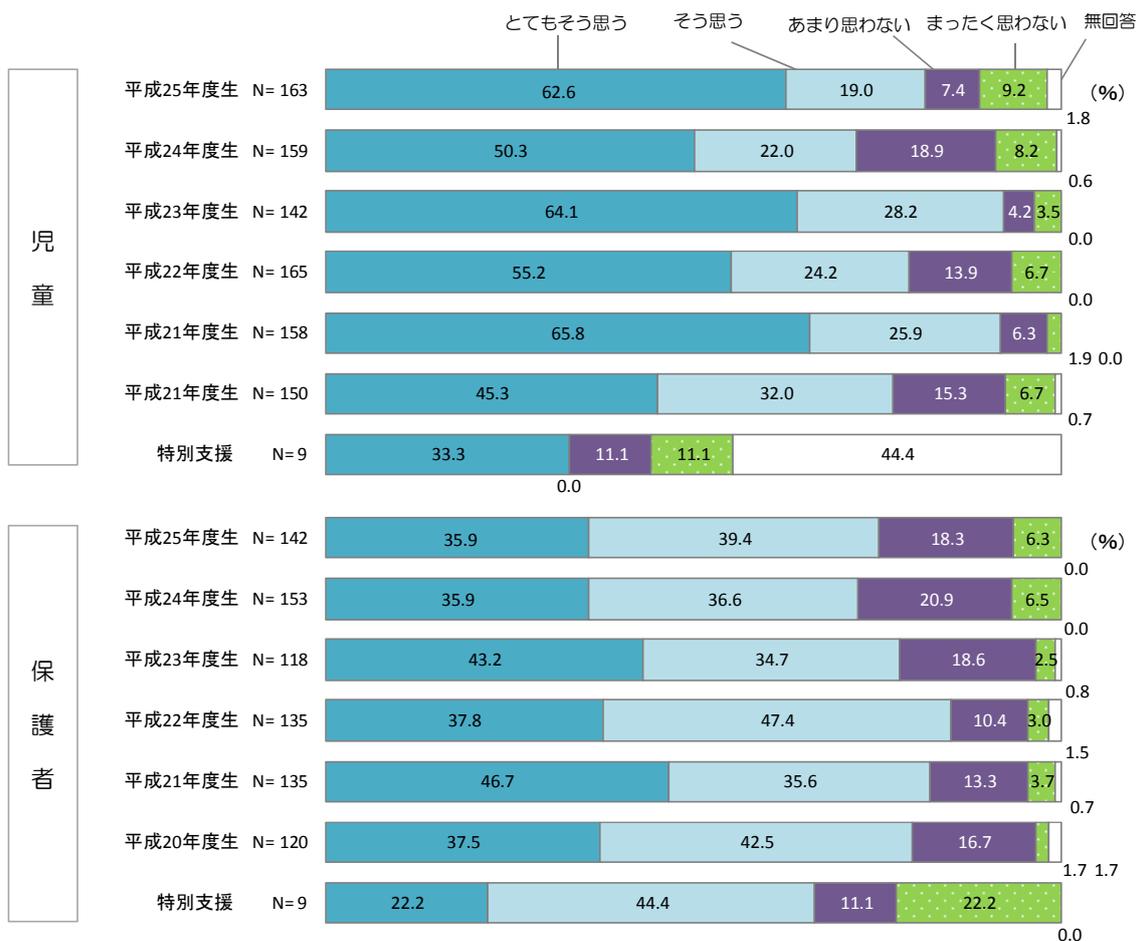
じしんがおきたあとやたいふうがくるまえに、あんぜんをまもるために、かぞくでテレビやラジオなどを 見たりきいたりしている。

### 児童（平成23～20年度生）

地震の後や、台風が来る前には、家族でテレビやラジオなどで情報(じょうほう)を知ろうとしている。

### 保護者

地震後や台風が来る前に、家族でテレビやラジオなどで情報を得ようとしている。



## (29) Eメールを使った連絡の可否

### ■ 児童（平成25・24年度生）

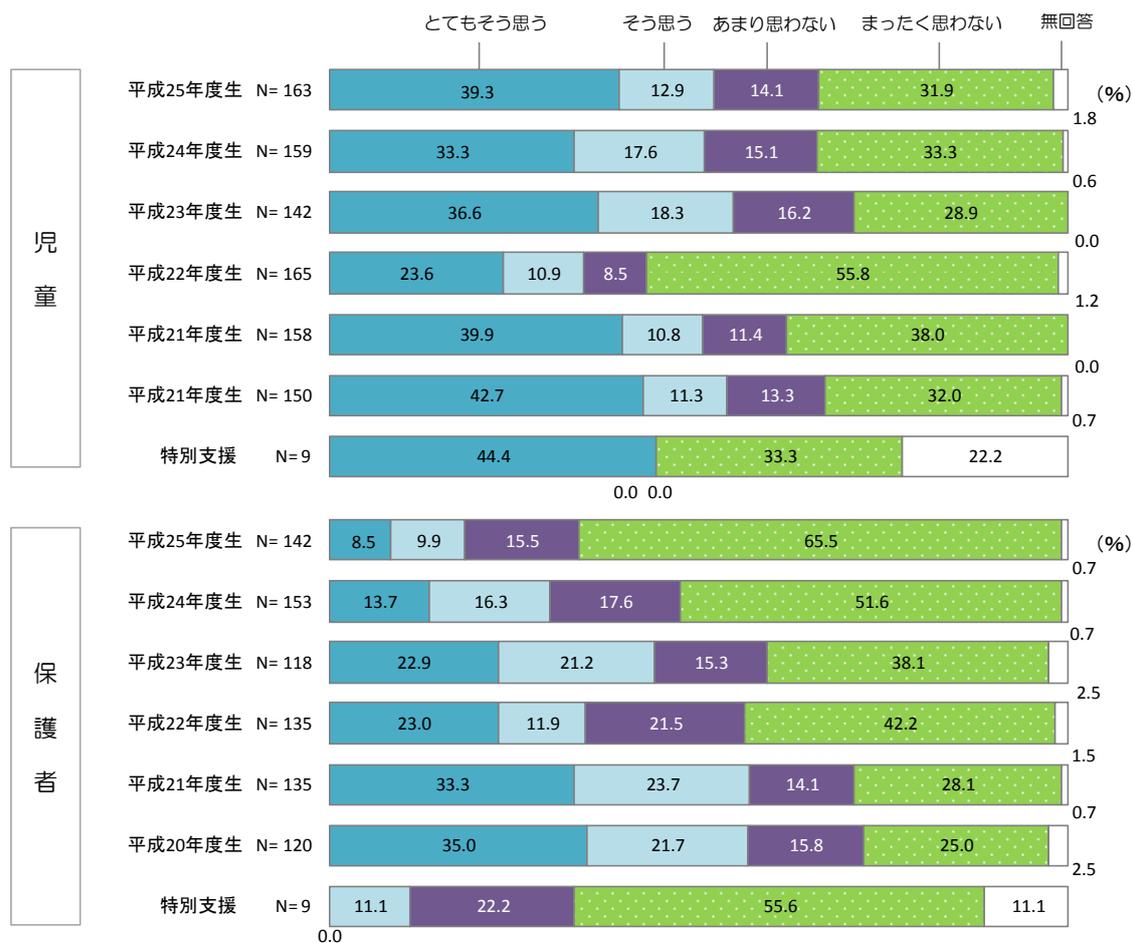
パソコンやけいたいでんわなどのメールをつかっておうちの人などにれんらくすることができる。

### 児童（平成23～20年度生）

E(イー)メールを使って，連絡(れんらく)することができる。

### 保護者

eメールを使って連絡することができる。



### (30) 自宅住所や電話番号等の認知

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

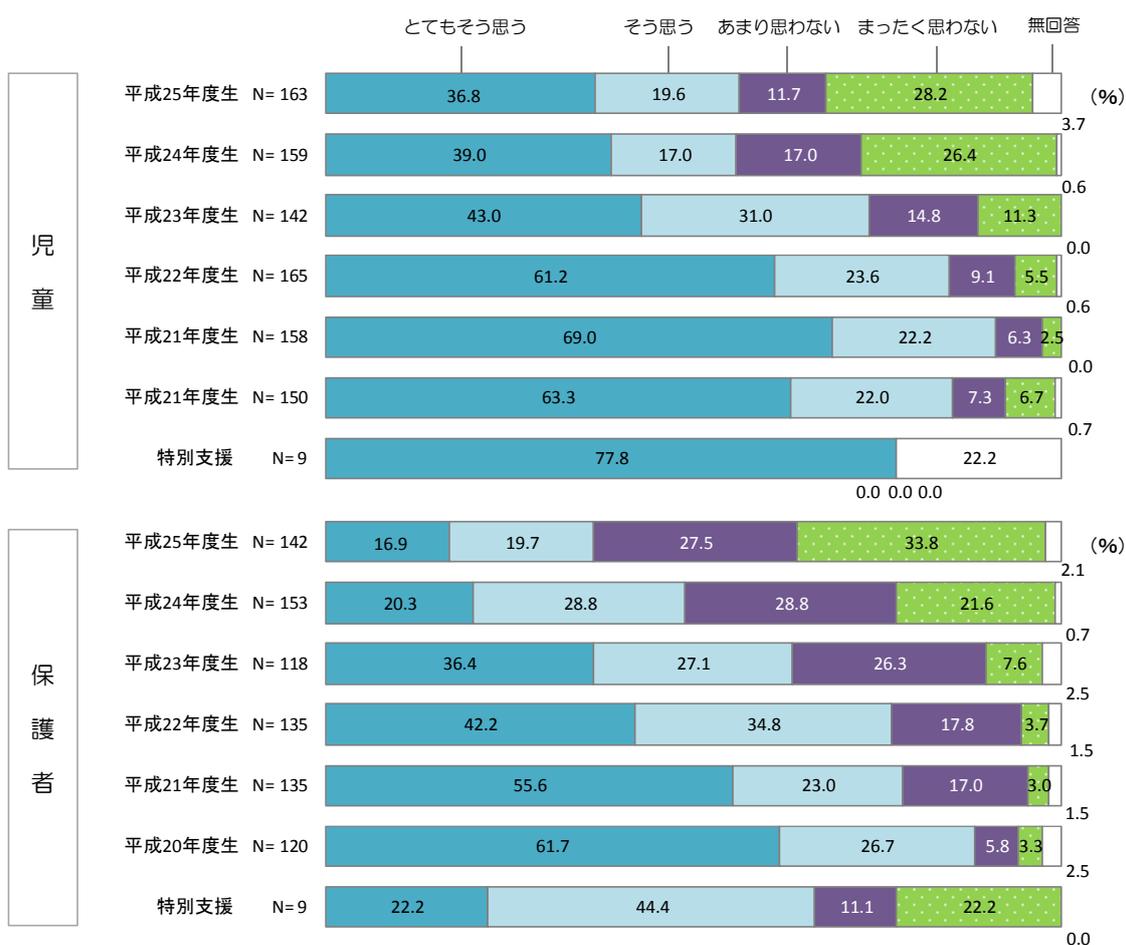
じぶんのいえのじゅうしょや でんわばんごう、おうちの人のけいたいでんわのばんごうなどをいうことができる。

#### 児童（平成23～20年度生）

自分の家の住所(じゅうしょ)や電話番号，親の携帯(けいたい)電話(でんわ)の番号などを言うことができる。

#### 保護者

自分の家の住所や電話番号，親の携帯電話番号などを言うことができる。



### (31) 公園でゴミなどを散らかさずに遊んでいるか

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

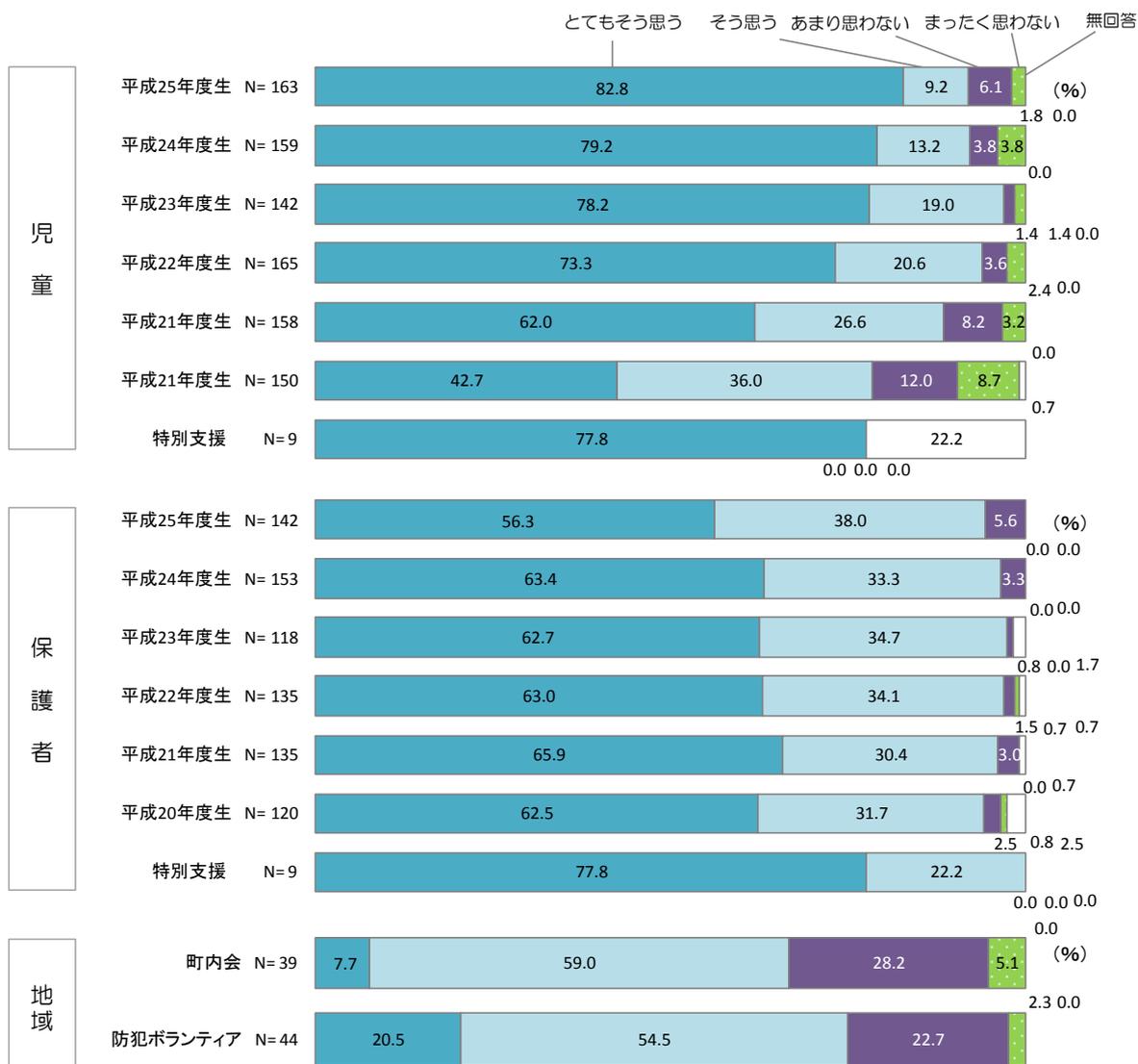
こうえんでは、ごみなどをちらかさないで あそんでいる。

#### 児童（平成23～20年度生）

公園では、ごみなどをちらかさずに遊んでいる。

#### 保護者／地域住民

公園では、ごみなどを散らかさずに遊んでいる。



### (32) 何かしてもらった時にお礼を言えるか

#### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

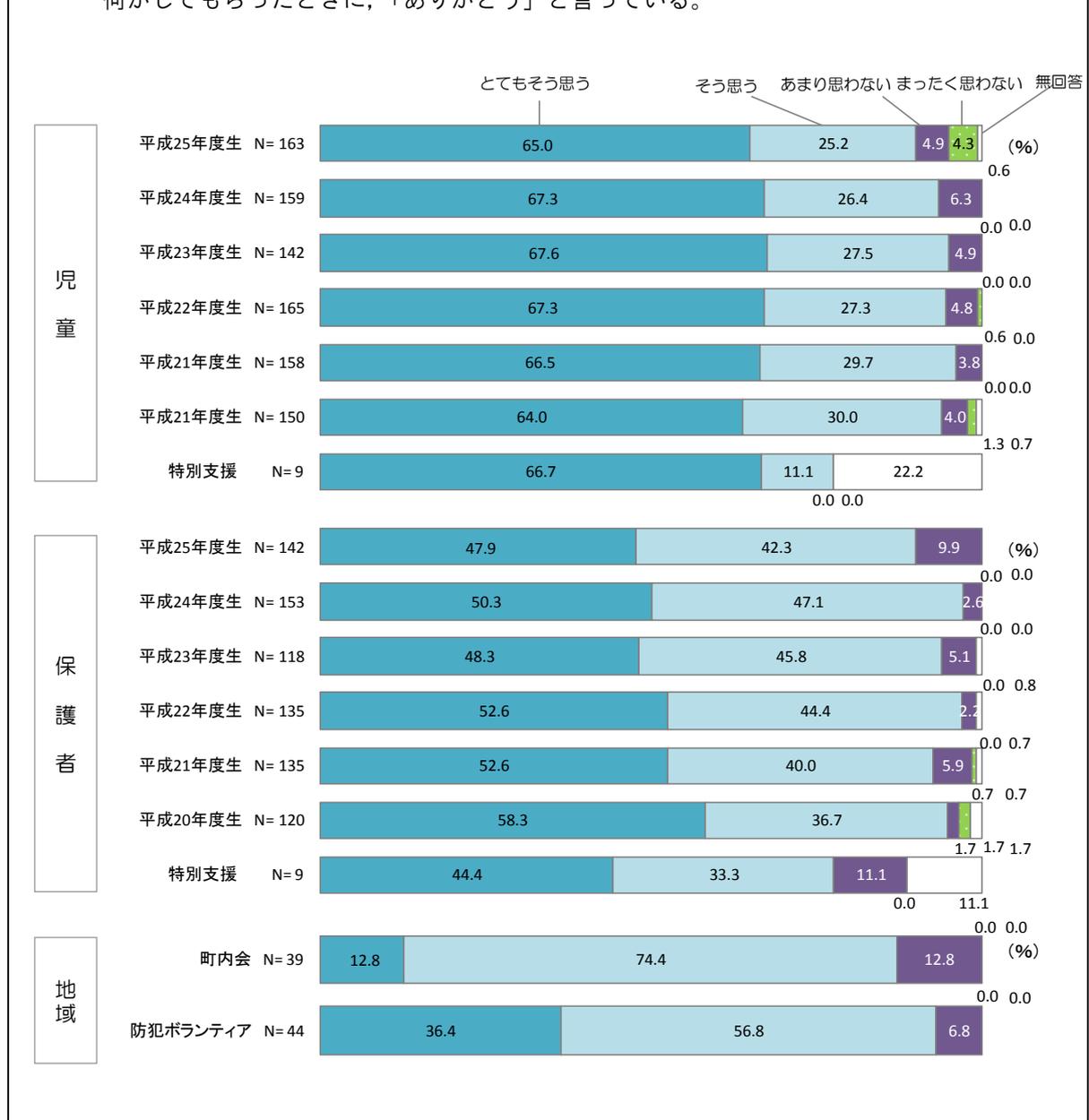
人になにかをしてもらったときに、「ありがとう」と言っている。

#### 児童（平成 23～20 年度生）

何かをしてもらったときに、「ありがとう」と言っている。

#### 保護者／地域住民

何かしてもらったときに、「ありがとう」と言っている。



### (33) 家族や友達が困っているときに、進んで助けてあげているか

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

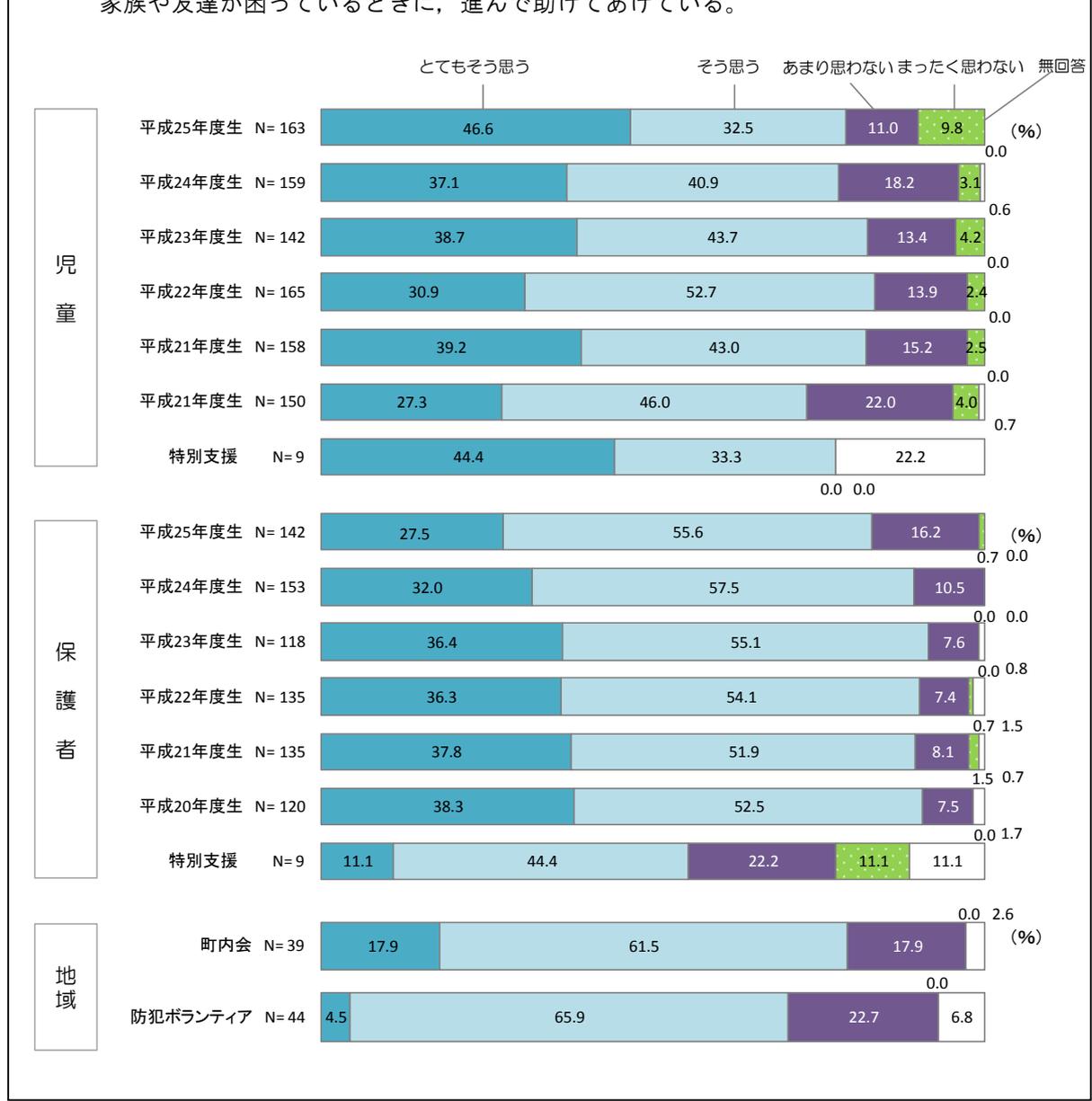
かぞくやともだちがこまっているときに、じぶんからたすけてあげている。

#### 児童（平成23～20年度生）

家族や友達が困っているときに、進んで助けてあげている。

#### 保護者／地域住民

家族や友達が困っているときに、進んで助けてあげている。



### (34) 生き物や植物を大事にし、世話をしているか

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

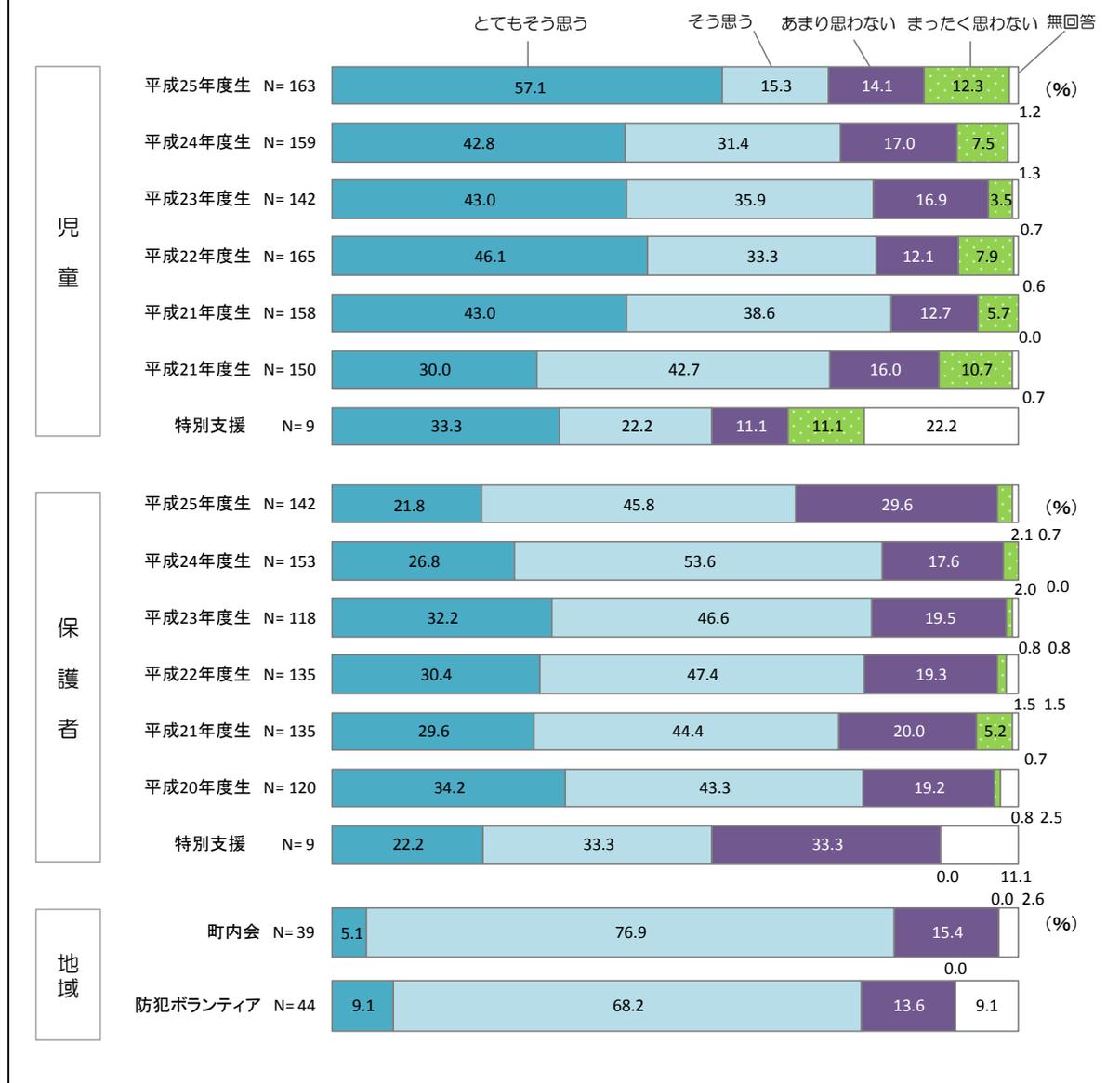
生きものやくさばなを だいじにしながらせわをしている。

#### 児童（平成23～20年度生）

生き物や植物を大事にし、世話をしている。

#### 保護者／地域住民

生き物や植物を大事にしながら世話をしている。



### (35) 自分の将来に夢を持っているか

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

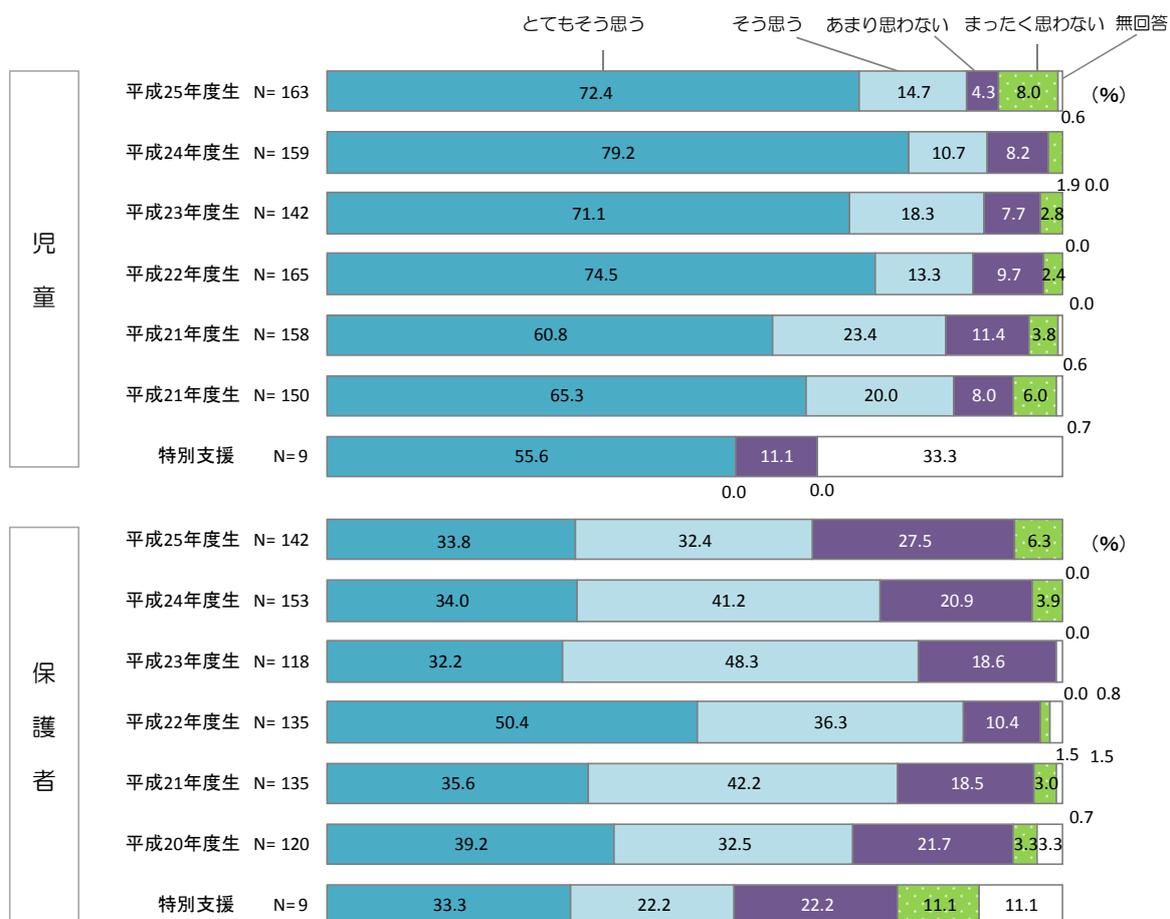
おとなになったらこんなしごとをしたい，こんなおとなになりたいなど，しょうらいのゆめをもっている。

#### 児童（平成23～20年度生）

こんな職業(しよくぎょう)につきたい，こんな大人になりたいなど，自分の将来(しょうらい)に夢(ゆめ)をもっている。

#### 保護者

こんな職業につきたい，こんな大人になりたいなど，自分の将来に夢をもっている。



### (36) 将来の七郷のまちに対するビジョンがあるか

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

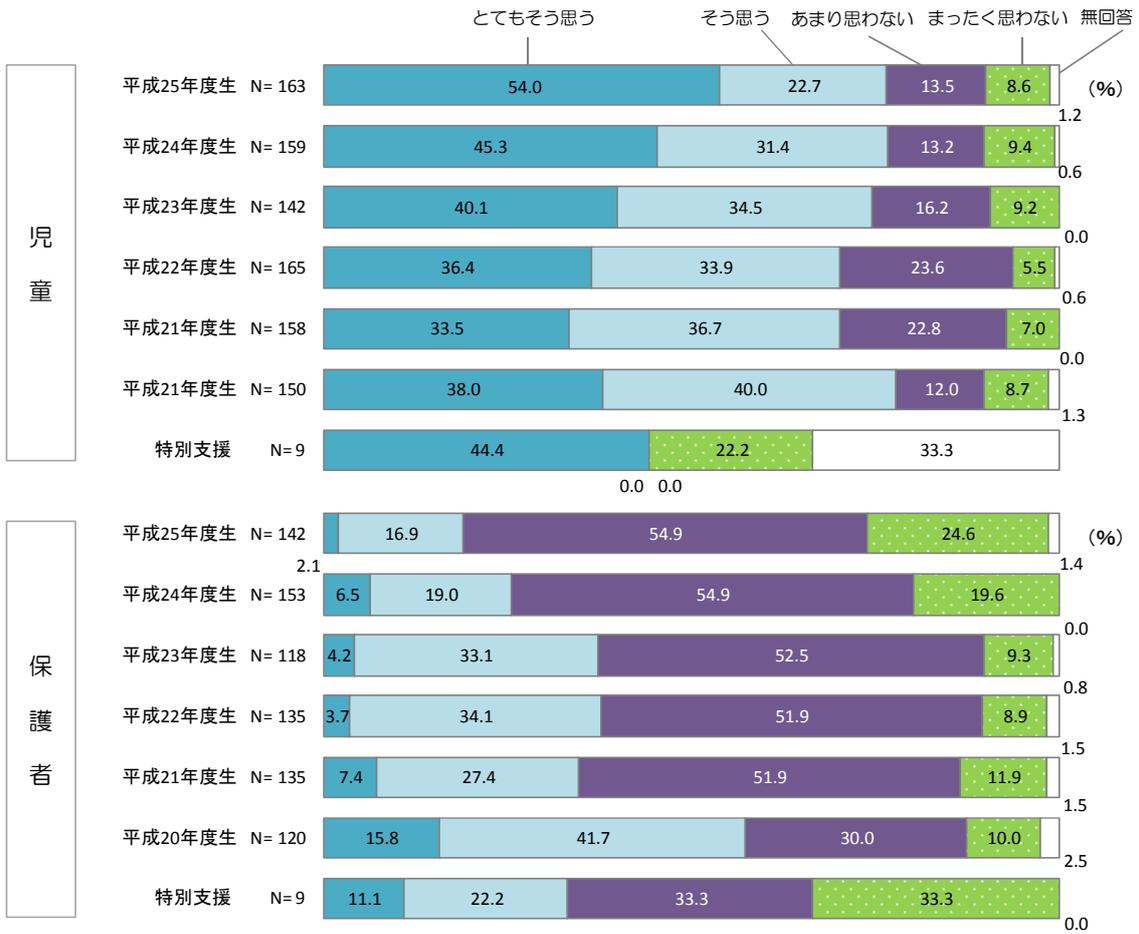
七郷のまちや これからのよのながが こんなふうになってほしいという おもいをもっている。

#### 児童（平成23～20年度生）

七郷のまちや これからの世の中が こんなふうになってほしいという 思いを持っている。

#### 保護者

七郷のまちやこれからの社会はこんなふうになってほしいという思いを持っている。



### (37) 近所の人に自分から進んであいさつしているか

#### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

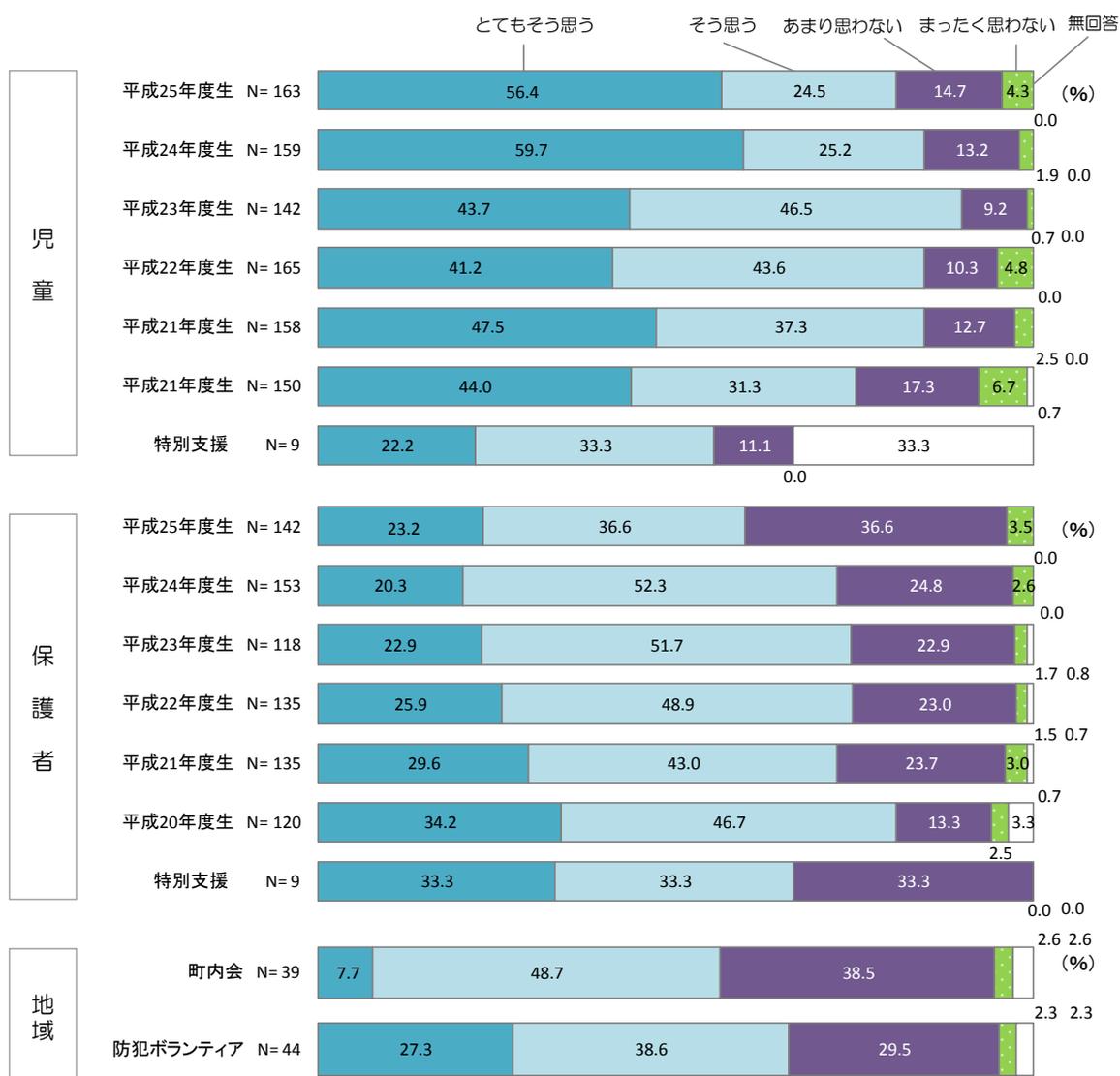
ちかくにすんでいる人に「おはようございます」「こんにちは」など、じぶんからすすんであいさつをしている。

#### 児童（平成 23～20 年度生）

近所の人に「おはようございます」「こんにちは」など、自分から進んであいさつをしている。

#### 保護者／地域住民

近所の人に「おはよう」「こんにちは」など、自分から進んであいさつをしている。



### (38) 子供会の清掃活動や資源回収への参加状況

#### ■ 児童（平成25・24年度生）

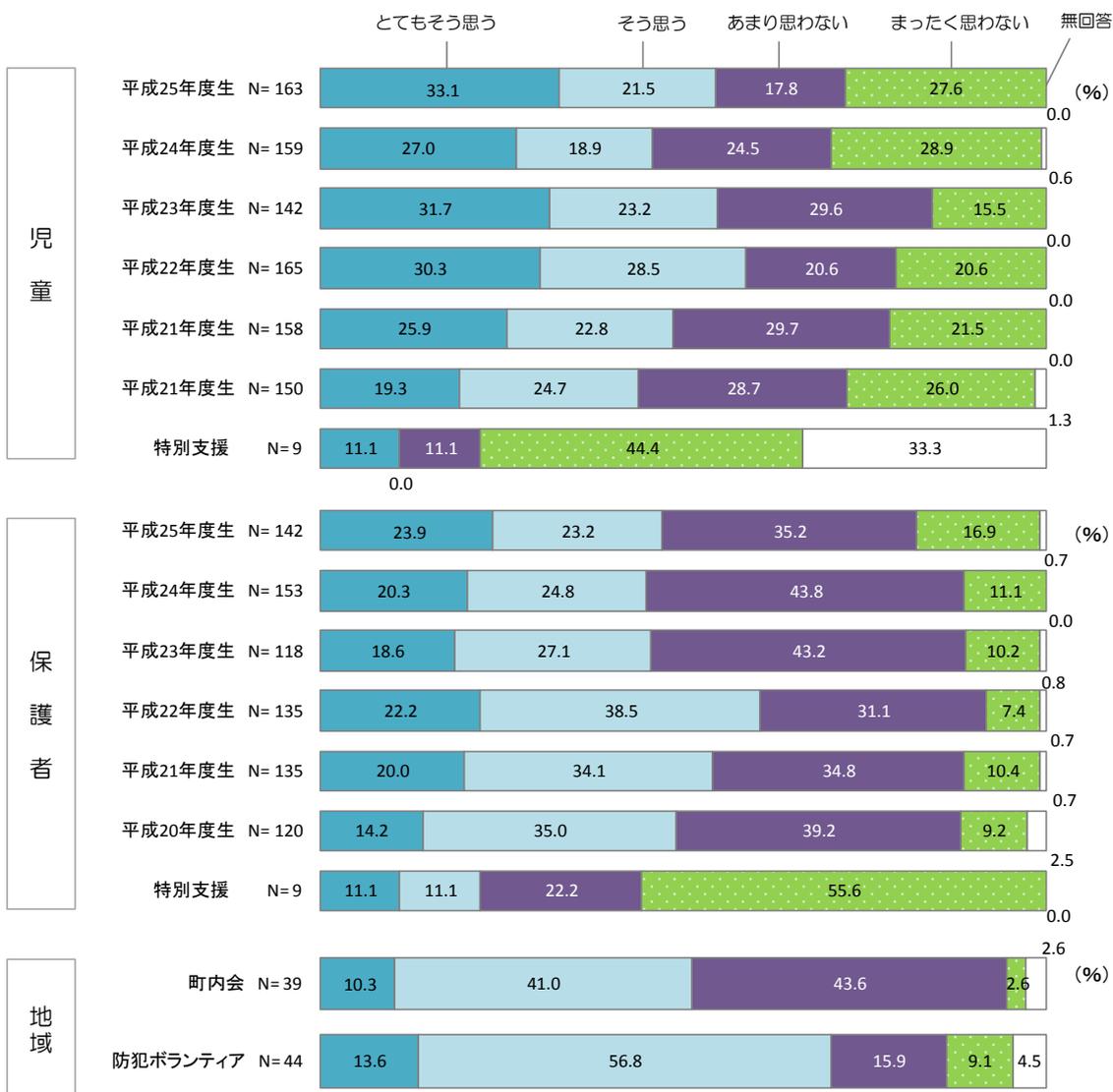
あなたは、子ども会の せいそうかつどうやしげんかいしゅう（はいひんかいしゅう）にいつもさんかし、じぶんからすすんで しごとをしている。

#### 児童（平成23～20年度生）

子ども会の清掃(せいそう)活動(かつどう)や資源(しげん)回収(かいしゅう)（廃品(はいひん)回収(かいしゅう)）に、進んで参加(さんか)している。

#### 保護者／地域住民

子供会の資源回収や清掃活動に積極的に参加している。



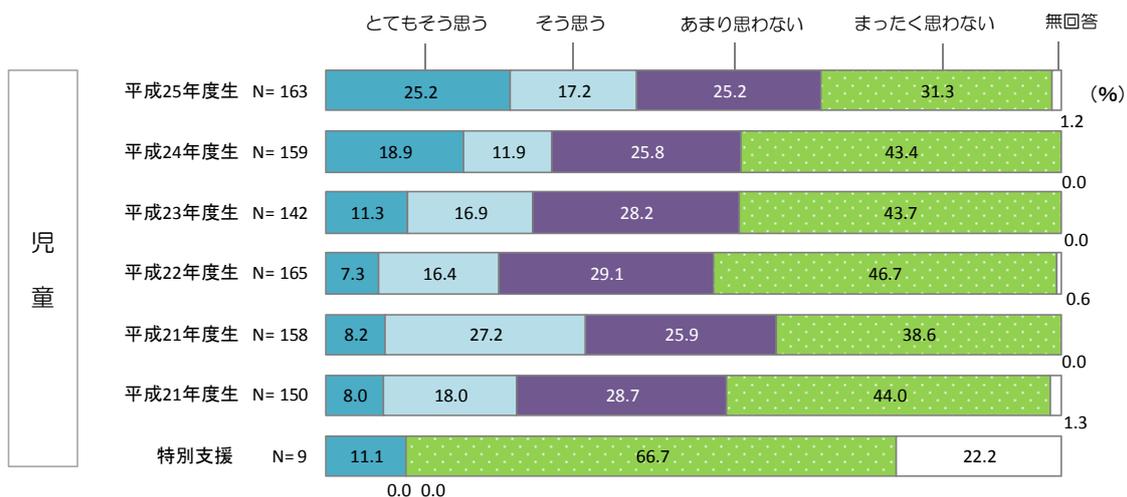
### (39) 震災を知らない人に、震災の時に体験したことを伝えているか

#### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

あなたは、しんさいをしらない人に、しんさいのときにおこったことやじぶんたちがしたことをはなしている。

#### 児童（平成 23～20 年度生）

震災(しんさい)を知らない人に、震災の時に体験(たいけん)したことを伝えている。



## (40) 復興のためのボランティア活動に参加したいと思っているか

### ■ 児童（平成25・24年度生）

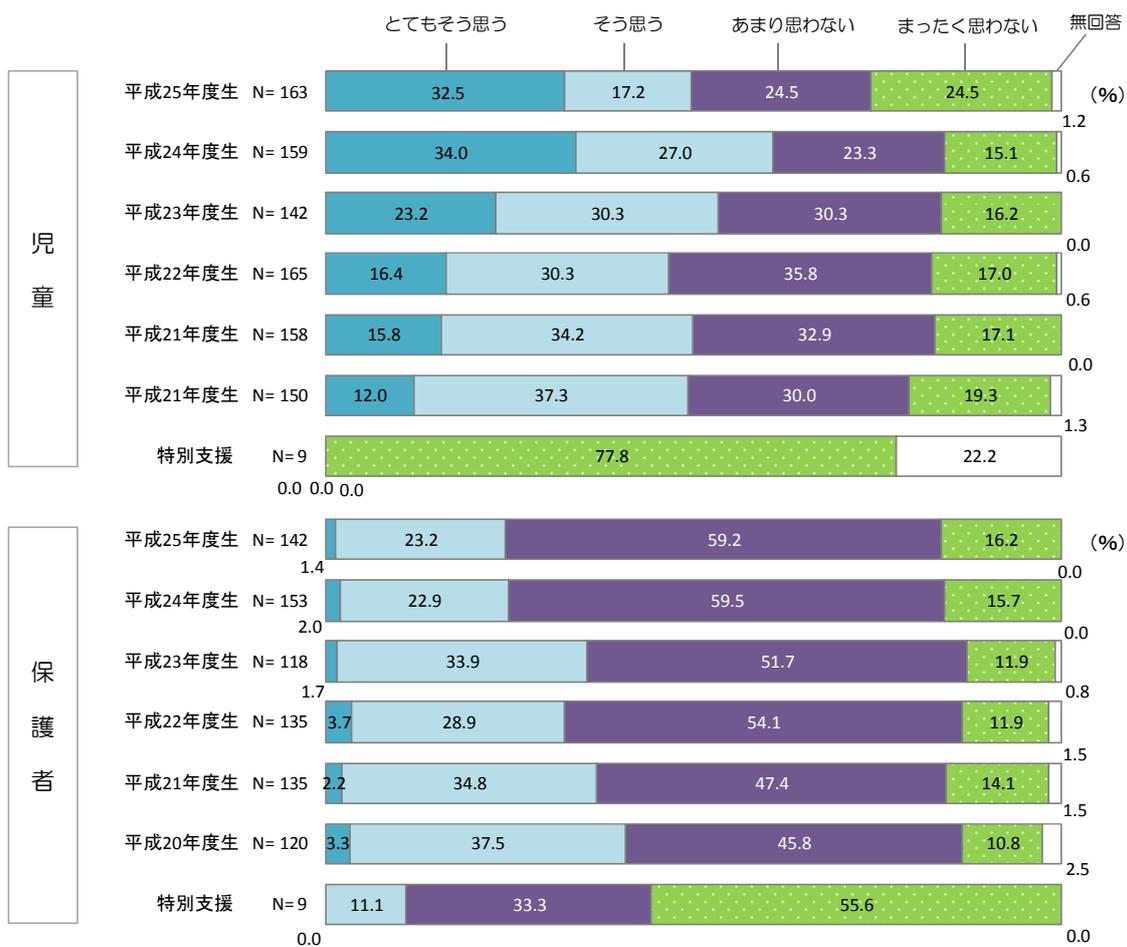
しんさいふっこうのためのボランティアかつどうをやってみたいとおもう。

### 児童（平成23～20年度生）

震災(しんさい)復興(ふっこう)のためのボランティア活動をやってみたいと思う。

### 保護者

復興のためのボランティア活動に参加したいと思っている。



## (41) 地域の人と一緒に防災や復興のために行動しているか

### ■ 児童（平成 25・24 年度生）

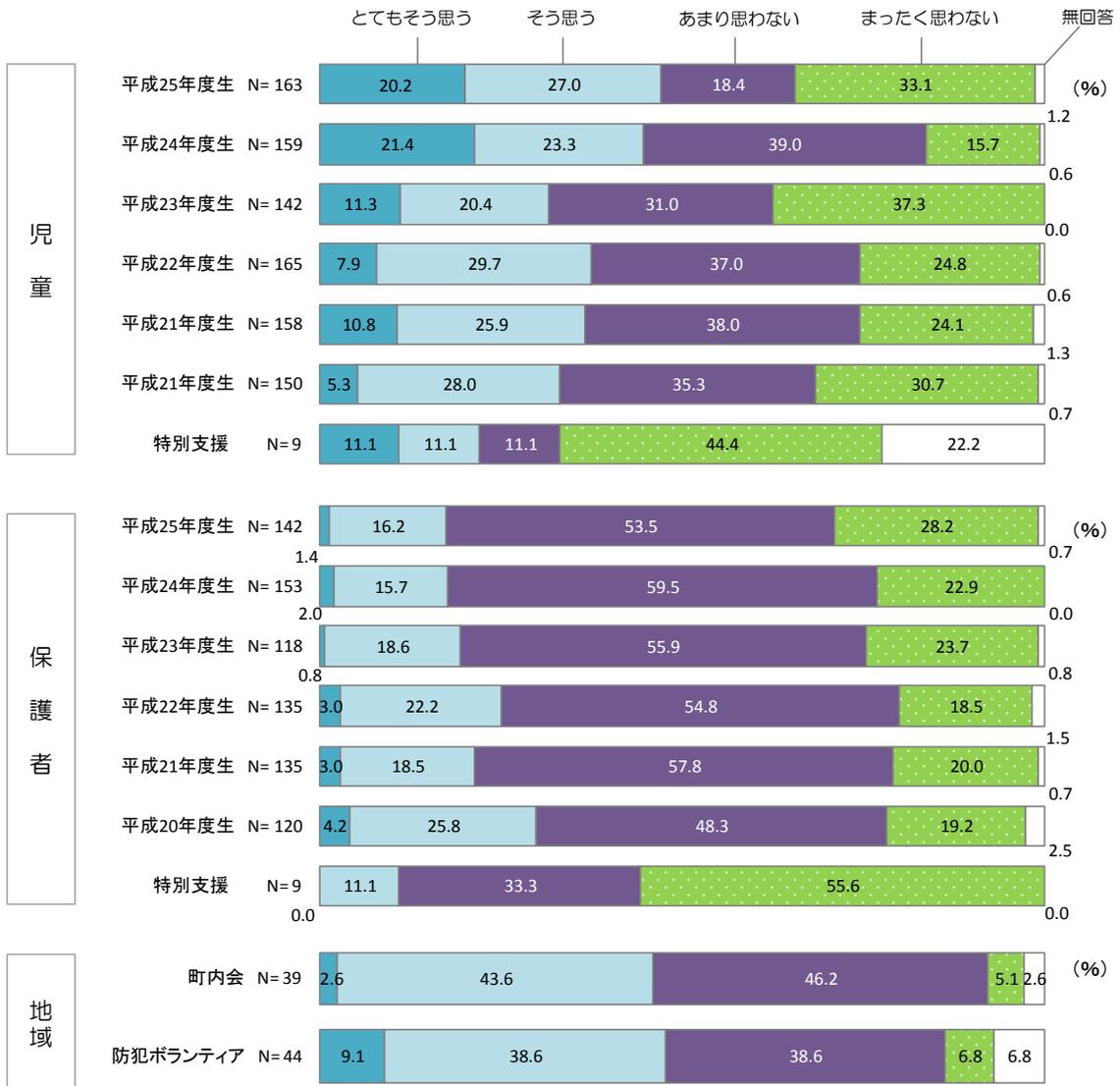
ちいきのひとつといっしょにぼうさいやふっこうのためにこうどうしている。

### 児童（平成 23～20 年度生）

地域の人といっしょに防災や復興のために行動している。

### 保護者／地域住民

地域の人と一緒に防災や復興のために行動している。



### 3. 自由意見

#### (1)児童

##### ①地震の時に起こること

地震の時に起こること	学年
地震が起こると停電が怖い。	25 年度生
ヒーターが止まる。	25 年度生
ガラス（が割れたり）や停電になる。	25 年度生
いろいろな物が壊れる。	25 年度生
停電になったらニュースを見る。	25 年度生
電柱が揺れる。電車が止まる。	25 年度生
おうちの壁がひびになる。	25 年度生
棚の上の物とか落ちてくる。食器棚の食器が落ちてくる。	25 年度生
前うちが2才か3才くらい、アメトークがやっている時にママが泣いてた。	25 年度生
建物が崩れる。	25 年度生
何かが落ちてくる。	25 年度生
津波が来る。物が倒れる。	25 年度生
台風で、雷や風で心がどきどきして心配になる	25 年度生
家中壊れる。	25 年度生
テレビが倒れたりタンスが倒れる。	25 年度生
物が倒れたり物が落ちたりする。テレビが消える。	25 年度生
津波が起きる。電信柱や電灯が倒れたりする。	25 年度生
地震が起きたらすぐ下に隠れる。	25 年度生
物が落ちたり地面が揺れたり電車が止まったりしてとても怖い。	25 年度生
停電になる。	25 年度生
急にぐらぐらと、揺れる。	25 年度生
津波や、地震。	25 年度生
東日本大震災よりすごいひどくなる。	25 年度生
お皿やコップ（が割れる）。	25 年度生
電気がつかなくなる。	25 年度生
津波が来たり地震が続いたりする。	25 年度生
地震の時津波が来る。	25 年度生
物や棚が倒れる。	25 年度生
津波が押し、物が落ちてくる。	25 年度生
地震が来ると被害が起こる。	25 年度生
電気とかが、消えたりします。	25 年度生
大きい地震が来ると火事が起きたり、津波や道路が崩れたり、電柱が倒れる。	25 年度生
地震が来たら津波が、来ておうちや人が、流されます。	25 年度生
家がぐちゃぐちゃになる。	25 年度生
地震が来た時は、頭を守りながら安全な所に逃げること。	25 年度生

地震の時に起こること	学年
いろいろな物が、たくさん落ちてくる。	25 年度生
津波が起きたり地震で建物が倒れてしまう。	25 年度生
ゆっくりどんとなった時。	25 年度生
停電になる。	25 年度生
食器や、いろいろな物が落ちる。すごく大きい地震の時は、津波が来る。	25 年度生
土の中から出てくる。	25 年度生
地震が起きる。	25 年度生
津波が来たり、電気が消えたりする。	25 年度生
津波が起きる。	25 年度生
津波が来たり物が落ちたりする。	25 年度生
物が落ちる。	25 年度生
津波が来る。	25 年度生
すごい地震が起こる。	25 年度生
地震が起きると津波が出るのが分かる。	25 年度生
揺れ。	25 年度生
物が倒れる。物が揺れる。	25 年度生
窓ガラスが割れる。エアコンが落ちる。	25 年度生
地震が起きる時ちょっと暗くなる気がする。	25 年度生
食器が割れる。	25 年度生
おうちの茶碗が割れる。おうちの物が落ちる。	25 年度生
停電する。皿が落ちて割れる。	25 年度生
津波が起きる。	25 年度生
津波が来る。	25 年度生
ガラスが割れる。	25 年度生
おうちが、揺れる。物が、落っこちる。	25 年度生
地震と津波が来る。	25 年度生
家が壊れちゃう。	25 年度生
地震が来て津波が起きる。	25 年度生
津波が起きそうな気がする。	25 年度生
地震が起きた時にニュースを見てる。	25 年度生
おうちが流された。	25 年度生
食べ物があんまり食べられない。	25 年度生
地震の時は物が落ちたりする。	25 年度生
家が汚くなる。	25 年度生
津波が起こる。街がめちゃくちゃになる。	25 年度生
津波が地震の後に来て大変だと思う。	25 年度生
地震が起きた後に津波が来る。	25 年度生
地震の時おうちが揺れる	25 年度生

地震の時に起こること	学年
おうちが揺れる。津波が来る。	25 年度生
津波が襲う。	25 年度生
建物が揺れたり、大きければ津波が起きる事がある。	25 年度生
建物とか食器が崩れる。	25 年度生
地震が止まるとまた地震がおきます。	25 年度生
物が落ちてくる。	25 年度生
物が落ちてきたり揺れを感じたりする。	25 年度生
津波が来る。	25 年度生
津波が来る。人が死亡する。	25 年度生
地震が起きた時は、冷蔵庫は開いたら冷蔵庫の中の卵とか割れる。	25 年度生
津波が襲う。	25 年度生
水が使えなくなる。電気が使えなくなるガラスが割れる。	25 年度生
津波が起きる。	25 年度生
津波。	25 年度生
命を失う。	25 年度生
津波が来る。	25 年度生
津波。	25 年度生
ぐらぐらする。	25 年度生
ぐらぐらして、物とか、落ちてくる。	25 年度生
津波が来る。	25 年度生
津波が起こる。	25 年度生
地震が来たら津波が来る。	25 年度生
津波が来る。	25 年度生
家が流される。	25 年度生
上にある物が落ちる。	25 年度生
揺れる。津波が来る。	25 年度生
ぐらぐらする。	25 年度生
津波雪崩。	25 年度生
津波と地震。	25 年度生
皿が割れる。本棚が倒れる。	24 年度生
地震が来たらタンスとかテレビや津波が来て流されたり倒れたりする。	24 年度生
おうちにいて地震が来たらガラスが壊れると思う。	24 年度生
置いているものが落ちる。	24 年度生
家が壊れる。	24 年度生
物が倒れる。	24 年度生
道路が割れる。	24 年度生
家やマンションが少し崩れそう。上の物が落ちてくる。停電になる時がある。	24 年度生
家が縦や横に揺れる。	24 年度生

地震の時に起こること	学年
何かが倒れる。	24年度生
前うちが2才か3才くらい、アメトークがやっている時、ママが泣いてた。	24年度生
ドアがゆがむ。網戸が外れる。	24年度生
学校で地震が起きたら、テレビが倒れる。電気が落ちてくる。	24年度生
津波が起きたり何かが壊れたりする。	24年度生
窓ガラスが割れる。いろんな物が倒れる。	24年度生
家を壊したりする。	24年度生
山崩れや、家が壊れる。強い時は、津波が来る。	24年度生
いろいろな物が倒れる。津波が来る。	24年度生
物が落ちて、危険な場所になる。家具とかも落ちてくる。	24年度生
津波に流されて死ぬかもしれない。	24年度生
地震が来たら、いろんな物が倒れる。	24年度生
津波が来る。校舎が崩れる。	24年度生
外がぐちゃぐちゃになって外にでれなくなる。	24年度生
地震が起きた時全部棚から落ちてくる。テレビが落ちる。電気が消える。おさまった時、地震が収まった後にみんなは「あ～」とため息をつく。	24年度生
地面が揺れる。物が落ちる。	24年度生
すごく揺れる。	24年度生
棚が落ちる。津波が起こる。	24年度生
その後ももう一回地震が起きるかもしれない。	24年度生
地震の後にすごくびっくりして、家から出たくない気持ちになる。	24年度生
お皿やコップが割れる。	24年度生
津波が起きる。	24年度生
震度6や7の時は家に入れなかったり食べ物が食べれなくなったりする。	24年度生
物が倒れる。津波が起きる。	24年度生
地震の時は、家がぐちゃぐちゃになってしまいました。	24年度生
地震の後に救急車やサイレンの音になる。	24年度生
地震が起きてから津波が来たりする。	24年度生
地震が起きた後津波が来る。	24年度生
地震の後、道路や車がぐちゃぐちゃなってる。	24年度生
建物が壊れたり、津波が来たりする。	24年度生
がたがた揺れて大きい地震の時は津波が来る。	24年度生
家でテレビのリモコンが揺れているから。	24年度生
ブロック塀が割れる。	24年度生
高い所に置いているものが、落ちる。津波が来る。ガラスが割れる。地面にひびができる。	24年度生
津波が来る。物が倒れる。家が倒れる。地面が、でこぼこになる。	24年度生
ガラスが割れ電信柱が曲がり、家が壊れ地面がグラグラする	24年度生
津波が来る。ビルがすごく揺れる。避難する。看板が倒れる。	24年度生

地震の時に起こること	学年
家が崩れる。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
電柱が倒れる。道路が割れる。	24 年度生
震源の高い所は、すごく大きい地震が起きる。絵を記載。	24 年度生
カラスが変な鳴き声をしたりする。	24 年度生
津波などが起きる。家などが崩れる。	24 年度生
ガラスや窓が割れる。ビルが倒れる。	24 年度生
地割れ。津波。がけ崩れ。ガラス割れ。土砂崩れ。高台に避難。	24 年度生
建物が壊れる。	24 年度生
ビルが崩れたり、車が渋滞になったり、津波が来たり、地面が割れたりする。	24 年度生
建物が倒れる。自動販売機が倒れたりする。ガラスが割れる。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
ビルやマンションが倒れる。ガラスが割れる。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
テレビが倒れそうになる。飲む水の水道が倒れる。絵を記載。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
高い所に物を置いてるところは倒れる。ガラスが割れて危ない。	24 年度生
揺れがおさまるまで椅子が近くにあったら椅子の足をつかんでおく。揺れがおさまったら学校に避難する。	24 年度生
建物が崩れて家がない人もいる。地面がちょっとずれると、地震が起きる。	24 年度生
建物にひびが入ったり津波がきたりブロックが崩れたりする。	24 年度生
地震がきたら津波や物が倒れたりする。	24 年度生
地震が終わったら地面のグラグラが止まる。	24 年度生
家に帰れなくなる。	24 年度生
津波がきたり、マンションが崩れたり、家が流される。	24 年度生
津波がくる。	24 年度生
地震が終わったらどこかが火事になる。	24 年度生
地震が起きたらお皿などが割れるし、地震がひどかったら津波がくる。地震が起きている間は安全な所にいる。	24 年度生
地震が起きた後にもものすごく恐ろしい津波がきます。ちょっとの津波でも足を取られるような津波がきます。	24 年度生
地震が起きた後、ニュースをいつも見ている。	24 年度生
地震が起きた後、物や道具などがいっぱい落ちてきます。	24 年度生
津波が起こる。	24 年度生
津波がきたりガスが止まったり色んなことになる。	24 年度生
地震が起きた後津波が起きる。	24 年度生
津波で家が流される。	24 年度生

地震の時に起こること	学年
おもちゃとかドアが開いたりおもちゃが落ちたりする。	24 年度生
地震の時物は落ちる。	24 年度生
まずゆっくり揺れがきて揺れ、大きな揺れになる。	24 年度生
地震が起きたらものとかが落ちるし、建物が崩れたりする。	24 年度生
原因は地盤沈下で地震が起きます。地震の後は津波、地割れなどが起きます。	24 年度生
グラグラ揺れて家の色んなものが倒れる。	24 年度生
津波がきたり建物が壊れたりする。	24 年度生
時々津波がくる。	24 年度生
ガラスとかが倒れてくる。	24 年度生
地震の時に起きることは、物が落ちることです。絵を記載。	24 年度生
地震が起きたら揺れて、机の下とかに隠れないといけない。地震が大きかったら津波とかがくる。	24 年度生
山なら落石、危険な時は津波などが起きます。	24 年度生
地震の時は津波が流れてきて、家が流されてしまいます。そして地面がまがってしまう。	24 年度生
地震で揺れて津波がくる時もある。大きいのは 15~16m 小さいのは 1~2m。	24 年度生
地球が揺れると海も揺れるので津波が起きます。家の中がぐちゃぐちゃになって大事なものが消えてしまいます。	24 年度生
家が壊れたり、津波で流されたりする。	24 年度生
電気とかテレビがもともとあった場所の下に落ちる。	24 年度生
家や外が揺れたり、とても大きい地震だと物が落ちてくる。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
地震が起きて津波もくる。ナマズがあばれる。	24 年度生
竜巻や津波がきたり、土砂崩れとかです。	24 年度生
棚から物が落ちてきたり、家具が倒れたりする。	24 年度生
地震が終わった時少し落ちてたりする。	24 年度生
地面が割れてはじけて揺れる。どんどん揺れが強くなる。地震雲が出てくる。	24 年度生
地面の下のプレートがくみあわさが悪くなると地震が起きる。	23 年度生
地面と地面がぶつかって跳ね返るから地震が起こる。絵を記載。	23 年度生
マントルがこの図になっているとき、下のマントルが移動して上のマントルが元に戻ろうとする力で地震が起きる。	23 年度生
何かの生物が地中からあばれて地震が起こる。	23 年度生
海にパネルがついていて、それがずれて地震が起こると思います。(たぶん?)	23 年度生
左が動くと左が戻る。その衝撃で地震が起こる。絵を記載。	23 年度生
判読不明。	23 年度生
4つのプレートがあって海のプレートが陸のプレートの下に入り込んで、陸のプレートが耐え切れなくなって跳ね返って地震が起きる。絵を記載。	23 年度生
絵を記載。	23 年度生
どんどんプレートがまがってまがりすぎてプレートが耐えられなくなって、戻ってその衝撃で地震が起きる。	23 年度生

地震の時に起こること	学年
プレートとマグニチュードがぶつかって地震が起きる。ぶつかった所から近い所が激しく揺れる。	23 年度生
プレートと呼ばれる海底にあるプレートが別なプレートの部分にめりこんで、プレートが元に戻ると地震が起こる。	23 年度生
プレートが地上を押し、地上が跳ね返る力で地震（振動）が起きる。絵を記載。	23 年度生
絵を記載。	23 年度生
どんどんプレートがまがっていく。プレートが元の形に戻ろうとする力で地震が起きる。絵を記載。	23 年度生
4つのプレートが動いていて、重なり合っていて、ゴムのように元に戻ろうとする力で起こる。	23 年度生
絵を記載。	23 年度生
地震は深海のプレートが盛り上がってきて地震や津波が起きる。	23 年度生
地面と地面が有り一つの地面が下に下がって、もう一つの地面が下がった地面に戻そうとするから。	23 年度生
地球がくしゃみをするから。	23 年度生
絵を記載。	22 年度生
絵を記載。	22 年度生
地形のプレートが動きあって、押されたプレートがもとに戻ろうとして戻った時の振動で地震が起こる。	22 年度生
絵を記載。	22 年度生
海の中で底がずれて、そして地震が起きる。（こんな感じになって！！ずれた！）絵を記載。	22 年度生
地震が起きた後物や道具などがいっぱい落ちてきます。	22 年度生
海底プレートがずれると地震がおきる。	22 年度生
絵を記載。	22 年度生
日本が一番地震の起きやすい国で、プレートとプレートが重なると起こる。	22 年度生
絵を記載。	22 年度生
プレートがぶつかって起きる。	22 年度生
プレートが外れて地震が起きる。	22 年度生
何かと何か土の中でぶつかって起こってる。	22 年度生
絵を記載	22 年度生
フレームか何か下がって戻ろうとするのが地震だと思う	22 年度生
地震は、プレートがはね返されて、起きる。	22 年度生
絵を記載	22 年度生
1つのプレートが動きもう一つのプレートが少しずつずれて耐えられなくなり元の位置に戻った時に地震が起こる。	22 年度生
絵を記載	22 年度生
プレートがずれて地震が起きる、だと思う。	22 年度生
絵を記載。	22 年度生
家に帰れなくなる。	22 年度生

地震の時に起こること	学年
海と海の境目が水とかの影響で地面に伝わって揺れる。	22年度生
絵を記載。	22年度生
地面の中のプレートが、ずれて地震が起こる。	22年度生
地面がぶつかり合って、揺れが起きる。	22年度生
海と海がぶつかって振動が起こる。	22年度生
山と山みたいなものがぶつかってその振動でなる。	22年度生
地面の下にあるプレートというものがずっと重なり合って、それが戻った時に地震が起きる。	22年度生
地面の中で何かと何かがかくつくことで揺れる。	22年度生
地面のプレートが動いて、振動が起きて揺れるから。	22年度生
プレートが揺れて地震が起こる。	22年度生
地震は、プレート同士が動いてその限界までいって揺れるのをいう。	22年度生
太平洋プレートなどのプレートが揺れて起こる。特に日本はプレートがいっぱい重なっているから地震が多い。	22年度生
絵を記載。	22年度生
絵を記載。	22年度生
絵を記載。	22年度生
3/11に大きな地震の時に地盤が緩んで地震が起こりやすくなった。	22年度生
4つのプレートがずれて地震が起き戻ろうとする力で余震が起こる。	22年度生
絵を記載。	22年度生
絵を記載。	22年度生
地球のプレートとプレートがぶつかり振動が起きる。	22年度生
地震の時、お母さんのプレートが少し壊れていた。	22年度生
絵を記載。	22年度生
プレートとプレートがずれて起こる揺れのこと。	22年度生
絵を記載。	22年度生
絵を記載。	22年度生
下のプレート同士が重なり合って振動が出来て地震が起きる。重なって段差が出来る。絵を記載。	22年度生
地面に4つのプレートというのがあって、それがちょっとずつ動いていて2つのうち動いてない方が内側にひっぱられて、そのひっぱられたプレートが上に戻ろうとするときに振動が起きると思う。	22年度生
土の下にあるプレートが動きその振動が地上に届き地震になる。絵を記載	22年度生
地盤と地盤が当たってその衝撃ではね返って地震が起きる。	22年度生
ぶつかって地震が起こる。絵を記載。	22年度生
プレートが戻った振動で地震が起きる。絵を記載。	22年度生
プレートがぶつかりあって津波や地震が起こる。	22年度生
マントルが違うマントルを地面におしつけて、地面におしつけられたマントルが折られた下敷きに戻ってくるみたいに、マントルが戻ってきた揺れが地震。	22年度生

地震の時に起こること	学年
海沿いの下のコンクリートと別のコンクリートが動いてずれて、その動きが地震になる。その動きが激しかったら津波にもなる。	21 年度生
プレートとプレートがずれあって片方がもとに戻ってくことで地震	21 年度生
海の深くにあるプレートがもう 1 つのプレートに入って、それを戻そうとして地震が起きる。	21 年度生
プレートとプレートがのめりこんで、プレートが戻るときに起こる衝撃が地震。	21 年度生
地震が起きるのは海の底で振動が起きて、その反動で起きる。	21 年度生
地球の異常によって 6 つのプレートが動き、その振動で地震がおこる。(1 年に数 km)	21 年度生
プレートとプレートが沈みこんではねかえった振動で地震がおこる。	21 年度生
プレートとプレートが押しあって、その衝撃でおこる。	21 年度生
プレートとプレートがかさなり合う。絵を記載。	21 年度生
プレートとプレートがかさなり合うと地震が起きる。	21 年度生
ぐらぐらする。	21 年度生
こわいね。とかそういうことはしていけない。ということをお家の人と話している。	21 年度生
プレートがずれるから。	21 年度生
プレートが逆のプレートより中に入りたくて、それがぐってずれると地震がおきる。	21 年度生
重なりあっているプレートがずれる事によって地震がおこる。	21 年度生
プレートが沈みこんでいてそれがずれたり、割れたりすると地震が発生する。	21 年度生
地中に入っているプレートという物が押し合って、一つのプレートが下にどんどん下がって行きその戻る衝撃で地震が起きる。	21 年度生
地面のプレート(重なっている)がずれ、プレートが戻った時におこる振動が地震。そのため、プレートが大はばにずれた時は大きい地震になる。	21 年度生
プレートが年々少しずつ動き、陸のプレートが耐えきれずはね上がる。(プレート型地震) 地震で地面がずれた所が下にまたずれる。(内陸型地震) 火山による活動で地面がゆれる。(火山型地震)	21 年度生
プレートが少しずつずれていき、もう一つのプレートがもとに戻ろうとして、その勢いで地震がおこる。	21 年度生
クレーターがはずれて地震が起こる。	21 年度生
海の下にあるプレートがずれて、その反動で地震がおこると思う。なので、プレートのずれが大きくなればなるほど反動が大きくなり地震が大きくなる。	21 年度生
地面の中にあるプレートがぶつかると地震が起こる。	21 年度生
地震は深海にあるプレートみたいな物が動いて、地面がゆれて地震になる。	21 年度生
地震のときは机の下に隠れると言っている。	21 年度生
プレートが下がって、それが戻るはずみで地震がおこる。絵を記載。	21 年度生
地面の下に 4 つのプレートがあり、それがずれることにより地震がおこる。	21 年度生
プレートが戻ろうとする働き地震がおきる。絵を記載。	21 年度生
地面の下にプレートがあり、そのプレートがずれると地震がおきる。	21 年度生
タイルがずれたりすると地震がおきる。	21 年度生

地震の時に起こること	学年
プレートには沢山ありますが、プレートが内側にずれることで陸と海に地震や津波をおこす。絵を記載。	21 年度生
プレートがプレートに入りこんで、入りこまれたプレートが上の方に戻ると地震がおきる。	21 年度生
地震は海にあるプレートとプレートがずれることで地震がおこる。	21 年度生
地面がずれるとおこる！絵を記載。	21 年度生
下の図の A プレートが下に引きこんで、それを嫌がるプレート B が逆らって振動ができるこれが地震。絵を記載。	21 年度生
プレートが下にあり、二つのプレートがぶつかり合いどっちかが押し負けるとプレートが沈んでいき、その反動でマグニチュードのはじきようで震度がわかる。	21 年度生
プレートというものが下にさがり、そのプレートが勢いよく上に上がるほど地震が強くなる。絵を記載。	21 年度生
プレートが下に入りこんで、となりのプレートが耐えきれずにプレートが上にあがって地震がおきる。	21 年度生
プレートのずれによって地震がおこる。	21 年度生
プレートとプレートがずり合っていて、ある日突然はね返る。絵を記載。	21 年度生
絵を記載。	21 年度生
図で書くと、こんな感じで片方がもう片方を押して元通りにしようとする力が働いて戻ると地震が起きる。絵を記載。	21 年度生
地球の底の部分が緩んで動く時に地震が起こる。(?)	21 年度生
自然が起していること。	21 年度生
プレート同士がぶつかり合い、いけない位までいくと上にはね上がる衝撃。	21 年度生
海の中のプレートが押し合って限界になると、それが元に戻ろうとした力で地震が起きる。地震の発生。絵を記載。	21 年度生
プレートが関係してる。はね返る。絵を記載。	21 年度生
地面のプレートが重なり合って、それが下の図のようになる。プレート。プレート。絵を記載。	21 年度生
地面や海の下にあるプレートがもう一つのプレートにくい込み、そして戻る時に急激に動いたりすると地震が起きる。絵を記載。	21 年度生
絵を記載。戻った衝撃で揺れて地震が起こる。	21 年度生
プレートが進み、元に戻る時に地震が起きる。絵を記載。	21 年度生
日本にあるプレートが別のプレートが押し込んで限界になったら、上に跳ねて地震が起こる。	20 年度生
プレート同士がぶつかって起きる。	20 年度生
地球の下のプレートがだんだんずれていき、その反動が地震。絵を記載。	20 年度生
プレートとプレートがぶつかって引きずり込まれ、戻ろうとする力が掛かった時に起こる。	20 年度生
プレート同士がぶつかり合っていて、戻ろうとする時に地震が起きる。	20 年度生
プレート同士がぶつかり出来るずれの時。プレートの中にプレートがめり込み、プレートが耐えられなくなった時。	20 年度生
プレートとプレートがぶつかって出来る。	20 年度生

地震の時に起こること	学年
4つのプレートがずれて、戻った時の振動で起きる。これが戻ると地震になる。絵を記載。	20年度生
プレートがぶつかり合って跳ね返り地震が起きる。	20年度生
陸のプレート同士が引きずり合い、どちらかのプレートが跳ねて地震が起こる。絵を記載。	20年度生
海底の下にはプレートというものがあり、プレートが違うプレートを引張って、引っ張られたプレートが戻る力が地上に伝わって起こるのが地震。	20年度生
プレートがずれてぶつかり合うから地震が起きる。	20年度生
プレートが動いて、跳ね上がると地震が起こる。絵を記載。	20年度生
プレートが押されて跳ね返る。	20年度生
プレート同士がぶつかり合い戻った反動で地震が出来る。	20年度生
プレートが別のプレートがそのプレートを地球の中に引きずり込みます。それが戻る時の振動が地震。	20年度生
地面の下にあるプレートが一方のプレートの下にひきずり込まれて、それが限界となって戻った時の振動が地震となることがある。	20年度生
プレートとプレートがぶつかって起こる。	20年度生
プレート同士がぶつかり合い耐えられなくなり、片方が元の姿(?)に戻ると起きる。	20年度生
海底にあるプレートが地面とぶつかり合って、その振動で起こる。	20年度生
地盤が引き込まれて、戻る衝撃で起きる。	20年度生
下がったプレートが戻ろうとした時の振動で地上に揺れが起こる。	20年度生
プレートの反動で地震が起きる。	20年度生
海の下にある地面(プレート)がずれて地上に響き地震が起きる。	20年度生
地震は、地面の中のプレートが地球内部のマントルによって働き、陸の上にあるプレートに食い込み、陸プレートの反動によって起こる。	20年度生
プレートが引っ張られて、そのプレートが戻る反動で地震が起こる。	20年度生
マグマの動きでプレートが動き、海側のプレートが陸側のプレートの下に潜り込んで、陸側のプレートに力がかかって跳ね上がった時に地震が起こる。	20年度生
地下にあるプレートがぶつかり合い元に戻ろうとする力が強くなった時に、プレートが上に上がり強い揺れが起きて地震になる。	20年度生
地面の下でプレートともう1つのプレートが下に入って行って、それが跳ね返されて地震が起こる。	20年度生
プレートとプレートがぶつかって元に戻る時、揺れが大陸にくる。	20年度生
地下のプレートがぶつかり合って引っ張られたプレートがバネのように跳ね上がり、それが地上に上がってきて地震が起こる。	20年度生
プレートが食い込んで跳ね返る力が地震の揺れ。	20年度生
海の下にあるプレートが下に行ってプレートが戻ろうとすると地震が起こる。絵を記載。	20年度生
海のプレート同士がぶつかった時に地震が起きる。	20年度生
プレートとプレートがぶつかり合って地震が起きる。	20年度生
プレートとプレートがずれて地震が起きる。... ?!	20年度生
プレートがこすり合って跳ね返ってくる時の振動が地震。絵を記載。	20年度生

地震の時に起こること	学年
プレート同士がぶつかると、地震が起こる。	20 年度生
プレート同士が引き込まれて行き一方のプレートが元の位置に戻る時に、陸の中の固くなった土が割れて地面が大きく揺れる。それが地震。	20 年度生
プレートが反対方向に引っ張られていて、そのプレートの限界がきた時にプレートが元に戻る時の震動で地震が起こる。	20 年度生
プレートの中にプレートが入り込んで跳ね上がった、その振動が地震である。	20 年度生
プレートとプレートがぶつかり合い、プレートに戻るのが地震。	20 年度生
プレート同士がぶつかって片側が下に押し込まれていて、その力に耐えられなくて戻ろうとした時に、その振動で地震が起こる。絵を記載。	20 年度生
プレート同士がぶつかり合って起きる。	20 年度生
図 1 プレートが引っ張られていてそのプレートが図 2 上にあがるその力で地面が揺れて地震が起こる。絵を記載。	20 年度生
陸のプレートとプレートがぶつかって起こる。	20 年度生
絵を記載。	20 年度生
プレートとプレートが重なり合って戻った時に地震が起きる。絵を記載。	20 年度生
地面の下にあるプレートの片方がずれるともう片方のプレートが元に戻そうとして、戻す時の振動が地震。絵を記載。	20 年度生
溶岩の働きでプレートとプレートがぶつかり合い、戻ろうとする力で地震となる。	20 年度生
太平洋プレートと陸のプレートがぶつかり、陸のプレートが下に引きずられていって陸のプレートが元に戻ろうとして太平洋プレートにぶつかるから。	20 年度生
海底のプレートがずれる事によって陸が動き、地震が発生する。	20 年度生
海のプレートと陸のプレートがけずり合うと出来る。	20 年度生
プレートとプレートが跳ね返って地震が起きる。	20 年度生
海のプレートが陸のプレートの下に潜り込むことによって陸のプレートが引きずり込まれる。陸のプレートがそれに耐え切れなくなって、元に戻る時の衝撃で地震が起こる。	20 年度生
プレートがずれて起こる。	20 年度生
プレートとプレートの間に大きな力が加わり、地層がずれて起こる。	20 年度生
プレートとプレートがぶつかり合い、片方のプレートが元に戻る時に起こる。	20 年度生
海（太平洋）プレートが押される。戻ろうとして跳ね上がる。（？）絵を記載。	20 年度生
地震はプレートとプレートがこうなり地震が起きる。絵を記載。	20 年度生
プレートとプレートが重なり合って、いつかは耐えられなくなってはじけて地震が出来る。	20 年度生
地下にあるプレートがめり込んでいて、それが跳ね返ったことによって揺れになり地震になる。	20 年度生
海（？）の下にあるプレート同士がぶつかり合う衝動で地震が起こる。絵を記載。	20 年度生
地球の中のプレートがずれて地表に伝わることで起こる。	20 年度生
反発して地震が起こる。絵を記載。	20 年度生
引きずられる。はじかれて地震が起こる。絵を記載。	20 年度生
絵を記載。	20 年度生
プレートがずれてプレート同士が跳ねて地震が起きる。	20 年度生

地震の時に起こること	学年
プレートが動いて違うプレートを下に引きずりこもうとして違うプレートが耐えきれなくなり、いっきに動いて出来る。	20 年度生
プレートが跳ね上がることから。絵を記載。	20 年度生
プレートが引き合い（押し合い）、その反動で揺れる的な？絵を記載。	20 年度生
地下のプレートがずれた際に戻ろうとするから。	20 年度生
絵を記載。	20 年度生
プレート同士が下について戻る時に起こる振動が地震。	20 年度生
海の地盤がずれて徐々に大陸に来て地震が起こる。	20 年度生
大陸のプレートが跳ね返ることにより、大陸のプレートの上の国や地域が揺れて地震となる。	20 年度生
プレートが引っ張り合い、また元に戻ると地震が起こる。	20 年度生
海のプレートがどんどん内側に入ってきて、陸のプレートが内側にどんどん引き込まれて戻ろうとする反動で地震が起こる。	20 年度生
プレートとプレートがぶつかり合って地震が起きる。	20 年度生
プレートとプレート同士がぶつかり合い、片方が下にめり込み？戻ろうとする力で跳ね上がったプレートの反動で起こる？。	20 年度生
プレートがずれて、元に戻ろうとした時の振動が地震です。	20 年度生
地震にはP波、S波がありS波がありS波が大きな地震になる。地震は、プレートとプレートのつなぎ目で引きずり込まれるプレートが元に戻る時に起こるものが地震。	20 年度生
日本の周りには4つのプレートがあって、プレート同士が図①になってプレート1が押さえきれずに跳ね上がる。図①絵を記載。	20 年度生
プレートがずれ、戻ろうとした時に起きる現象。	20 年度生
プレート同士がぶつかって入り込んで、それが戻る振動が地震。	20 年度生
地球にはプレートがあって、そのプレートが下へ引っ張って、限界まできて跳ね返る。跳ね返った振動で、揺れが起こる。絵を記載。	20 年度生
地盤同士がぶつかって起きる。	20 年度生
地中にあるプレートというのが押され戻る時に起こる。	20 年度生
プレートが下がって行ってそれが戻ると地震が起こる。	20 年度生
ガラスが割れる。	特別支援
皿が割れる。	特別支援
部屋の中がバラバラになる。	特別支援
建物が崩れる。	特別支援
プレートが盛り上がって地震が起こる。	特別支援
家中がごちゃごちゃになる。	特別支援

## ②台風の時に起こること

台風の時に起こること	学年
台風が怖い。	25 年度生
家やマンションが飛んで逃げる。	25 年度生
津波や台風が起こる。	25 年度生
風が強くなって、台風が出る。飛ばされる！！	25 年度生
竜巻が来る。人が飛ばされる。雷が鳴る。	25 年度生
家が壊れる。波が強くなる。	25 年度生
おうちのドアが壊れる。	25 年度生
荷物がなくなる。	25 年度生
津波が来る。	25 年度生
雷が落ちてきて大変。	25 年度生
家が壊れる。	25 年度生
雷が鳴ったり、物が飛ばされる。	25 年度生
家が飛ばされたり、ガラスが壊れる時がある。	25 年度生
風がすごく強い。いろんな物が飛ばされる。	25 年度生
台風が起きるのが怖い。	25 年度生
屋根とかが飛ばされそうになったり、人が飛ばされそうになる。	25 年度生
びゅうびゅうとなる。	25 年度生
家が壊れる。	25 年度生
木や、傘が壊れること。	25 年度生
強い風が吹く。	25 年度生
自転車が倒れる。	25 年度生
おうちの屋根が飛ばされたりする。	25 年度生
家が壊れたり木が倒れたりする。	25 年度生
いろんなガラスや家の屋根が壊れる。	25 年度生
強い台風だとおうちが流されたりします。	25 年度生
木が折れる。	25 年度生
いろんな物が飛ばされる。	25 年度生
台風の時は、なんかいろんな物が飛んできたりする。	25 年度生
いろいろな物がすいとられるような感じ。	25 年度生
雨は降って風は強いし川は濁流だし。	25 年度生
風で、ガラスなどが飛んでくる。	25 年度生
台風が起きる。	25 年度生
渦巻きが起きる。	25 年度生
物が倒れたり、壊れる。	25 年度生
物が飛ばされる。	25 年度生
風。	25 年度生
木が倒れる。土砂崩れが起きる。	25 年度生

台風の時に起こること	学年
暴風が起きる。	25 年度生
おうちとかが飛ばされる。	25 年度生
なむくなる。	25 年度生
おうちが飛ばされる。	25 年度生
屋根が壊れる。	25 年度生
傘が飛ばされる。物が飛ぶ。	25 年度生
家が壊れる。	25 年度生
自分が飛ばされちゃう。	25 年度生
風が来て車と物を飛ばす。	25 年度生
台風が起きた時はおうちで身を守る。	25 年度生
おうちが飛ばされたりした。	25 年度生
いっぱい風が来る。	25 年度生
風で木が倒れたりする。	25 年度生
木とかが倒れる。	25 年度生
街がむちゃくちゃになる。	25 年度生
電気が揺れる。	25 年度生
台風の時建物が飛んでゆく。	25 年度生
風にいろいろな物が飛ばされる。	25 年度生
がれきが残っている。台風の痕が残っている。	25 年度生
傘とかが壊れる。	25 年度生
台風が起きたら家とかが飛んでいく。	25 年度生
台風が起きた後、屋根やおうちがめちゃくちゃになる。	25 年度生
物が飛ばされる。	25 年度生
風で物が飛ばされる。	25 年度生
風が強くなって、洗濯物やいろんな物が飛ばされる。	25 年度生
津波が来る。	25 年度生
風がものすごく強い。	25 年度生
家が壊されて飛ばされる。	25 年度生
家が倒れる。	25 年度生
木とかが飛んでいく。	25 年度生
物が飛んでくる。	25 年度生
物とかいろいろ飛ぶ。	25 年度生
竜巻。	25 年度生
おうちが壊れる。	25 年度生
人が逃げる。	25 年度生
家や車を飛ばす。	25 年度生
家が壊れる。	25 年度生
風がすごい強い。	25 年度生
家が飛ぶ。	25 年度生

台風の時にかかること	学年
大雨が降る。竜巻が出る。	25 年度生
いろんな物が飛ぶ。	25 年度生
風が強い。	25 年度生
家が倒れる。	25 年度生
窓が割れる。屋根が飛んでいく。	24 年度生
台風が来るとほとんどの家が飛ばされる。	24 年度生
おうちにいて台風が起きたら屋根とかが壊れる。	24 年度生
みんなが避難して、大変そうだった。	24 年度生
台風が来ると、家が飛ばされる。	24 年度生
人の家が飛ばされる。	24 年度生
家が壊れる。	24 年度生
家が飛んでいたり家の屋根が風で飛ぶ。木が崩れる。電線が切れる。	24 年度生
竜巻みたいな強い風がきてガラスや屋根が飛ばされる。	24 年度生
ドアががたがた揺れる。	24 年度生
家が倒れてぐちぐちになる。	24 年度生
窓ガラスが飛んだりする。	24 年度生
いろいろな物が飛ばされる。風が強くて枝が折れる。	24 年度生
窓が割れたりする。	24 年度生
家が飛ばされる。	24 年度生
家が吹き飛ばされる。たまには雨が混じる。	24 年度生
葉っぱがいっぱいちらばる。	24 年度生
風が強い。	24 年度生
物が飛ばされる。	24 年度生
家が飛ばされる。家の屋根が飛ばされる。	24 年度生
風に飛ばされる。家の屋根が飛ばされる。	24 年度生
家の屋根とかが飛ばされる。	24 年度生
色々な物が壊れる。風で飛ばされたりする。	24 年度生
何もかも飛ばされる。大事な物も飛ばされる。	24 年度生
強い風が吹く。とても強いと屋根などがとれたり、木が倒れたりする。	24 年度生
風がぐるぐる回っている。	24 年度生
屋根が落ちる。家が飛ばされる。	24 年度生
台風が起きると大雨やすごい風があつてすごく怖いです。	24 年度生
竜巻が起きる。	24 年度生
家が飛ばされたり自分が飛ばされそうになったりする。	24 年度生
竜巻になる可能性がある。外の物が倒れたりする。	24 年度生
台風が起きたら車が飛ばされたり、木が折れて飛んでいたりする。	24 年度生
台風が来たら全部外にある物が倒れる。	24 年度生
台風の後おうちが流されたりする。	24 年度生
家が壊れたり、風が強く吹いたりする。	24 年度生

台風の時に起こること	学年
物が違う所に飛ばされる。	24 年度生
風がびゅんびゅん吹いていて、外に出たら飛ばされそうになるくらい風が強い。だから外に出ないほうがよい。	24 年度生
木が倒れる。電気が止まる。	24 年度生
物が飛ばされる。ものすごい雨が降る。	24 年度生
大雨が降る。風が強まる。傘が壊れる。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
強風で家が壊れる。	24 年度生
風が強い。	24 年度生
家の屋根が飛ばされる。絵を記載。	24 年度生
家が吹き飛ばされる。木が折れる。	24 年度生
家が空を飛ぶ。瓦が落ちてくる。	24 年度生
家が半分になる。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
けが人が出るかもしれない。電車などが止まる。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
吹雪がすごく強い。すごくすごく寒い。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
川とかがあふれて危ない。歩道橋に乗ってる時が危ない。	24 年度生
家がのみこまれたりされ、人のみこまれたりする。	24 年度生
家が壊れたり、物が飛ばされたりする。	24 年度生
雷が降る。	24 年度生
家が飛ばされる。	24 年度生
家が飛ばされる。	24 年度生
台風が終わったら風が強くなる。	24 年度生
台風が起きると洪水になったり木が倒れたりする。	24 年度生
台風が終わると竜巻が起こったりする。	24 年度生
台風が起きる後家や家の中などバラバラになります。	24 年度生
強い風が起きて木とかが少し飛ばされそうになる。	24 年度生
少しとばされそうになる。	24 年度生
家の屋根が飛ばされる。	24 年度生
絵を記載。	24 年度生
風で木と川の水があふれて車も水に吸い込まれる。	24 年度生
まず弱い風が起きて、中くらいの風が吹いて、強い風が起きる。そしてもっと強い風が起きる。	24 年度生
風で木が飛んだり川の水の量がいっぱいになり、風で自転車が崩れたりする。土砂崩れも起きる。	24 年度生

台風の時に起こること	学年
家が壊れたり、車が倒れたりします。台風は風と風がぶつかって起きる現象です。	24 年度生
色んなものが倒れたり吹き飛ばされる。	24 年度生
物が飛ばされる。	24 年度生
傘が飛ばされるような感じになる。	24 年度生
台風がきたときは外に置いていた物が飛ばされたり、台風がひどい時は人も飛ばされることもある。	24 年度生
スーパーセルが最終的にはトルネードになる事があります。海だと大波船を壊してしまうほど恐いものです。	24 年度生
台風がきたときに風がふいたり津波になる可能性がある。家が飛ばされる時もあります。	24 年度生
風が吹くと外には出ていけないよ。台風はどうして危険なのは風に飛ばされるから。	24 年度生
強い風がきて屋根が飛ばされる。	24 年度生
台風がきたときは家が飛ばされたり木が飛んだりする時があります。	24 年度生
すごい風がきて家などが飛ばされる。	24 年度生
お家が壊れる。	24 年度生
すごい風がくる。	24 年度生
ガラスや危ない物が落ちている。	24 年度生
大雨が降ったり強い風が吹く。	24 年度生
傘や物が飛ばされる。ざあざあ雨が降る。	24 年度生
海水面の温度が上昇して台風が起きる。（と思う）	23 年度生
低気圧と高気圧がぶつかってできる。	23 年度生
温暖化で環境が悪くなると起こる台風。	23 年度生
低気圧と高気圧がぶつかって、その衝撃で台風が起きる。	23 年度生
高気圧と低気圧がぶつかるから台風ができる。	23 年度生
確か温かい風と冷たい空気がぶつかるとう台風が起これと思う。	23 年度生
あたたかい風とつめたい風がぶつかってできる。絵を記載。	23 年度生
海に光が当たって雲が出来て台風になる。	23 年度生
温かい所にできて上に上がっていくから。	23 年度生
温かい空気と冷たい空気がぶつかり合って、混ざって起こる。	22 年度生
発達した低気圧で起こる。	22 年度生
上空があたたかくて下の方が寒いと（反対の時もある）そうすると起きる。	22 年度生
台風が起きる後家や家の中などバラバラになります。	22 年度生
温かい風と冷たい風が混じりあうと発生する。	22 年度生
低気圧と高気圧が合わさって台風が作られます。	22 年度生
竜巻の食べ物、温かい空気。	22 年度生
「熱帯低気圧」が『発達』して起こる。低→大。	22 年度生
雷が降る。	22 年度生
絵を記載。	22 年度生
絵を記載。	22 年度生
岩と岩の間に風が入り、その中で風がぶつかりあって台風が生まれる。	22 年度生

台風の時に起こること	学年
外国の方で高気圧低気圧が混じり合う。	22年度生
温かい空気と冷たい空気が混じり合って渦状になることをいう。	22年度生
冷たい空気と温かい空気がぶつかり合っている。	22年度生
絵を記載。	22年度生
低気圧が変化して台風になり通り過ぎると低気圧に戻る。	22年度生
絵を記載。	22年度生
あたたかい空気と冷たい空気がぶつかりあって台風になる（竜巻の理由とまちがっているかもしれない）。	22年度生
低気圧が大きい雲にかわって台風が起きる。	22年度生
低気圧と高気圧がまざる。	21年度生
物が飛んでくる。	21年度生
高気圧と低気圧がぶつかって台風が起こる。	21年度生
少しでかい雲が周りの雲をまきこんで台風の雲ができる。	21年度生
海水の水が蒸発し、雲となりできる。	21年度生
低気圧が一定に集まり渦みたいな雲ができ風が強いところ。	21年度生
強い雨、風により風のうずができてそれが大きくなって台風になる。	21年度生
低気圧により海から水分が上に上がり、それで雲ができその威力が上がると台風になる。	21年度生
海の水が蒸発して雲ができ台風になる。	21年度生
海水の温度が上昇して上昇気流ができるから。そして雲ができるから。	21年度生
海面温度が高いときによくおこる。また季節風でも・・・。	21年度生
なにかとなにかがぶつかってできる？	21年度生
低気圧と高気圧がぶつかってできる。絵を記載。	21年度生
「暑」と「冷」がぶつかって台風ができる。※絵を記載。	21年度生
高気圧と低気圧がぶつかり合うと起こる。	21年度生
南の海で低気圧が成長したもの。	21年度生
北の冷たい風と南の暖かい風が北と南の中心でぶつかって起こる。（?）	21年度生
南の海上で出来る。そして国を襲う。絵を記載。	21年度生
海の上に水蒸気のみたまりが出来ることから起こる。	20年度生
荷物がなくなる。	20年度生
蒸発気流？	20年度生
海上で水蒸気になった物は雲。雲が合体を繰り返してやがて大きくなり台風へとなる。	20年度生
赤道の近くで蒸発した威力を持った水蒸気が、低気圧に変わることがあるから。	20年度生
南の海上で起こった、積乱雲が日本に発達してやって来た物。	20年度生
南の方の海上で水蒸気が集まって台風になる。	20年度生
暖かい海の上で巻き起こって出来た雲の中心から、「グルグル」とうずを巻いて起こる。それが台風。	20年度生
南の海上で、海水が巻き上げてつくれ、日本などに近づく。	20年度生
南の海上で水蒸気のみたまりで出来たもの。	20年度生
海の力で起こる。だから、陸に来ると弱まる。	20年度生

台風の際に起こること	学年
赤道に近い海上で風が強くなり台風が発生する。	20 年度生
海の蒸発した水が回転しながら合わさることによって起こる。	20 年度生
日本の南東海上で上昇気流が起き、熱帯低気圧が発達して起きる。	20 年度生
海などで温度が上がると台風が起きる。絵を記載。	20 年度生
海の上に来る雲（？）がどんどん集まって台風が起こる。絵を記載。	20 年度生
海の上の水蒸気が集まって台風になる。	20 年度生
南の海で出来た大きな雨雲が、周りの雲を集めて大きくなったもの。	20 年度生
空の上の暖かい蒸気と海の冷めたい蒸気がぶつかって台風が起きる。	20 年度生
海の上で起こりやすく空に暖かい空気があることにより、海からの湿気が台風となる？	20 年度生
※判読不能	特別支援
すごい風。	特別支援
風で物が飛ばされる。	特別支援
屋根が飛ばされる。	特別支援

## (2)保護者

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと	学年
津波がきた時どうすればいいのか、低学年の子供にわかるように避難場所等を教えてもらいたい。	25 年度生
七郷小は防災頭巾を準備せず赤白帽で対応しているようですが、それでは頭を守れないと思うので、ぜひ検討していただきたいと思います。あれだけの震災があったのですから・・・。	25 年度生
集団登下校時に危ない所を教えたり、子供 110 番の家を教えたりするのも良いのではと思います。	25 年度生
まだ1年目なので、自分で判断したり行動するところがまだ難しいかと思います。家庭でも時々クイズ形式で”こんなときどうするか”を話し合い確認しています。学校の先生にだけたよるのではなく、家庭でできることをしっかり伝えやって行こうと思います。	25 年度生
低学年の子にも分かるように、「それが大切（命を守る）」という事を教えてほしい。家庭でも同じ事を教えられるように、マニュアルやプリントでもいいので配ってほしい。学校と家庭で違うことを教えてしまうと混乱すると思うので。	25 年度生
設問とは違う話で申し訳ないのですが・・・、防災安全の授業は大切だと思います。しかし、文科省の指定を受けた為仕方ないのはわかりますが、週1回も必要なのか疑問です。	25 年度生
学校にいる時間帯に災害がおきたらどうすればいいのか、常に訓練は必要と感じております。学校以外で起きた時どうするか、家以外でしたら避難所である学校と決めたいところですが、近くの蒲町小学校が理想であります。通学校ではない学校に子供は行けませんよね。家庭、地域が連携して行うには、学区について大きな問題であると感じます。	25 年度生
避難訓練などももう少ししてもいいと思う。	25 年度生
特にありません。	25 年度生
職員同士の災害時の役割分担などを決めているのであれば、その情報を発信してください。保護者でも、先生を目印にお手伝いに入れることが可能になるかもしれないので。	25 年度生
引き渡し訓練をもっと頻繁に行なって欲しい。津波警報が出たら子供を受け取った後家には戻らないつもりですが、学校にいてもいいのか、どこに行けばいいのか決まっているといいと思います。※ところで・・・七郷小は防災ずきんは用意しないのでしょうか？	25 年度生
学年（年齢）により出来ることがかなり違うと思います。1年生は1年生なりにどのように危険から身を守ればいいのかを詳しく教えてもらえたらと思います。調査2の子供たちの様子についての項目の内容を、すべて自宅（個人）でやる（考える）のは難しいかと思いますので、子供たちで話し合ったり授業が体験できる時間になればいいかと思います。	25 年度生
個人ではわからない情報等の連絡をお願いします。	25 年度生
できれば子供 110 番の家が通学路のどこにあるのか、具体的に印刷して渡してもらいたいです。	25 年度生
色々なコミュニティの中間地点として、小学生の子供や孫等がいない老人世帯でも気軽に足を運べるような場所があっていただきたいと思っています。	25 年度生
まずは人に頼らずに、その場に応じた・・・自分の命を守ることの大切さを学校でも指導して頂けると助かります。大震災を風化させぬよう、防災安全科の指導内容などをプリントで配布して頂く事で、家庭でも防災について子どもとコミュニケーションが図れるのかなと思います。	25 年度生

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと	学年
地震の時は東部道路より海側に住んでいる子どもたちを家に帰さない。帰ってる途中なら学校へ引かえすなど家でも教えているが、学校でも指導してほしいと思いました。地震以外の防災についてはまったく知らないと思うので、それも地域ごとに合った決まりがあるといいと思いました。	25 年度生
着衣水泳。	25 年度生
特にありません。	25 年度生
3.11 の七郷小学校での体験、活動等を教えてもらいたい。ネットで当時の校長先生の話聞いて初めて知った事が多く、もっと多くの人に聞くチャンスがあればと思う。	25 年度生
最近竜巻が多くなり、専門科の話によると「これからの日本はもっともっと増えるでしょう・・・」。その時思った事が、窓ガラスがない所はないな？と思いました。竜巻の時はどうなるんだろう？と思っていました。対策があれば良いと思います。	25 年度生
低学年の子供達へ、下校中の避難の仕方を具体的に指導して頂くような訓練があれば良いと思います。（先生方や家庭でもすでに話はしているかと思いますが、1人で下校している時に地震がきたら、ちゃんと避難できる子供がどれだけいるか？と気になります）	25 年度生
特になし。	25 年度生
特にありません。	25 年度生
学校での水泳授業の中で着衣水泳や身近なものを使って身を守る方法など取り入れて欲しいです。	25 年度生
地震以外にも、資料などを見せてもらって防災についてわかりやすく詳しくしてもらおうと助かります。消防署の人達を呼んでお話を聞かせてもらったりするとうおり一層、防災の意識が高まると思います。	25 年度生
防災の科目が週一で入るということは他の教科が減るということで、学びの面から心配はないのでしょうか。東日本大震災の発生時仙台在住ではなかったのですが、ことさらに「復興プロジェクト」だの「防災」だの強調されても子供はピンときていない。知識があることに越したことはないのですが・・・。公立校でも特色があるのはいいことですが、学力調査等の結果がかんばしくなかった時に、保護者から「防災科のせいで授業が減ったから七郷は学力が低い」と言われないうようにして下さい。	24 年度生
他校では1人に1枚防災ずきんを持って来させ、普段はイスのクッションとして使ってる学校が多い中、七郷小では防災ずきんの必要性をどう考えていますか？せめて用意できる子供だけでも持って来ようになればいいと思いますし、防災の意識も高まると思います。	24 年度生
防災について学校で教えて頂くとともに子供たちのためになると思います。アンケートに答える中で、「軽いけがの手当」や「体をあたためる方法」など教えて頂きたいです。防災安全科を時間割の中に設ける場合、従来の時間割がひとつ削られてしまうのか、プラス1時間になるのかが知りたいです。	24 年度生
引き渡し訓練について。私の子供は未加入なのでいつも迎えに行きます。その都度手際の悪さに不安を感じます。ここには津波が来ない前程での訓練なのか、ダラダラと時間をかけて子供の確認をしているようですが、もっと早く渡さなければ身の危険を感じます。大人が一人一人名前を聞くのではなく子供に名前を言わせ済んだ順に帰さない、スムーズにはいかないと思う。一人一人自分の地区を首からさげるなど、時短の方法は色々あるのでは？	24 年度生

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと	学年
学年、クラス毎だけでなく、全学年縦割りでの活動を増やすと年上の者への憧れや、見まねで協力する事や助け合う事を学べるのではないかと思います。震災時の避難所でも、何を言うわけでもなく子供達は子供達で遊んだり遊んであげたり、トイレにつれて行ったり抱っこしてあげたり助け合っていました。それは年もクラスも関係なく・・・人数の多い学校で大変だとは思いますが、そのような機会を増やしていただければと思います。	24 年度生
小学校にて行われた防災教育を家でも共有しながら話し合っていきたいと思うので、是非、活動内容、指導内容等を詳しく教えて欲しい。	24 年度生
大きな地震などの災害が学校にいる時に起こった時の為の避難訓練や避難場所の確認。近所の人へのあいさつ。	24 年度生
釜石の奇跡ではないですが、小学生であっても自ら考え行動できるようになって欲しいなあと思います。	24 年度生
月に一回位、保護者参加の防災訓練をしてみるのはいかがでしょうか？	24 年度生
これからも防災について教えていただきたいです。予測訓練もお願いします。	24 年度生
災害が発生した後の行動の先。（心構え、自分がやるべき行動、助け合いの精神を養う等）	24 年度生
震災から3年が経ち、予震も減り、防災への意識が薄れています。学校で、この様な取組をするのはとてもよいと思います。	24 年度生
先日受業参観でやっていた、地震の勉強とかはとてもいい受業だと思いました。	24 年度生
小学校で着衣水泳は必要だと思います。	24 年度生
不審者情報が学校からプリントで来るのが遅いと思います。以前にも私の友達が不審者の事を交番に届け（土曜日）、週明けにでもその情報が来るかと思ったら来ませんでした。ママ友達の間での連絡が学校より早い、交番から学校に連絡があるのかすらもわからない状況だと思います。保護者や生徒にも不審者を見たらどのように行動するのか（交番に連絡するのか、学校にも連絡するのか→夕方でも一斉メールとか）基本的なマニュアルができていたら良いかなと思います。	24 年度生
常日頃から、災害時はどうしようか？など、自分で考える機会を増やしてほしいと思います。マニュアルがあり、子供110番の店などもあります。実際災害が起こればマニュアル通りにはならないと思います。その為にも、普段から自分で考え行動出来るような話し合いをしたり、他の子の考えを聞いたりする事がよいのではと思います。	24 年度生
学校プールを利用した着衣泳の授業、身の回りのものを使って浮いたり、誤まって水に落ちた時の対処など、水の事故を未然に防ぐ取り組み。	24 年度生
「防災安全科」の授業を先生と生徒だけで進めていくのではなく、話し合いのときなどにも保護者や地域の方々をサポートとして参加してもらい、色々な角度から防災について考えることができる知恵を子供達に養ってもらいたいです。お手伝いがありましたら、できるかぎり協力していきたいです。「安全科」の創設、楽しみにしています。	24 年度生
消火、通報、避難（1セット）の実訓練を継続実施、幼稚園、中学校と連携クラス毎等にすればやりやすい。その延長で施設、店舗とも。通報（ケータイに頼らない。状況を正確に伝えられるか）避難（小学校だけに特定せず、地域&広域避難場所を複数、実際に歩く。	24 年度生
おまかせしたいと思います。いろいろなことを子供達に教えて頂きたいと思っております。	24 年度生
特にはありませんが、子供達にはケガなどをさせない様に気を付けてほしいと思っています。	24 年度生

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと	学年
特に無し。	24 年度生
自分の身は自分で守る事を教えてほしい。家庭でも話している事ですが、家族の事を心配するのを優先にしまうと命を落とす事もあり得るので、自分の子供達に語り伝えていく事を子供に意識させてほしい。	24 年度生
特にありません。	24 年度生
子供 110 番の家があるのかどうか分かりません。	24 年度生
低学年の子供が災害に逢った場合に、自分一人で生きる為に何をすべきか何を言っておけばいいのか、きちんと覚えていてくれるのだろうかと不安です。高学年になれば理解もきちんとできると思うのですが、臨機応変に対応できる年齢ではないと思うので、学年に相当な行動の仕方など教えて頂けたらと思います。	24 年度生
防災訓練を年に何回か行って下さい。	24 年度生
学校の防災マニュアルを活用し、半年に 1 回～2 回程度地域及び家庭が参加をし、非常時における対応を地域社会全体で考える。	23 年度生
学校での水泳授業の中で、着衣水泳や身近なものを使って身を守る方法など取り入れてほしいです。	23 年度生
隣り、近所の人とコミュニケーション（地震や火災などあった時）をとれるように子供会の防災訓練があっても良いかな？と思う。	23 年度生
「防災安全科」という活動については全く知りませんでした。具体的にはどのような事を行なっているのでしょうか？時間割の中とは。	23 年度生
命の授業の先生をお呼びして欲しいです。震災に関わらず、先生方の人生経験などの中での防災や防犯のお話を教えていただけると、子どもの印象に残るかと思いました。アンケートや取りまとめありがとうございます。	23 年度生
登下校時に災害があったとき、具体的にどうするか。	23 年度生
着衣水泳を是非体験させたい。	23 年度生
通学路における危険場所など、子供達と地域住民が一緒防災マップの作成や一緒に歩いて確認するようなことを行ってみてはどうですか？子供も自分が体験し作成すればいざという時に、活用や思い出し行動することができるのではないかと思います。	23 年度生
こども 110 番の家がどこか、子供の地区ごとに教える（説明など）ことをしてほしいです。	23 年度生
東日本大震災後、津波で更地状態になった今、また大地震が発生した時には、今度は七郷小まで津波が到達する可能性が大きくなると思いますので、その際の訓練、メールが使えない時の保護者への周知（子供達の状況）方法など？	23 年度生
特になし。	23 年度生
災害時下校できなくなったり、避難所として宿泊するときなどのために、児童ロッカーに児童用として水、カロリーメイト、アメを非常食として個人責任で置いてみてはどうかと思う。きんちやく袋に少し入れて置いておくぐらいの軽いもので・・・。頭部安全や保温のために防災ずきんを椅子のざぶとんとして使用したい。使用許可を出してほしい。	23 年度生
特にございません。	22 年度生

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと	学年
毎年マップを出していただいているような気がするので、その活用を家庭でも行いたいと思います。パトロールなどはひきつづきお願いしたいですし、私も協力していきたいと思います。	22年度生
このアンケートで、私達の気持ちも風化してきていたんだと認識しました。日々に追われ防災の会話も少なくなり……。私の話より、学校での話の方が残念ながら頭に入る様なので、よろしくをお願いします。家でも色々会話をしますが……。	22年度生
集団登校下校の訓練時に、地震によって歩道が使用出来ない時の為の練習をすることも必要と感じます。また通常の登校下校時の地震の避難場所の指定や、訓練も地域と話し合っ決定することも必要かと考えています。これからも防災教育に力を入れて下さい。	22年度生
震災時に津波が来るのを見ているので、その後とても怖がっていました。最近は落ち着いてきましたが、子供たちの心のケアも宜しくをお願いします。	22年度生
学校にいる時間帯に災害が起きたらどうするのか、常に訓練が必要だと感じます。学校以外で起きたらどうするか、家族で避難所は学校ね、と決めたいところではありますが、家から遠くの七郷より、蒲小が理想であります。しかし、そのような場合、子供の足は通学校ではない蒲小にはいけませんよね。防災を学校、家庭、地域のくくりで連携するなら、今の学区のありかたには問題があると感じます。	22年度生
東日本大震災の時は1年生だったので、あまり恐怖を感じなかったようです。4年生になった今、災害時に何をすべきかを学校の授業でお話していただけたらと思います。	22年度生
家族と一緒にの時に限り災害にあうとも限らないので、周囲の大人に助けを求めることが躊躇なく行えるよう、普段からあいさつなどきちんとしておくべきことを身に付けてほしいと思います。子供自身も地域の役に立てるようになってほしいと思います。	22年度生
特にはありませんが、避難などをする時にあわてずケガをしない様にしてほしいと思います。	22年度生
着衣水泳をぜひお願いします。	22年度生
常日頃から”災害時はどうしようか？”など自分自身で考える機会を増やしてほしいと思います。ある程度のマニュアルはあるでしょうが、実際災害が起これば、マニュアル通りにはならないと思います。その為にも普段から自分で考え行動出来るような話し合いをしたり、他の人の考えを聞いたりする事がよいのではと思います。	22年度生
避難訓練。(地域全体でのシミュレーションの様な)防災などの講話を。	22年度生
「防災安全科」の授業を先生と生徒だけで進めていくのではなく、話し合いのときなどに保護者や地域の方々をサポートとして参加してもらい、色々な角度から防災について考えることができる知恵を子供達にやしなってもらいたいです。お手伝いがありましたら、できるかぎり協力していきたいです。「安全科」の創設、楽しみにしています。	21年度生
学校で防災頭巾を常備してほしいと思います。	21年度生
今回のアンケートで全く思いつかなかった事(◎印している項目は特に。)に気づかされ意識してやってみようと思いました。きっとその様な方も多いと思います。年に一度でもチェックシートの様なものを配布していただけたら、再確認・意識づけになると思います。特に2、3、4は具体的な方法なども載せていただけると助かります。それから、着衣水泳は学校で行ってもらえないとなかなか難しいです。	21年度生
台風、竜巻発生時の対応など。	21年度生

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと	学年
防災訓練で津波が起きた場合の、校庭でなく校舎（高い場所へ避難する）訓練も行って欲しい。また、その場合の親への引渡は「校舎〇階」など決めておいて欲しいと思います。	21 年度生
定期的な子供達に防災についての知識や安全確保について指導する時間を設けて欲しいです。	21 年度生
東日本大震災の発生時仙台に住んでいなかったのですが、現在の復興プロジェクトですらよく理解できていない様子がある。「そんなことよりふつうに授業をしてほしいよ・・・」だそうです。防災知識の重要性は理解できていますが、そのために授業時数が減ることは（しかも週一ペース＝月 4 回）学力面から心配です。「七郷がバカなのは防災やっているからだ。と地域からも児童からも保護者からも言われない体制を、まず整備して納得してもらおう努力を忘れないで下さい。	21 年度生
学校で充分にやっただいていてと思っています。子供には常に、自分の身は自分で守る事を一番に、そして自分の将来産まれてくる子供へ伝え続ける事を話しています。	21 年度生
特にありません。	21 年度生
子ども 110 番の家がわからないそうです。着衣水泳は茨城県の小学校で経験しました。（小学 1 年）	21 年度生
家の前を通っている子がたくさんいますが、その中ですすんであいさつをしている子は少ない。毎日通るのだからあいさつをして、顔を覚えてもらう事が必要に思う。親と子が協力して防災に向きあえるよう、講習会があると防災について話し合う機会が増えると思う。	21 年度生
なし。	21 年度生
防災訓練をこれまでのように一緒に行う機会を作っていただきたいです。	21 年度生
特になし。	21 年度生
防災の前に「命」の大切さを常に話ができる教育を期待しております。その命を守るための防災安全科の教科になることを期待しております。親も子ども共に学べるよう、地域も巻き込んだ教育になれば良いと思います。先生達も頑張ってください。	21 年度生
特にありません。	21 年度生
お便りの保存版を作って頂き、子供達が見てもわかりやすいような絵などの図式で災害時の行動の流れ、つながりづらく連絡もとれない状況かもしれないが連絡先（番号を記入できるように）、避難場所（学校、地域、協力者など名前に tel）、子供がどこに行ったら守られ安全であるかを常に一目でわかるように。例えば家の中にはれるように。ランドセルの中に入れて確認できるように。万が一の為にそういう目で見えて確認できるものがほしいです。	21 年度生
地域ごとに必要なさまざまな防災の訓練を合同で出来たら、いざという時安心して行動できるのでは？3.11 の夜に小学生に食料を配ってるのを知らなかった（東部道路より海側で何ももたずに避難したので特に）そういう情報も前もって必要だったと思う。	20 年度生
「防災安全科」を時間割の中に設けることはとても良いと思いますが、他の授業時間が減ってしまうので、月に 1～2 回程度で良いので設けてもらいたいと思います。	20 年度生
訓練（引き渡し）などでは本人の確認など行っていたのに、3.11 の時は迎えに行ったのにすでに引き渡されていて、すごくパニックになりました。担任の先生もパニックになっていたとは思いますが、冷静に判断していただきたいと思います。	20 年度生

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと	学年
災害の時に炊き出しをする為の経験にも、良い機会になるので（おやづの会の一部の参加者だけでなく、全体参加の場があると良い。）子供達と一緒に芋煮の様な汁物を作ったり、カセットコンロを使って鍋でご飯を炊いたり（若いお母さん達は、電気炊飯器でしかご飯が炊けない）、子供達はおにぎりも作れない子が多いので一緒ににぎる事から始めると、地域とも連帯しやすいし実践になると思います。（実際、中学生でも缶切りが使えない子が多かったですヨ）	20年度生
特にありません。	20年度生
他校では準備している、防災頭巾を準備せず赤白帽で対応していることに疑問を持ちます。直下の地震のことも考え、ぜひ検討して下さい。	20年度生
子供にわかりやすい防災グッズマニュアルを作ってほしい。	20年度生
通学路で、災害時に危険だと思われる場所などを自分達で歩いて考える授業を行ってほしいと思います。（親からこの場所は～だ。という話はしているが、いまいちピンと来ていないような気がするの…）	20年度生
地域の方と密な関係となるために（知り合いとなったほうが、声を掛けやすい。行動を共にしやすい）、学校の防災訓練、講習会などに参加する。子供達と大人が一緒のグループとなり課題に取り組むなど、接する機会を設ける。	20年度生
防災に対する学校の取り組みを印刷物として配布してほしい。学校と地域との防災時の行動基範をもっと明示してほしい。地域との連携とは別に、災害時の情報を入手できるよう学校でも取り込んでほしい。（例えば、ラジオを各学年で準備するや蓄電池を準備しておくなど）	20年度生
仮設住宅がある時期までは、震災の経験を知る機会に訪問することをぜひ続けていってほしいと思います。	20年度生
年に一度で良いので、学校、地域、家庭が一体となった訓練を行っても良いのではないのでしょうか？（参加出来る方々だけでも構いませんので）これから、増々住宅（震災復興住宅含む）等、新たな住宅が増えて参ります。その上でも、ベース作りは重要ではないのでしょうか？海から5km内…またいつ来るかわかりません。多くの人を亡くした事を忘れない為にも必要かと…。	20年度生
他校では一人に1枚防災ずきんを用意させ、普段はイスのクッションとして使用している学校が多い中、七郷小では、防災ずきんの必要性をどう考えておられますか？せめて用意できる子供だけでも持って来るようになればいいと思いますし、防災の意識も高まると思います。	20年度生
風化していくことがいちばん怖いので、震災時の状況等をまとめて、新しく七郷小に来てくださる先生方にも時間をとって伝えて欲しいです。	20年度生
支援学級の子供達の緊急時（地震など）、一人で登下校している最中に起きた場合の行動や避難など家庭と話し合っ、その子一人一人に合わせた訓練をしてほしい。	特別支援

### (3)防犯ボランティア

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと
子供達に、防災を教えた時に大人達にも教わった事を伝えるようにしてほしい。子育てする中で子供達に教わったり、今はこうなんだよと言われるとそうなのかと納得する事も多々あったので。
学校での防災についての勉強内容をおもだかに連載して下さい。自分自身を守ること。地区に防災士の資格を持っている方の授業を取り入れるのも良いか。
学童保育を高学年までしてほしい。
学校では、たくさんいろいろな事を体験させ活動を取り入れていらっしやると思いますので特別ありません。東日本大震災でかなり吟味されていると思いますので。
七郷小学校の皆さんがいつも元気で通学出来る事をパトロールしている私達のお願いであります。1人1人の健康を祈っております。
六丁の目町内会芋煮会と消防訓練を実施しました。あまり集まらなかったのですが……。消防訓練と同時に、消防職員と連携し学校でも防災について実施していただければと思います。
親の参加を多くする方法を考えてみたい。地域の子供達と接する機会を作りたい。
今でもよく心得てると思います。パトロール中高生さんから元気に挨拶され、こちらが励まされています。
我が身も大事です。しかし、近くにいるお年寄りや姉弟に声かけを大事にしてほしい。高学年になれば、一緒に避難なども出来るのではと思います。
東日本大震災を教訓として地域と連携し、強いリーダーシップを取って行ければ良いと思う！
防災用DVDを作成し配布する。DVDによる定期的な勉強会を実施。定期的なテストを実施。定期的な実施訓練を行う。
時間割に取り組むことは賛成だが、その頻度と内容によっては他の教科に影響を与えると思われる。ある程度集中的に行ない、成果を数字としてあげるためには週1時間程度は必要だと思われるが、継続的に無理なく続けるためには月1回程度でもいいのではないかと思う。
文化省の指定により防災安全科の創設、子供たちの防災意識の高揚のために、学校、地域、PTA等が一丸となってその目的効果を上げるため。報告、連絡、相談を密にして下さい。
地区（上荒井町内会）の子供（小学生約300名）による町内の清掃活動には子供会の役員が率先して子供達に声掛けを広範囲の家庭を廻り、参加率も毎回（月1回）参加してる参加者も多く感心しております。防災については年1回の町内の行事と併せ若林消防署と連携して実施しておりますが、参加率も少なく対策を考えさせられます。小学校で実施して欲しい事は、専門家による学習と実技のカリキュラムを組み込んでいただきたいと思っています。
まず人間は挨拶から始まると思う。学校では挨拶をするよう教えていると思うが、もっと徹底的に指導してほしい。
七郷地区は次第に都市化していきます。五感で危険を感じることが少なくなっていると思います。家庭、地域と連携し、年配者の経験を生かして五感を養うことも必要ではないでしょうか。
学校主催の行事等の地域住民に対する情報不足と思う（情報交換）。学校地域住民による合同防災訓練等を積極実施すべきと思う（町内会と学校との関係）。学校と町内会での定期的に話し合う機会を設ける。
町内で行う防災訓練に参加させて頂けると有難いと思います。
私の家族は今大人だけなので、小学生の事はあまりよくわからないことが多いです。回覧板で来る学校行事を見ることや通学姿を見て、今日は何々がある日だなと想像しています。これからは、もう少し気を付けて見ていきたいと思っています。
今も地震が……。突然に私の場合行動後、パニックになって大変です。生徒の人数も多く、先生方々の常に防災教育で安全性、情報を発信などを重点に大変かと思いますが、宜しくご指導お願いします。

## (4)町内会

連携して防災を行うために学校でしてほしいこと
小学校には、今まで通り情報の発信基地でいてもらいたいと思います。防災は家庭での教育が一番大事だと思います。
詳細はよく知らないのですが、以前泉区の小学校が七郷小学校へ来校し、防災について何かあったような事を子供から聞いた事があります。七郷小学校は、震災の際とても長く避難所として開放されていた事や、荒浜も近い事などから、仮設住宅へ訪問したり地域との交流を絶えず行っており、先生方にはとても感心しております。これから先の仮設住宅がなくなった後や、震災時を七郷で過ごしていない新入生（転校生）などにも知って頂くために年に何度か知る機会をつくって頂いたりできたらと思います。
地震や津波の知識を高めてほしい。火事の時の対応、及び避難場所の確認。メールの対応（情報を明確に連絡・報告してほしい）
中荒井地区では、班の人数により集団登下校の際の集合、または解散の指定場所が班内で複数に分かれている班があります。学校にはそのことをきちんと把握していただき、集団下校の際には各指定場所に向かうグループごとに担当の先生をつけていただきたいと思います。
校外パトロールや旗振り当番をしていて、子供達の挨拶が少ないように感じます。しかし、知っているお母さん達には声をかける姿も多く見られます。子供と地域が密につながるよう、顔見知りも多く作る機会があればあるほど良いと思います。例えば、小学校の防災訓練や防災に関する講習会を地域の方も参加する。ただ参加するだけではなく、子供と大人が混合したチームとなり、課題に取り組む・・・など、触れ合うことが大事だと思います。（親子はできる限り違うチームで地区が一緒の大人の方と組むなど・・・。）
子供会で行っている巡視の事をお願いがあります。火曜日は6時間授業なので、3時半～4時半の巡視が良いと思いますが、金曜日の時間帯にはほとんど子供を見かけません。5時間授業の時は30分時間を繰り上げるなど、検討していただければと思います。よろしくお願い致します。
地震に関しては自宅や学校以外の時（下校時や遊びに出ている時）の行動を家でも伝えてはいるが、学校の方からもどうしたらよいか指導してほしい。（特に東部道路より海側にいる時）地震以外の防災には正直よくわかっていないように感じるので、台風（強風）大雨・・・などいろいろな災害について教え、どのような行動をしたらよいか指導したら良いと思います。
特に思い浮かびません。
防災は地域とのコミュニケーションが大切だと思うので、子供達には朝の挨拶から出来るようになって欲しい。旗当番をしているとこちらから声をかけないとしない子が多数。交番の人に声かけする子はかなり少なくてがっかりします。今娘が通ってる高校ではびっくりする程挨拶をされます。小学校でも身に付くといいなあ。これから地震3.11を知らない子供達が増えていくので、この学校であったことをきちんと伝えて行って欲しいです。
ハザードマップを具体化して作り、地域での防災の取り組む大切さを将来に伝える事を学校教育の一環として取り組み入れる事が大切だと思う。
親と子が積極的に話し合っただけで欲しい。地域が行う行事等に参加して欲しい。高学年には少し難しいかと思うような課題でもどしどし出して考えさせてと思います。
学校での活動状況を伝えて貰いたい。町内に子供が少ないので接する場がない。